2018年度シラバス

科目名:キャリアデザインⅡ	担当者:全専任教員	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法 ・講演：学科長講演、外部講師による講演会が行われます。講師の先生からは就職活動や職場の実情、働くことの意義を学び、社会人として生きる力を身に付けます。・講義：「社会と私」という統一テーマで、専任教員が社会で活躍するために有益となる話や心構え、メッセージ、アドバイスも含めて講義をします。・芸術鑑賞会：豊かな感性の育成と、公の場でのマナーを身に付けることが目的です。
授業の到達目標 毎回の授業から自分自身を振り返り、今後の自身の生き方を積極的に捉え、行動できる人間として成長することを目標とします。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 講演会および芸術鑑賞の事前学習は、テキストやプリント等を使用し必ず行うこと。「社会と私」では、すべての講義から学んだことを自分の視点でまとめつつ、全講義のつながりを模索し、視覚化する時間を持つこと。
評価方法 講演会と芸術鑑賞会のレポート30%、「社会と私」の出席状況等60%、レポート試験10%の割合で評価する。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 講演会や芸術鑑賞会などはスケジュールが不規則なので、初回に配布するスケジュール表や掲示板で日程を確認すること。

01	オリエンテーション
02	学科長講演
03	進路講演会（エントリーシートの作成に向けて）
04	ガイダンス～「社会と私」を学ぶにあたって
05	社会と私（１）「Shiny next decade、あるいはタラレバ娘としての生」
06	社会と私（２）「私と社会～〈自分創り〉は〈社会創り〉～」
07	社会と私（３）「決め付けないで行動しよう」
08	社会と私（４）「10年後の私たち～子育てについて考える～」
09	社会と私（５）「動物から学ぶ、ヒトの生き方」
10	社会と私（６）「社会と私の言語学」
11	社会と私（７）「カラフルに生きよう」
12	社会と私（８）「社会保険（年金）について」
13	芸術鑑賞
14	社会と私（９）「社会人デビューの前にちょっと伝えておきたいこと」
15	社会と私（１０）「アイデンティティ～社会で生きていく私」
16	卒業講演会

2018年度シラバス

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:茶谷　淳一	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:特になし		単位数	2
		必須. 選択	必須

授業概要と方法
泰阜村でフィールドワークを行い、泰阜村の魅力と村づくりへの提言を考えます。活動目的はゼミで話し合い、みんなが決めます。活動は村民の皆様と協働（ともに活動する）し、交流を深めながら、村が元気なる方法を現教生らしい視点で考えましょう。4月に活動内容を決め、５～7月に月１回、7月末の夏祭りのお手伝い合宿のほか、活動目的に応じて夏休みに合宿します。提言は12月に村役場で発表していただきます。その他、ボランティアもあります。

授業の到達目標
フィールドワークをしながら泰阜村の魅力と提言を考え、役場で発表するというアクティブラーニングを通して社会人基礎力を養い、社会で多くの人とともに一つの目標に向かって話し合い、活動する力を身につけます。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
①ゼミでは農山村が抱えている問題について学んだり、活動についての話し合いをします。活動は土曜日、または休日に行います。②発表内容を考えたり、卒業研究レポートを作成するための大切な資料となる活動記録（ゼミノート）を付け、整理しておくこと。③時間内にできなかった展示や発表資料、レポートなどの作成④テキストを事前に読んでおくこと

評価方法
①出席状況や発言、行動などゼミ活動に取り組む姿勢･･･40%②各種のレポート、ゼミノート、展示資料、プレゼンテーション･･･60%

教科書	参考図書
農山村再生～限界集落問題を超えて（小田切徳美　岩波ブックレット）	「奇跡のむらの物語」（辻英之　農文協。科目「自然と生活」のテキストです）

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
アルバイトなど自己都合でゼミや活動を休んだり、やる気のない姿勢は絶対にに許しません。厳格に対処します。活動すればするほど、楽しくなります。やりがいがあります。予定が変更されることがあります。

01	泰阜村のファンを増やすにはどうすればよいか　～ゼミでの学びについての説明（第１週）
02	テキスト「農山村再生」を読む　（第２週～第６週）
03	人のために役立つ活動を体験する①　～名古屋市障害者スポーツ大会ボランティア（5月）
04	泰阜村を知る　フィールドワークの目的と内容を決める　（第７・８週）
05	「月一日、日帰り訪問」で決めた目的に沿った活動をしながら、村民と交流する（5，6，7月）
06	「月一日、日帰り訪問」の振り返り　夏祭りの活動を決める（第９週～第15週）（5，6，7月）
07	やすおか夏祭りでのブース出店、お手伝い　（7月末）
08	人のために役立つ活動を体験する②　～全国ジュニア選抜車いすバスケ大会ボランティア（8月）
09	夏休みゼミ合宿　～魅力と提言を考えるための活動　　（8月または9月）
10	フィールドワークの振り返り　泰阜村の魅力と提言を考える　（第16週～第17週）
11	フィールドワークの活動の様子と「泰阜村の魅力と村づくりへの提言」をまとめる　（第18週）
12	大学祭での展示資料の作成　スポーツ祭典・模擬店出店の準備　　（第19週～第22週）
13	卒業レポート作成・報告会準備　　（第23週～第30週）
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	

2018年度シラバス

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:松浦　照子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	必須

授業概要と方法
昔話を取り上げ、日本文化の特徴を考察する。また、きれいな、わかりやすい日本語の表現を体得するために、テキストを使って「話しことばの練習」を行う。

授業の到達目標
聞き取りやすい発音によって、日本の昔話や詩、物語を朗読できるようになる。具体的には、腹式呼吸、滑舌、早口言葉、アクセント、間と抑揚などがある。また、昔話についていろんな角度から調べ、その成果を卒業研究としてまとめる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
演習時間に取り上げる課題について、事前に各自図書館などで調べ、資料を作ってゼミに臨む。ゼミの時間には成果を発表することになるので、そのための事前準備は各自が行うことになる。

評価方法
授業の参加態度と課題の完成度５０％、ゼミの行事への参加態度２５％、ゼミ生相互の協力度２５％

教科書	参考図書
菅井建著『はなしことばの練習帳1』晩成書房	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
ゼミ生との共同作業で毎時間が進行していくので、必ず出席すること。やむを得ず欠席するときは事前に連絡し、許可を得ること。また、つぎの時間までには遅れを取り戻しておくこと。

01	昔話とは何かを考える
02	自分の住んでいる地域の昔話をさがす
03	地域の昔話について発表する
04	息の仕方を学ぶ　　はなしことばの練習帳
05	劇「ちょうにんちょうにん長十郎」を録音し評価する
06	日本の昔話の特徴について調べる
07	日本の昔話の特徴について発表する
08	口の開き方の練習をする　はなしことばの練習帳
09	劇「アエイウエオア王物語」の録音と評価
10	声を使ったボランティアについて学ぶ
11	音読ボランティア活動の見学
12	外国の昔話について調べる
13	外国の昔話について発表する
14	ゼミ旅行の計画を立てる
15	ゼミ旅行を実施する
16	絵本を朗読する（1）
17	絵本を朗読する（2）
18	早口言葉について学習する　はなしことばの練習帳
19	劇「おあやや、おおあやまりなさい」を録音し、評価する
20	紙芝居を実演する（1）
21	紙芝居を実演する（2）
22	アクセントについて学ぶ　はなしことばの練習帳
23	劇「お武の竹は丈が高い」を録音し、評価する
24	詩を朗読する（1）
25	詩を朗読する（2）
26	間と抑揚と強調について学ぶ　はなしことばの練習帳
27	劇「カネオクレタノム」を録音し、評価する
28	卒業制作に取り組む（1）
29	卒業制作に取り組む（2）
30	卒業制作に取り組む（3）
31	

2018年度シラバス

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:倉田　あゆ子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
　この科目は２年生の基礎教養科目（必修）で、「ちょこボラ！からはじめよう」をテーマに１年間ゼミ活動を行っていきます。　近年、ボランティア活動やＮＰＯ活動が注目を集めていますし、若い世代を中心に社会貢献の意識が高くなっています。暮らしの中のさまざまな課題に取り組んでいるボランティア活動やＮＰＯ活動について詳しく知ることで、暮らしやすい社会とはどういうものかについて実際に活動もしながら、考えていきます。

授業の到達目標
　暮らしの身近なところから始められるボランティア「ちょこボラ！」についてテキストを用い、まずは知ることからスタートして、できるだけ実践していきます。様々なボランティア活動に挑戦し、自ら体験することで暮らしの中にさまざまな課題があることに気づき、考えていきます。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　ゼミ発表の準備は前日までに行い、レジュメを提出してもらいます。また学外でのボランティア活動への参加や学外での見学会への参加なども予定しています。

評価方法
レジュメ作成・ゼミ発表・ディスカッションへの参加態度(50%)、共同作業への参加態度(50%)で評価します。

教科書	参考図書
なし	授業時間内に随時紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　ゼミで取り組むことに対して自発的に、積極的に行動してください。無断欠席、遅刻は厳禁です。またゼミでは係を決めて、様々な活動に取り組みますので、係の仕事をきちんと担当するようにしてください。

01	新２年ゼミ顔合わせ、１年間の活動についてオリエンテーション
02	テキスト配布、就職活動への取り組み方
03	ゼミ内の係決め、テキストの担当章決め、レジュメの作成についてなど
04	就職活動における面接練習、仲間作りのための企画
05	テキスト輪読開始、パソコンでできるボランティア
06	テキストの輪読、アニマルセラピーに関する映画から考える
07	テキストの輪読、点字の学習、点字名刺作り
08	テキストの輪読、盲導犬の育成について理解をしよう
09	中部盲導犬協会での見学とボランティア活動
10	点字でお礼のメッセージを作成しよう
11	鶴舞図書館点字文庫を訪問
12	テキスト輪読、絵本を届ける運動について、絵本選び
13	テキストの輪読、卒業研究のテーマを発表
14	テキストの輪読、動物保護に関する映画から考える
15	テキストの輪読、絵本を届ける運動の作業
16	シニアシミュレーターを体験、高齢者の体について理解する
17	大学祭・ゼミ活動紹介の展示を作成しよう①
18	大学祭・ゼミ活動紹介の展示を作成しよう②
19	テキストの輪読、高齢者グループホーム訪問のための事前学習
20	高齢者グループホームでボランティア
21	大学祭・模擬店の準備をしよう①
22	大学祭・模擬店の準備をしよう②
23	大学祭・模擬店の準備をしよう③
24	1.2年交流会の準備をしよう（スライド作り）
25	テキストの輪読、児童虐待に関する映画から考える
26	認知症サポーター養成講座を受講して、オレンジリングをゲットしよう
27	卒業研究報告会（ゼミメンバーの卒業研究を理解して、質問やアドバイスをしよう）
28	テキストの輪読、我が家のエコライフについて（テキストの輪読終了）
29	ゼミ論集の作成（各自の原稿とりまとめとゼミのページの作成）
30	１年間の活動を振り返って（まとめ）
31	なし

2018年度シラバス

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:大草　知裕	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
　12名程度のグループでテーマに基づいて継続的な学習を続ける。パーソナルカラーの技能、野外での作物の育成、学外での研修などをテーマに学習を行う。

授業の到達目標
(1) 全員で協力して資格取得や語学力を伸ばす、収穫を増やすなどの成果をあげる。(2) チームワーク力を伸ばす。(3) 思考力や行動力を意識して、様々な状況に対応できるようにする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　・学外での見学、ゼミでの研修旅行、レポートなどの作成　・事前の打合せ

評価方法
　ゼミの時間における活動状況(75%)、レポートなどの点数(25%)をもとに評価する。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　日常的な連絡を電子メールで行うので、電子メールを使えるようにしておいてください。　内容に関しては、ゼミ分け時の資料を参考にしてください。

01	年間の計画の作成
02	進路の面談
03	講演会
04	作物栽培の準備
05	資格試験対策１
06	資格試験対策２
07	学外見学会
08	資格試験対策３
09	資格試験対策４
10	学外見学
11	資格試験対策５
12	資格試験対策６
13	前期の振返り
14	学外研修の準備１
15	学外研修の準備２
16	後期の予定の確認
17	大学祭の準備１
18	大学祭の準備２
19	大学祭の準備３
20	学外見学
21	学外研修の準備３
22	学外研修の準備４
23	学外研修の準備５
24	学外研修の準備６
25	学外見学
26	学外研修の準備７
27	学外研修の準備８
28	学外研修の準備９
29	学外研修の反省
30	1年間の振返り
31	まとめ

2018年度シラバス

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:高谷　邦彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
「SNSと情報発信」というテーマで、企業や大学の広報活動や地域活性化のためにTwitterやInstagramなどのSNSをどのように活用するかについて、自分たちで取材と投稿を実践しながら学びます。

授業の到達目標
ソーシャルメディアの時代に必要な知識と経験を身につけることを目標とします。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
自分がSNSに投稿する際の意識や他のユーザの投稿内容などを注意深く観察する習慣を身に付けましょう。

評価方法
出席、各種ゼミ活動への参加状況、参加態度などから総合的に評価します。

教科書	参考図書
必要に応じてプリント等を配布します。	授業内で指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
何にでも興味と疑問を持って調べてみる／試してみるという好奇心と自主性を大切にしましょう。

01	SNS（Twitter、Facebook、Instagram等）の基本を学ぶ
02	自分たちがSNSを利用する際の意識・動機などを客観化してみる（１）
03	自分たちがSNSを利用する際の意識・動機などを客観化してみる（２）
04	広報の基本を知る
05	インターネット（SNS）広報について学ぶ（１）
06	インターネット（SNS）広報について学ぶ（２）
07	インターネット（SNS）広報について学ぶ（３）
08	大学広報・地域広報のアイディアを練る（１）
09	大学広報・地域広報のアイディアを練る（２）
10	SNSによる大学広報・地域広報を実践する（１）
11	SNSによる大学広報・地域広報を実践する（２）
12	SNSによる大学広報・地域広報を実践する（３）
13	SNSによる大学広報・地域広報を実践する（４）
14	卒業研究のテーマを検討する（１）
15	卒業研究のテーマを検討する（２）
16	SNSを活用した大学広報・地域広報のアイディアを議論する（１）
17	SNSを活用した大学広報・地域広報のアイディアを議論する（２）
18	SNSを活用した大学広報・地域広報のアイディアを議論する（３）
19	有松、桶狭間などキャンパス外で取材活動を行う（１）
20	有松、桶狭間などキャンパス外で取材活動を行う（２）
21	有松、桶狭間などキャンパス外で取材活動を行う（３）
22	有松、桶狭間などキャンパス外で取材活動を行う（４）
23	有松、桶狭間などキャンパス外で取材活動を行う（５）
24	有松、桶狭間などキャンパス外で取材活動を行う（６）
25	大学祭準備（模擬店・展示等）（１）
26	大学祭準備（模擬店・展示等）（２）
27	SNSを活用しながら広報活動を実践し、その成果を分析する（１）
28	SNSを活用しながら広報活動を実践し、その成果を分析する（２）
29	SNSを活用しながら広報活動を実践し、その成果を分析する（３）
30	SNSを活用しながら広報活動を実践し、その成果を分析する（４）
31	研修旅行

2018年度シラバス

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:辻　広志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	必須

授業概要と方法
この演習では、「エコアクションで環境問題を学ぶ」をテーマに、自然環境や動植物、食育を題材にした実践的活動を通して、様々な環境問題の実態と対策について学び、生き物のいのちと私たちの暮らしについて考える。

授業の到達目標
自然環境の調査や動植物の観察、作物の栽培等を通して、自然への理解を深める。また、実践的活動や課題研究を通して、社会人基礎力の向上をはかる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
卒業研究のテーマについて、資料の収集、調査・分析・考察、原稿の作成、発表の準備を行う。

評価方法
出席状況（20%）、ゼミでの取り組み姿勢（30%）、報告内容（レポート、発表）（50%）等から総合的に評価する。

教科書	参考図書
使用しない	授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
チームワークを大切にして、何事にも真面目に取り組くむこと。天候や進行状況等により、授業計画を変更することがあります。

01	ガイダンス
02	学内実習と学外研修の事前学習
03	文献輪読①
04	学外研修①（藤前干潟で海岸生物の観察）
05	文献輪読②
06	学内実習①（キャンパスの樹木の葉の採取）
07	学内実習②（キャンパスの樹木の葉の標本作製）
08	卒業研究準備①
09	学内実習③（サツマイモの苗植え）
10	学外研修②（犬山モンキーセンターでサルの観察）
11	文献輪読③
12	学内実習④（キャンパスの池の水生生物調査）
13	学外研修③（竹島水族館で生物観察）
14	卒業研究準備②
15	学外研修④（伊吹山で高山植物観察）
16	学外研修レポート作成
17	卒業研究中間発表
18	大学祭ゼミ展示準備①
19	学内実習⑤（サツマイモの収穫）
20	大学祭ゼミ展示準備②
21	学内実習⑥（サツマイモの調理）
22	学内実習⑦（キャンパスの紅葉・ドングリ観察）
23	卒業研究論文作成①
24	卒業研究論文作成②
25	卒業研究論文作成③
26	卒業研究論文作成④
27	卒業研究論文作成⑤
28	卒業研究論文作成⑥
29	卒業研究発表
30	まとめ
31	なし

2018年度シラバス

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:綾部 六郎	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
　全員で本授業のテーマである「社会の裏側を見てみよう！」プロジェクトに関係する課題文献を読み、プレゼンテーションもおこなうことなどを通じて、さまざまなスキルを学んでいきます。　また、学内イヴェントの実施や学外の関連施設などを訪問する予定ですので、その準備もおこないます。

授業の到達目標
　上記の事項に加えて、2年次の前期に配当されている「女性と労働」や、1年次前期の「ジェンダーと法」などの授業で学んだ知識をより一層深めながら、自立した女性となるために必要なこともあわせて修得します。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
正課の授業だけではなく、関連する活動にも積極的に取り組んでください。

評価方法
授業での取り組みなどを総合的に評価します（100%）。

教科書	参考図書
授業中に指示します。	授業中に紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
必要な事項については、開講後のガイダンスで説明します。

01	ガイダンスなどの実施
02	課題文献の検討・決定
03	効果的なプレゼンテーション方法についての解説
04	学術的なリサーチ・スキル向上についての解説
05	クリティカル・リーディング習得についての解説
06	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン①
07	同上
08	同上
09	同上
10	同上
11	同上
12	学外研修実施のための準備
13	同上
14	同上
15	同上
16	学外研修の実施
17	同上
18	同上
19	学内イヴェント実施のための準備
20	同上
21	同上
22	同上
23	学内イヴェントの実施
24	同上
25	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン②
26	同上
27	同上
28	卒業研究報告会の準備
29	卒業研究報告会の実施
30	授業のまとめなど
31	なし

2018年度シラバス

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:矢澤　久史	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	必須

授業概要と方法 　多くの心理検査の実習を行い、就職活動やこれから社会に出た時に役立てることができるように自分に関する理解を深め、身近な現象に対して心理学的観点からの見方を学ぶことにより視野を広げ、自分探しと他者理解を目指す。授業のほとんどはグループ学習で進め、問題に向かって主体的に取り組むことができると同時に、目的に向かって着実に努力を続けられる行動力を養う。
授業の到達目標 ①これまでになされた心理学の研究についての理解を深め、日常生活で人間関係をうまく形成するために心理学の知識を役立たせることができるようになることを目標とする。②グループ学習を通して、他者とのコミュニケーションを取りながら共同して物事に取り組む力を付ける。
授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修 ①授業で興味を持った内容について、関連図書を読んで理解を深めること②身の回りの様々な出来事について常に興味関心を持つこと
評価方法 ゼミの参加状況（発表、共同作業への参加）80%、提出レポート20%

教科書	参考図書 授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) ①受け身ではなく、すべて「自分から動く」と言うことが重要、何でもまずチャレンジしてみましょう。②欠席や遅刻をする場合には、必ず事前に連絡をすること。

01	ガイダンス
02	心理検査実習①（ＹＧ性格検査） 心理検査実習①（ＹＧ性格検査）
03	卒業研究準備①（テーマの設定）
04	テキスト講読① テキスト購読①
05	テキスト講読②
06	心理検査実習②（内田クレペリン）
07	テキスト講読③
08	卒業研究準備②（文献の調べ方）
09	モンキーセンター見学
10	心理検査実習③（バウムテスト）
11	テキスト講読④
12	卒業研究準備③（先行文献のまとめ方）
13	テキスト講読⑤
14	心理検査実習④（モーズレイ性格検査）
15	卒業研究準備④（論文の執筆に向けて）
16	心理検査実習⑤（主要５因子性格検査）
17	テキスト講読⑥
18	心理検査実習⑥（主題統覚検査：ＴＡＴ）
19	明治村　or リトルワールド見学
20	大学祭ゼミ発表準備①
21	大学祭ゼミ発表準備②
22	テキスト講読⑦
23	テキスト講読⑧
24	心理学実験実習（逆さメガネ、鏡映像描写）
25	卒業研究準備⑤（論文の執筆①）
26	卒業研究準備⑥（論文の執筆②）
27	卒業研究準備⑦（論文の執筆最終確認）
28	卒業研究準備⑧（要約集の作成準備）
29	卒業研究準備⑧（要約集の作成準備）
30	卒業を迎えるに当たって
31	なし

科目名:卒業研究	担当者:全専任教員	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
　本科目は受講生による主体的な取り組みが必要です。各自で課題を設定し、関連する文献や資料を収集したり、フィールドワークを行ったりして、担当教員の指導のもとに研究を進めていきます。最終的には本文8000字以上の文章にまとめて提出します。

授業の到達目標
　社会で必要とされる力、すなわち自ら設定した課題について深く学び、問題点を見つけ出し、その解決のために必要なことなどを文章化することができるようになります。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　所定の時間だけですぐれた内容の文章を書くことは難しいので、授業時間外にも各自で研究・調査や執筆を進める必要があります。　また、執筆開始までにパソコンやワープロソフトの基本的な使い方を習得しておかなくてはなりません。

評価方法
平常点（出席状況を含む）や卒業研究の文章などから総合的に評価します。

教科書	参考図書
担当教員から指示します。	担当教員から指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　良い卒業研究をまとめるためには、社会に対する問題意識や旺盛な好奇心が必要です。インターネット上の記事だけに頼ることなく、さまざまな書籍や新聞を読むことや多くの人々との出会いも貴重な機会となります。何事にも積極的に挑戦しましょう。

01	卒業研究とは何かを学ぶI
02	卒業研究とは何かを学ぶII
03	卒業研究とは何かを学ぶIII
04	卒業研究とは何かを学ぶIV
05	卒業研究とは何かを学ぶV
06	文章の書き方指導I
07	文章の書き方指導II
08	文章の書き方指導・個別指導I
09	文章の書き方指導・個別指導II
10	文章の書き方指導・グループワーク
11	調査研究の進め方I
12	調査研究の進め方II
13	調査研究の進め方III・実践
14	調査研究の進め方IV・個別指導
15	課題登録準備
16	課題登録
17	個別指導および文献収集I
18	個別指導および文献収集II
19	個別指導および文献収集III
20	途中経過報告会資料作成I
21	途中経過報告会資料作成II
22	途中経過報告会I
23	途中経過報告会II
24	要約集作成作業I
25	要約集作成作業II
26	要約集個別指導
27	卒業論文発表会準備I
28	卒業論文発表会準備II
29	卒業論文発表会準備III
30	卒業論文発表会（各ゼミごとに）
31	まとめ

2018年度シラバス

科目名:若者の心理	担当者:大草　知裕	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
「若者」とは発達段階における「青年期」という時期であり、児童期と成人期の間にはさまれた時期である。身体的にも精神的にも様々な変化がおき、その中で自己が確立されていく大切な時期でもある。このような時期における特徴や問題について、心理学の観点から紹介していく。

授業の到達目標
(1) 新生児から青年期を中心に、人間の一生を通しての発達への理解を深める　(2) 若者に限らず、人間一般の心理行動について知識を得る。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
就職活動などをひかえ、「自己PR」など自分とは何かを考えないと行けない時期でもある。授業内容を単に知識とするだけでなく、自分を考える材料にしてほしい。

評価方法
授業へ取り組み姿勢(40%)、期末試験の得点(40%)、小テストなどの提出物の評価(20%)をもとに評価する。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
将来何をしよう」とか「私は何に向いているのだろう」とか考えることは、言いかえるとアイデンティティ(identity)の模索であり、青年期の最大の課題であるとされる。簡単には答が見つからないかもしれないが、常に考えつづけてほしいと思う。

01	受講の注意点と講義内容について 心理学について ～ 心をどうやって調べるのか 人間の行動 ～ 自分の心は自分のものなのか 人間の行動 ～ 好き嫌いって？ 人間の行動 ～ 迷信をなぜ信じてしまうのか 記憶と学習 受講の注意点と講義内容について
02	心理学について ～ 心をどうやって調べるのか
03	人間の行動 ～ 自分の心は自分のものなのか
04	人間の行動 ～ 好き嫌いって？
05	人間の行動 ～ 迷信をなぜ信じてしまうのか
06	記憶と学習
07	発達とは
08	胎児期
09	乳幼児期
10	コミュニケーション能力の発達
11	児童期と青年期
12	発達段階と発達課題
13	青年期の問題１
14	青年期の問題２
15	確認テスト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:社会心理学	担当者:矢澤　久史	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
①社会心理学の研究について、日常生活に役立つように具体的な例を挙げながら、わかりやすく解説していく。②身の回りのちょっとしたところにいろいろな心理学が関係していることを実感しながら、。幅広い分野にわたる　知識を身につけ、より広い視野に立って物事を考えていくことができる思考力を身に付ける。③心理テスト（２回）、簡単な心理学実験（１回）、ＤＶＤ視聴（２回）により理解を深める。

授業の到達目標
　単純接触効果、認知的不協和理論、対人魅力、同調、役割演技、責任分散仮説などのこれまでになされた社会心理学の研究についての理解を深め、日常生活で人間関係をうまく形成するために社会心理学の知識を役立たせることができるようになることを目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業で興味を持った内容について関連図書を読んで、理解を深めること。

評価方法
定期試験の結果（８０％）＋各授業時の小レポート（２０％）

教科書	参考図書
指定なし	授業中に適宜紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
毎回の授業の最後に授業の感想や疑問点などを小レポートにまとめて提出してもらう。

01	社会心理学に関する知識は？（事前調査）、初めてのデートではどこへ行く？（吊り橋効果）
02	あなたの恋愛のタイプはどれ？　情熱的タイプ？　友愛的タイプ？　利愛的タイプ？
03	好意と恋愛、何回も逢うと好意度は増す？遠距離恋愛は実らないことが多い？（単純接触効果）
04	親が恋愛に反対するほど恋が燃え上がる？（ロミオとジュリエット効果、認知的不協和理論）
05	赤い色を身に付けるとモテる？一目ぼれのタイプとは？（対人魅力①）
06	どのような告白が効果的？お酒を飲むと異性が魅力的に見える？（ビアゴーグル効果）
07	なぜ女性は男性の指が気になるのか？左右対称（シンメトリー）の効果とは？（性選択①）
08	外見的魅力、美人顔の特徴とは？みんなの顔を合成したら、どんな顔になる？（対人魅力②）
09	相貌失認、プロポーション10：７、高級車に乗っているとモテる？（性選択②）
10	皆が紅茶を注文すると、コーヒーが飲みたくても紅茶を注文してしまうのはなぜ？（同調①）
11	「みんながそう言っている」という時の「みんな」とは何人？（同調②）、嘘を見破るには？
12	囚人役と看守役に分けて模擬刑務所で生活させたら？（役割演技、ＤＶＤ映画「エス」視聴）
13	ウワサはどのように広がるの？（流言の伝達実験実習、ＤＶＤ「200X・うわさ」視聴）
14	大勢で仕事をすると手抜きをする人がいるのはなぜ？（責任分散仮説）
15	第一印象はどのようにして決まる？　確認テスト
16	

2018年度シラバス

科目名:芸術の世界	担当者:松崎　悟	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
詩を読まなくても、音楽を聴かなくても、美術や映画を見なくても死ぬことはありません。しかし、単に衣食住が充たされれば、それで満足できるのでしょうか？人間はただ生きるのではなく、より良い生き方、より自由で美しい生き方を求めて芸術作品を創造し、鑑賞してきました。この講義ではさまざまな芸術作品を紹介しながら、芸術の魅力とその意味を考えてゆきます

授業の到達目標
　アートは「好き嫌い」だから、アートを学ぶ必要があるのか、と言う人がいます。しかし、知識があればよ　　り楽しめるのです。野球でもルールやチーム､選手のことを良く知っておればより面白くなります、それと同様です。この授業ではアーティストたちが、「何を、どのように表現してきたのか」にこだわりながら、芸術作品の味わい方を身につけてゆきます。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
アートは私たちの身近に溢れています。授業で扱う絵画や映画ではなくても（マンガ、テレビドラマ、歌、デザイン等）、もし気に入った作品があったら、それがなぜ貴方の心に触れたのかよく考えてみてください。

評価方法
　授業への参加態度30%、授業中（授業外）のレポート70%で総合的に評価します。

教科書	参考図書
使用しません。参考文献は適宜紹介します	積極的にアートに触れること、感動し身震いするような作品に出会うこと。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

01	ガイダンス（授業の目的・進め方・受講上の注意・成績評価の方法などの説明）
02	ギリシア神話の美術（ヴィーナス像）
03	キリスト教の絵画（受胎告知）
04	フェルメール「真珠の首飾りの少女」
05	ゴッホの「ひまわり」はなぜ12本なのか？
06	ピカソの女たちと「ゲルニカ」
07	最近の美術展・映画評
08	チャップリンの「キッド」の鑑賞
09	チャップリンの人と芸術
10	戦争と映画（チャップリンの「独裁者」、アラン・レネの「夜と霧」等から）
11	「ローマの休日」の前半の鑑賞
12	「ローマの休日」の後半の鑑賞
13	ヨーロッパ短編アニメの鑑賞（「岸辺のふたり」・「木を植えた男」）
14	「初恋の来た道」の鑑賞
15	まとめ
16	なし

2018年度シラバス

科目名:日本の文学	担当者:鶴田　武志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
映画化されている日本の文学作品を扱い、原作と映画の双方に触れることで映像表現と文章表現との違いを知り、それぞれの技法や構成を考えます。講義としては3回で1作品。映画も実際に観てもらいます。

授業の到達目標
映像表現と文章表現との違いから、それぞれのメディアの特性を考えることを目指します。また、「日本の文学」が人間関係というテーマを、どのような表現技法、あるいは物語の構成で描いていたのかを論理的に考えてもらいます。最終的には、それらの表現構造に対する自身の考えを書けるようにします。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
講義で扱う小説を1冊以上を完読してもらいます。読書感想文の課題を出します。

評価方法
テスト80%、課題+コメントシート（毎時間）20%

教科書	参考図書
適宜プリントを配布	なし

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
毎回、コメントシートを書くことで自分の考えを的確に記述できるようにしていきましょう。またコメントシートに書いてもらった質問には次回講義の冒頭で答えていきます。

01	オリエンテーション。授業のテーマの概説。授業の進め方の説明。
02	谷崎潤一郎原作『春琴抄』（2008）の前半を観る。谷崎潤一郎の文学史的意義について解説。
03	谷崎潤一郎原作『春琴抄』（2008）の後半を観る。『春琴抄』についての概説。
04	原作『春琴抄』の表現技法について解説。2008年版以外の『春琴抄』映画との比較。
05	東野圭吾原作『手紙』（2006）の前半を観る。東野圭吾についての解説。
06	東野圭吾原作『手紙』（2006）の後半を観る。前回、感想の共有。
07	原作『手紙』の表現技法を解説。映像表現と文章表現の比較。
08	松本清張『ゼロの焦点』（1961）の前半を観る。松本清張の文学史的意義、東野圭吾との関係について。
09	松本清張『ゼロの焦点』（1961）の後半を観る。松本清張についての解説。
10	原作『ゼロの焦点』の表現技法を解説。映像表現と文章表現の違いの意味について解説。
11	恩田陸原作『夜のピクニック』（2006）の前半を観る。恩田陸についての解説。
12	恩田陸原作『夜のピクニック』（2006）の後半を観る。前半の感想の共有。
13	原作『夜のピクニック』の表現技法について解説。原作を映像化への工夫について解説。
14	恩田陸原作『夜のピクニック』関連作品の解説。
15	まとめ
16	テスト

2018年度シラバス

科目名:福祉スポーツ	担当者:寺田　恭子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
様々な障がいのある人たちの身体活動とスポーツに関する歴史的変遷および現状について学び、全ての人間がスポーツという文化に親しみ、健康な心身を育んでいくためのスポーツと社会の在り方について理論と実践から学ぶ。

授業の到達目標
学生は、個々人の違いを認めた上で、“共にスポーツを楽しみ”“共に生きること”をスポーツを通して深く考える。またそのために必要な行動両力が身につくことを目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　2020年のパラリンピックに関する情報をあらゆる角度から収集し、パラリンピックに関するディスカッションに積極的に参加できるよう準備をする。また事後学修については、新しい用語や制度などをノートに整理すること。

評価方法
　合計4回のミニレポートが10点満点×4回＝40点。障がいのある方との交流活動参加後のレポート課題20点満点。学期末テスト40点満点。以上の合計100点満点で評価する。

教科書	参考図書
特になし。その都度プリントを配布する。	必要なときに提示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
掲示板を毎回チェックすること。授業は実技あり。実技の際には動きやすい服装と体育館シューズを忘れないように。スポーツを実践している障がいのある方を外部講師としてお呼びする（初級指導資格関連）ので、その授業には必ず参加すること。

01	オリエンテーション　Adapted Sports について
02	障がい者スポーツとはなにか。障害者福祉施策からひも解く
03	障がい児・者とスポーツの意義と理念および歴史的変遷
04	パラリンピックの歴史と現状
05	スペシャルオリンピックスおよび様々な障がい者スポーツ
06	障がい者スポーツボランティア・全国障害者スポーツ大会他ボランティアの現状と志度者制度
07	重症心身障がい者とスポーツ　日常生活と心身に対する知識および理解
08	様々な身体と表現するカラダ　車いすダンススポーツ・シンクロナイズドスイミング他
09	ドキュメンタリー映画「マーダーボール」障がい者とスポーツを取り巻く環境について考える
10	障がい者スポーツの実践の前に　スポーツ環境と安全管理　個々の身体への対応
11	実践活動①視覚障がい者とスポーツ　　理解と補助/サウンドテーブルテニスの体験と講義
12	実践活動②パラリンピック正式種目　ボッチャの体験と講義
13	実践活動③高齢者のための身体活動　高齢者・知的障がい者対象　社交ダンスの体験
14	実践活動④車いすダンススポーツの体験　外部講師（障がいのあるダンスアスリート）と共に
15	2020年に向けての課題とパラリンピックスポーツのレガシーについて考える。テスト。
16	まとめ

2018年度シラバス

科目名:現代の福祉	担当者:横井　優子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　日本の福祉は、広義には社会福祉制度や公衆衛生、教育、雇用、環境政策等を含むものと理解され、狭義には福祉サービスの意味で使われることが多い。授業では、様々な福祉の対象について、それぞれ事例を用いて具体的に課題を考える。グループワークを２回程度取り入れ、自分たちの考えや意見を共有し発表する。

授業の到達目標
　高齢者、児童など、福祉の対象は様々だが、福祉が現代社会で生きる我々にとって、必要不可欠であることを理解する。また、自分たちがボランティアなど福祉の担い手として参加するという視点についても、目を向けることができるようになる。学生は、福祉が自分たちにとって身近なものとして理解し、自分もその担い手であるという視点を持てるようになることを目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　それぞれの福祉分野について、自分達でも課題や現状などを調べる。　また、情報を共有した後で再度、理解が深められたかを復習する。

評価方法
　学習態度と授業後に実施する小レポート（50%）確認テスト（50%）

教科書	参考図書
資料を配布	授業時に紹介

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　質問は、小レポートに記入してもらい、次の授業で返答する。

01	福祉の対象と必要性について
02	社会福祉の歴史と現在
03	児童福祉の現場から
04	少子化社会と子育て支援
05	子どもが育つ環境と保育
06	女性福祉
07	障がい者および障がい児福祉
08	高齢者福祉１　現状
09	高齢者福祉２　問題点
10	セーフティーネットについて
11	医療福祉
12	地域福祉
13	司法福祉
14	ボランティアと社会参加
15	授業のまとめと確認テスト
16	

2018年度シラバス

科目名:生活と医療	担当者:辻　英之	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
日常生活に存在する様々なリスクについて、ワークショップやグループ学習を通して実践的・具体的に学ぶ参加型の授業。秋のセミナーで訪問した長野県泰阜村で子供達の教育活動（自然体験・生活体験など）を実施するＮＰＯの代表理事が、実践から導き出された知見（生活のなかで必要な医療に関する基本的な知識や技能）を提示する。なお講師は救命法国際トレーナーでもあり、緊急事態の対応や予防安全の観点から専門的知見も提示する。

授業の到達目標
日常生活に存在するリスクをコントロールしつつ、心と身体を守りながら豊かな暮らしを送ることができる初歩的な知識や技術を身につける。本講義はとりわけ、こどもと大人のリスクを比較しながら学ぶ。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
こどもを取り巻く生活環境や危険要因などについて、インターネットや新聞などマスメディアを通しての情報収集に努めること。

評価方法
授業への参加態度30%　各回ごとのコメントペーパーの内容30%　筆記試験40%

教科書	参考図書
信州のへき地山村から毎週通い、山村のリアルタイムの情報を伝える。また、ビジュアルな教材を使用する。　資格取得についての質問は随時受け付ける。講師の連絡先は授業で提示する。	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
信州のへき地山村から毎週通い、山村のリアルタイムの情報を伝える。また、ビジュアルな教材を使用する。　資格取得についての質問は随時受け付ける。講師の連絡先は授業で提示する。

01	オリエンテーション。
02	「最初のリスク」の乗り越え方を、体験型ワークショップで理解する。
03	安全管理ワークショップを通して、子どもの体験活動におけるリスクの存在について理解する。
04	実際にあった死亡事故の判例検証・裁判員ワークショップを通して、リスクと責任を理解する。
05	保険の仕組みの概要と保険チェックを通して、リスクと責任を理解する。
06	危険予知トレーニング教材を使用した実習を通して、リスク予知能力向上の必要性を理解する。
07	屋外でのグループワークを通して、見えるリスク、聞くリスクなど、多様なリスクを理解する。
08	リスク軽減と予防について、予見と回避の２大原則を理解する。
09	グループ実習を通して、こどもと大人の特性の違いと、ファーストエイドのイロハを理解する。
10	救命率向上ワークショップを通して、日米の救命率の差を埋める方策を考える。
11	グループ実習を通して、緊急事態における「初動これだけは！」を理解する。
12	グループ実習を通して、大切な人・愛する人の万が一の対応を理解する。
13	グループ実習を通して、AEDの本来の機能（魔法の箱なのか？）と意義を理解する。
14	実習を通して、日常的な病気・ケガの際の初動を理解する。
15	授業で得られた成果をまとめ、全員で共有することを通して学びを深める。確認テスト。
16	なし

2018年度シラバス

科目名:いのちの科学	担当者:山下　玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	選択

授業概要と方法 「いのち」とは、2つの生命の結合により発生するものであり、その連続が今日の自分にたどり着いた生命の歴史そのものである。ヒトが生まれて死ぬまでの人体の不思議や身の回りの生き物の生態など、生命科学の基礎を学び、理解を深める。
授業の到達目標 １）ヒトが生まれて死ぬまでの人体の不思議や身の回りの生き物の生態など、生命科学の基礎を理解する。２）授業のテーマについて自ら考え、意見を述べたりまとめたりする。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 １）興味のあるテーマについて、書籍やインターネットで調べる。２）提出された課題について、授業内で指定された方法で取り組む。
評価方法 １）確認テスト50%、平常点50%（出席状況、課題、授業への取り組み姿勢）の合計100点満点で評価する。２）授業中の迷惑行為（私語、飲食、化粧、スマホや携帯電話等の使用、遅刻、無断退出等）を行った場合は、平常点から減点する。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) １）授業には前向きな姿勢で取り組むことを期待しています。課題には真摯に打ち込み、グループワークは積極的に発言してください。２）授業中に配布された資料、書いたメモなどは全て1つのファイルに綴ってください。

01	オリエンテーション、いのちのはじまり：生命の誕生、自分の年表の作成
02	自分年表の発表：少人数で自分年表を紹介し合う
03	ヒトの体の不思議①：肘とあごはくっつかない！　指一本で立ち上がれない、腕相撲の角度
04	ヒトの体の不思議②：ヒトは視覚に頼っている！　ブラインド・ウォーキング、錯視、似顔絵
05	人体の構成：自分の体は何でできている？　骨と筋肉のはなし
06	動物の生態の不思議：睡眠、繁殖、食事
07	常在細菌：あなたの手はキレイ？
08	感染症：インフルエンザ
09	ヒトと病気：人間が病気と闘ってきた歴史
10	医療：医療に関連する仕事や職業と実態
11	情報リテラシー：情報の収集と活用方法、マインドマップの活用と実践
12	グループワーク①：調査活動をしよう　製作活動
13	グループワーク②：調査活動をしよう　制作活動
14	グループワーク③：発表会
15	まとめと確認テスト
16	

2018年度シラバス

科目名:女性と労働	担当者:伊藤　静香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本講義では、グローバル化や多様化が進む現代社会のさまざまな問題に、適切に対応する力を養うために、知識の習得にとどまらず、自ら考える力やコミュニケーション力を身に着けます。授業は「労働」をテーマに、講義だけでなく、プリント資料やDVDを活用して、すぐに役立つ実践的な内容で進めていきます。また、コメントシート記入（毎回）やグループワーク・グループ発表（1回）で自ら考える力を養います。

授業の到達目標
現代社会における働く女性の現状と課題を知り、学習を通して、一人ひとりが自分の人生に向き合あい、働く目的、目標を持つことができるようになる。労働に関する法律や制度を学び、雇用社会を生き抜く知恵を身に着けられるようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：次回の授業で学習するテーマについて具体的な事例を考える事後学修：労働に関する記事や情報に関心を持ち、毎日1回は新聞やインターネットで労働に関連する記事や探し読み、自分なりの考えを持つ。　(準備学修、事後学修あわせて毎週4時間程度)

評価方法
①授業への参加態度10%　②授業に出席した際に配布するコメントシートへの記入内容40%　③「女性と労働」に関するレポート50%

教科書	参考図書
特に指定はしません。	『働くときに知っておきたい労働関連法の基礎知識』

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
社会に出ると、労働の問題には、誰もが一度は遭遇するでしょう。個人的な問題とせずに、社会的な視点で考えることも重要です。最初は、ぜひ自分のこととして考えてみましょう。

01	現代社会で女性が働くこと「自分こととして考えるために！」
02	働く女性のあゆみ「20年前、30年前、40年前の女性たちの働き方は？」
03	女性が働き続けるために「家事・育児、そして仕事もしたい！」
04	労働者を守る法律―労働基準法「残業ばかりで、休みがとれない？」
05	女性労働者を守る法律―男女雇用機会均等法「仕事は同じなのに男性ばかりが昇進？」
06	育児・介護をする労働者を守る法律―育児介護休業法「育休中、給料はもらえない？」
07	セクシュアル・ハラスメント「上司が性的発言をするので、気分が悪いのですが…」
08	賃金「女性社員の給料は、男性社員に比べると安いって本当？」
09	労働時間「今日は約束したデートの日。残業を断ってもだいじょうぶ？」
10	配置転換「3歳で病気がちな子どもがいるのに、突然、遠い支店に転勤に！」
11	解雇「遅刻を繰り返していたら、解雇された！」
12	パート・派遣労働「パート労働者なので、有給休暇を取れない？」
13	労働保険「仕事中にけがをしたときは？」「会社が倒産したとき、どうする？」
14	社会保険「高齢期！仕事ができなくなったときの生活保障は？」
15	職業生活と家庭生活の調和：ワーク・ライフ・バランス(グループワークと発表)
16	なし

2018年度シラバス

科目名:企業と会計	担当者:窪田　嵩哉	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	

授業概要と方法
私たちの身の回りでは、沢山の企業が活動しています。会計は、それら企業の活動を「貨幣」という尺度で写し取り、財務諸表を通じて私たちに多くの情報をもたらしてくれるものです。この授業では、財務諸表を適切に読みとり、経営の良し悪しを判断する、会計的な考え方を学びます。

授業の到達目標
①財務諸表を読んで、企業の安定性・収益性・成長性を判断できるようにようになります。②黒字倒産や飲食店の価格競争など、経済現象の仕組みを会計的な視点から考えることができるようになります.

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
①ニュースや新聞などで最新の企業の活動をチェックしてください。②身の回りの企業が、どうやってお金を稼ぎ、そのためにどんな支出をしているか、考えてみてください。

評価方法
小テスト(レポートになることもあります)：4回実施、各10点確認テスト：60点合計：100点

教科書	参考図書
講義資料を配布予定	谷武幸・櫻井久勝　編著『１からの会計』中央経済社

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
この授業は財務諸表の「読み方」を中心に学習します。もっと会計のことを知りたい、という皆さんは財務諸表の「作り方」を学ぶ簿記を並行して学習するとよいでしょう.

01	講義についての説明・会計情報の役割
02	会計制度と社会－会計が必要とされるのはなぜ？
03	重要な三つの財務諸表－貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書
04	貸借対照表Ⅰ－企業の財政状態を読み取る表
05	貸借対照表Ⅱ－企業の持つ資産とは
06	貸借対照表Ⅲ－企業の持つ負債・純資産とは
07	損益計算書Ⅰ－企業の経営成績を読み取る表
08	損益計算書Ⅱ－企業の儲けはどのように計算されるのか？
09	キャッシュフロー計算書－お金の出入りを読み取る表
10	安全性分析－倒産しない企業を見極める
11	収益性分析－儲かりそうな企業を見極める
12	成長性分析－将来性のある企業を見極める
13	ケース・スタディー実際の企業を分析してみよう
14	経営管理のための会計－企業内での会計情報利用
15	授業のまとめと確認テスト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:事務管理	担当者:上野　真由美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
現代教養学科ディプロマポリシーの3.他者の意見を理解する力と自分の意見を相手に伝える力を身につけ、それらに基づいてよりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力について、ビジネスの分野では、事務的な職務に携わる者にビジネス文書が書ける能力を誰に対しても求めていることから、この授業ではオフィス事務の知識や実践的技能を習得する。ビジネス文書には一定の型や特有の言葉遣いがあり、それらを会得しビジネスの場に対応できる正確・迅速な文書を学ぶ。実践練習ではグループワークを行う。検定試験受験を視野に入れ授業を進め

授業の到達目標
①事務の役割を理解し、事務を合理的に処理する能力を養う。②ビジネス文書検定の合格を目指す。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
日頃から自分宛の対外的な手紙等に関心を持ち、一つひとつの言葉を注意深く読んでみる。そこから読み取れる言葉遣いなどの知識・技能を実社会において活用できるよう努めること。

評価方法
確認テスト・提出物（60%）、授業に対する意欲的な取り組み・参加態度（40%）を評価し総合的に行う。

教科書	参考図書
ビジネス文書検定受検受験ガイド3級　早稲田教育出版	ビジネス文書検定受験ガイド1・2級

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡手段：金曜1限後の休み時間講師控室

01	ガイダンス　　授業の進め方と評価方法の確認
02	職場のルール・仕事の進め方
03	ビジネス文書の種類と役割
04	ビジネス文書の書式・用語
05	ビジネス文書の表現技能・伝言メモ
06	社内文書
07	議事録
08	社外文書
09	メールのルール
10	グループワーク　ビジネスでの言葉遣い・名刺
11	グループワーク　はがきと封筒の書き方
12	グループワーク　慶弔の取り扱い
13	グループワーク　慶弔の作成と実践
14	問題演習と解説
15	学習のまとめと確認テスト
16	

2018年度シラバス

科目名:生活経営	担当者:倉田　あゆ子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この科目は「キャリア」ユニット内の専門教養科目の１つで、生活経営に関する専門教養を身に付けることができます。

　卒業して社会人となれば、自分自身で生活を営むことが必要になります。この授業ではそのための準備として必要な知識を身に付けていきます。生活に関わる様々な事がら、例えば家族・家庭、ライフステージごとの生活経済、結婚、女性が働くこと、将来の住まいの確保などのテーマで具体的な事例を通して理解します。

授業の到達目標
　授業で取り上げるどのテーマについても自分自身の生活を振り返りながら、自分自身の将来の問題として考え、取り組みます。この授業を通して考えてみることで、卒業後の社会人としての生活を自分らしく豊かに経営できることを目指します。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　授業を欠席した場合はその時間に行った課題を次週までに必ず提出してもらいます。自分で配布プリントを取りにくるようにしてください。また、授業時間内に完成しない課題についても、期限までに完成させて、提出してもらいます。提出期限は守るようにしてください。　授業で取り上げた重要なテーマについて調べ学習を行ったり、授業内容に関連のある新聞記事等を読んで、感想を提出してもらいます。

評価方法
　期末に筆記試験（持ち込み不可）を行います。その他に提出物や授業内での発言等の授業参加態度などを加味して評価します（筆記試験50%、授業への参加態度50%）。

教科書	参考図書
なし（授業は配布するプリントに基づいて進めていきます。）	授業時間内に随時、紹介していく予定です。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　授業の中では視聴覚教材（DVD）を見たり、ワークシートを用いたりして理解を深めます。コメントシートは随時提出してもらいます。毎回の授業で受講者全員に１回は発言してもらう参加型の授業です。　生活に関わる情報は私たちの周りに沢山あります。まずはそれに敏感になってみてください。

01	イントロダクション、生活の自立度チェック、アンケート
02	戦後からの庶民生活の変遷（戦後からの暮らしと現在の暮らしと比べてみよう）
03	ライフステージと生活経済①（社会人としての１人暮らし、「給与明細」から考えてみよう）
04	ライフステージと生活経済②（結婚して２人で暮らす、子育て期）
05	ライフステージと生活経済③（再び夫婦２人、高齢期の１人暮らし）
06	資金計画シミュレーション（ワークシートで１つの家族の資金計画をしてみよう）
07	予算生活を体験（自分の考える将来の家族モデルで予算生活を体験してみよう）
08	結婚生活について考える映画・前半（映画を通して考えよう）
09	結婚生活について考える映画・後半と解説（映画を通して考えたことを共有する）
10	ライフスタイルに応じた住まい方（３世代に渡って住まい方を変化させる例から学ぶ）
11	理想の将来の住まい（住まいに関する体験学習①　平面図の見方）
12	理想の将来の住まい（住まいに関する体験学習②　自分の将来の間取りを実現しよう）
13	家庭生活と職業生活の両立に関する映画・前半（映画を通して考えよう）
14	家庭生活と職業生活の両立に関する映画・後半と解説（映画を通して考えたことを共有する）
15	まとめと確認テスト
16	なし

科目名:秘書実務	担当者:吉田　智美,加藤　洋美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業では、秘書だけでなくあらゆる業種や職種において必要とされるビジネス実務のマナー、ルールを理解する。グループディスカッション（全2回）、グループワーク（全４回）やインバスケット（全7回）を行い、知識を理解し、臨機応変に応用できる力を修得する。社会でより良い人間関係を構築するために、コミュニケーションに必要な知識を学ぶ。

授業の到達目標
前半では、ビジネスにおいて必要とされる言葉遣い、電話応対、来客応対などの仕事の基本的な進め方を理解することを目標とする。後半ではインバスケットを行い、ビジネススキルの応用力を磨き、卒業後の社会生活に対応できるよう知識を身に付ける。さらに、秘書検定2級、準1級の取得を目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
社会の出来事について、興味をもって新聞やニュースを見て理解すること。事前課題、事後課題、復習、試験対策などでおおよそ30時間程度の予習復習を要する。具体的な内容は授業中に指示する。2～３　授業で学んだ内容を意識しながら、普段の生活でのコミュニケーションスキル振り返り、より良いコミュニケーションができるよう対応する。（事後）4～10　普段使用する言葉（アルバイトなど）や電話応対を振り返り、疑問点を出し、正しい言葉遣いで対応する（事後・事前）11～14　普段の生活で上座・下座、お茶を出す、案内などがで

評価方法
授業への参加態度30%　実技・提出課題30%　確認テスト40%

教科書	参考図書
『ビジネスマナー・文書・実務の基礎知識』	授業中に指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
卒業後の社会人生活を意識しながら授業に参加してほしい。

01	学習の目的と進め方について　グループディスカッション
02	必要とされるコミュニケーション①聴き方　グループワーク
03	必要とされるコミュニケーション②伝え方　グループワーク
04	言葉遣い①　敬語について
05	言葉遣い②　接遇用語
06	言葉遣い③　状況対応
07	電話応対①　求められるマナー
08	電話応対②　かけ方について
09	電話応対③　受け方について
10	電話応対④　状況対応について　ケーススタディ、グループワーク
11	来客応対①　心構えについて
12	来客応対②　名刺交換、案内、グループワーク
13	来客応対③　席次、茶菓のマナー、見送り
14	来客応対④　状況対応
15	前半のまとめと確認テスト
16	慶弔のマナー①　慶事のマナー
17	慶弔のマナー②　弔辞のマナー
18	慶弔のマナー③　贈り物のマナー
19	ビジネス文書①　社内文書
20	ビジネス文書②　社外文書
21	ビジネス文書③　はがき、封筒の書き方
22	食事のマナー　和食、洋食、立食など　グループディスカッション
23	インバスケット１　仕事の優先順位について
24	インバスケット２　社外文書・社内文書復習
25	インバスケット３　電話応対復習
26	インバスケット４　慶弔の取り扱い復習
27	インバスケット５　出張業務
28	インバスケット６　ファイリング
29	インバスケット７　報告、連絡、相談について

30	まとめ、確認テスト
31	なし

2018年度シラバス

科目名:Ｅｘｃｅｌプログラミング	担当者:木下　博光	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
企業において幅広く活用されている表計算ソフトウェアExcelの基本関数を学び、実戦に近い練習問題をすることで、具体的な問題解決にチャレンジし、知っている関数から、使える関数にしていきます。

授業の到達目標
企業などにおいて即戦力としてエクセルが使えるように、より実務的な機能を習得することを目的とします。基礎で学んだものをベースに、複合関数の使い方を学んでいく。知っている関数ではなく、使える関数40個を目指す。製作者以外の人が、まちがいなく使いやすい入力方法やレイアウトを習得する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
日常生活で困ったことをメモに残し、エクセルを使用して効率のよい方法を考える。

評価方法
授業への参加態度50％　随時提出ファイル50％により評価する。

教科書	参考図書
随時プリント配布	ビジネスExcel 完全版　出版社: 日経BP社　ISBN-10: 4822258459

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
複合関数を使い１セル内で結果が出せるように、がんばってみましょう。

01	ガイダンス、複合関数体験
02	エクセル基礎の確認 1　基本的な操作、ファイル形式と保存方法 エクセル基礎の確認 1　基本的な操作とファイル保存形式と方法
03	エクセル基礎の確認 2　基本的な関数　SUM・AVERAGE・IF・VLOOKUP
04	IF関数のマスター　ネスト処理　NOTとAND
05	VLOOKUP　完全一致と近似値のちがい、エラー表示をなくそう
06	INDEXとMATCHで送料を求めよう
07	INTで金種計算と四捨五入
08	WEEKDAY で日曜日を赤色表示
09	リスト入力　動的変化するリストで簡単入力
10	ROWとCOLUMN で消えない行番号表示
11	文字列を制御 LEFT・MID・RIGHT
12	時間を制御 TIME・HOUR・MINUTE・NOW　給与計算にチャレンジ
13	日付を制御 DATE・YEAR・MONTH・DAY・TODAY　スケジュール帳作成
14	総合問題
15	総合質問・復習
16	

2018年度シラバス

科目名:応用Ｅｘｃｅｌプログラミング	担当者:木下　博光	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
エクセル攻略！。VBA (Visual Basic for Application) を使用し、エクセルの可能性にチャレンジしながら学びます。より多くの例題、企業でのエクセル使用例やサンプルプログラム作成を行うことで、VBAの使い方を身に付けます。関数ではできない高度な処理が可能になり利用範囲が広い。

授業の到達目標
サンプルプログラムを作成をすることでコマンドの基本、プログラミングの流れを学び、VBA基礎知識の習得を目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
時間内に完成しなかった課題は次の演習までに完成しておくこと。

評価方法
授業への参加態度50%　作成したスケジュール帳50%で評価する。

教科書	参考図書
随時プリント配布	授業内で紹介

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
自分で使いたい、他人が使ってみたいと思うような作品をつくることが必要。

01	ガイダンス、ＶＢＡ体験　マクロとVBAの違い
02	ＶＢＡ基本操作方法の実習　エディタの使い方　デバッグとエラー処理
03	ＶＢＡの基礎実習　コントロールの使用法　ラベル、ボタン、テキストボックス、フォーム
04	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 1　変数、データ型、代入
05	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 2　セルとワークシートの操作
06	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 3　動的配列、配列の演算
07	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 4　ループ処理For文、While文
08	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 5　文字列の操作
09	スケジュール帳を作ってみよう 1
10	スケジュール帳を作ってみよう 2
11	スケジュール帳を作ってみよう 3
12	スケジュール帳を作ってみよう 4　提出
13	エクセルの復習　関数
14	Windowsの基本操作の復習
15	パソコン全体について復習
16	

2018年度シラバス

科目名:韓国語と韓国文化Ⅱ	担当者:李　正子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
これからの時代は、外国人との共生が必要となる。このような時代や社会環境の変化に対して的確に対応するためにも、英語以外の外国語習得、特にアジア言語の習得は必須であると思われる。また、より広い視野に立って物事を考えるためにも他国の言語や文化を学ぶことは有意義である。韓国語と韓国文化２では、上記の内容を念頭におき、中級レベルの韓国語の文法と会話、文化について理解を深める。

授業の到達目標
韓国語と韓国文化１ですでに学んだ文法をもとに、エッセイ、ニュース、Kポップの歌詞、映画などを教材として学び、その内容とその背景にある文化、思考方式を理解する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学習：前の週に配られたテキストの単語を調べ、読み込んでおく。事後学習：その日に学んだ単語を覚え、テキストとともに覚える。

評価方法
授業への参加態度：30%、確認テスト（4回）：50%、課題・提出物：20%

教科書	参考図書
その都度、担当教員がテキストを配布	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
好奇心、興味をもって授業に臨むこと。日常生活において、韓国の音楽、ドラマ、映画はもちろん、それだけでなく、SNSのやりとりもハングルでチャレンジするなど、いろいろなところで韓国語に触れてほしい。

01	授業の説明、導入
02	ウォーミングアップ１　합니다体と助詞
03	ウォーミングアップ２　해요体①、連体形
04	ウォーミングアップ３　해요体②、尊敬語
05	ウォーミングアップ４　過去形、ㄹ語幹用言の活用 ㄹ
06	確認テスト　文化体験　映画鑑賞①
07	文化体験　映画鑑賞②
08	歌詞編１　Gee
09	歌詞編２　봄날
10	歌詞編３　내가 제일 잘나가
11	映像編１　わたしの頭の中の消しゴム①
12	映像編２　わたしの頭の中の消しゴム②
13	映像編３　飛べ　ペンギン①
14	映像編４　飛べ　ペンギン②
15	確認テスト
16	エッセイ編１
17	エッセイ編２
18	エッセイ編３
19	新聞編１
20	新聞編２
21	ハングルワードの打ち方
22	確認テスト
23	歌詞編４　박수
24	歌詞編５　첫눈
25	歌詞編６　나 혼자
26	文化体験　調理実習
27	映像編５　イルマーレ
28	映像編６　JSA
29	映像編７　私たちの幸せな時間
30	確認テスト
31	

2018年度シラバス

科目名:中国語と中国文化Ⅱ	担当者:張　書 涵	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:中国語と中国語文化Ⅱを履修した者		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　授業では、一年生で学んだ基礎的な語彙や文法を用いながら、平均１課２回のペースで発音練習や文法事項の確認、会話発表の流れで進めていく。毎回グループ会話発表を通して定着を図り、また必要に従い、授業の補助手段として音声教材、視覚教材などを使って行い、更に中国の食文化、観光名所および若者の生活などについても理解を深めていく。

授業の到達目標
　既習した単語や文法などを活用しながら、日常の簡単な会話などの表現ができるようになることを目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　授業は演習を中心とするため、添付のＣＤを十分に利用し、授業中に出された課題や予習、復習をしっかりと行い、授業に取り組んでください。

評価方法
　授業で会話発表や参加状況20%、テスト80%

教科書	参考図書
「楽しい中国語第一歩」山下　輝彦著　朝日出版社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　日々の積み重ねが大切なので、積極的な授業への参加を望みます。メールなどで連絡手段とする。

01	前期の復習
02	第１課　名詞述語文・疑問文
03	練習問題①　会話練習と作文
04	第２課　疑問詞疑問文・動詞述語文
05	練習問題②　会話練習と作文
06	第３課　場所代名詞・方位詞
07	練習問題③　会話練習と作文
08	文化体験　映画鑑賞
09	第４課　年月日・曜日・時刻の言い方
10	練習問題④　会話練習と作文
11	第５課　完了・経験・動作の量を表す表現
12	練習問題⑤　会話練習と作文
13	第６課　助動詞・様態補語
14	練習問題⑤　会話練習と作文
15	前期のまとめとテスト
16	前期の復習
17	第７課　選択疑問文・反復疑問文・比較文
18	練習問題⑦　会話練習と作文
19	第８課　状態の持続・動詞句修飾語
20	練習問題⑧　会話練習と作文
21	第９課　方向補語・結果補語・可能補語
22	練習問題⑨　会話練習と作文
23	文化体験　中華料理
24	第10課　使役文・存現文・動詞の連動式
25	練習問題⑩　会話練習と作文
26	第11課　二重主語・動詞の重ね型
27	練習問題⑪　会話練習と作文
28	第12課　受身文・逆接関係複文
29	練習問題⑫　会話練習と作文
30	後期のまとめ
31	テスト

2018年度シラバス

科目名:アジアの社会と文化	担当者:成田　弘成	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:特になし		単位数	2
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
アジアの文化を、現代の視点で解説します。アジア諸国は、アセアン共同体を中心に大きな経済発展の過程にあり、観光的にも魅力ある地域となりつつあります。本講義を受講される学生の方は、アジアの色々な国の文化を勉強する楽しみを知ると同時に、アジアとの連帯感を持つようになっていただきたいと期待します。授業方法は、プレゼンテーションや感想文の作成(意見交換)など受講者を巻き込む形で展開します。

授業の到達目標
以下の目標を通して、現代アジアの現状に精通することを目指す:（1）アジア研究の意義について学ぶ　（2）アジア諸国の文化的多様性について理解する　（3）連動するアジアの国々の仕組みについて学ぶ　（4）アジアの観光(世界遺産)について学ぶ、等々。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
毎週、予習範囲を指定するので、事前に資料を読み、予備知識を持つこと。授業後は、当日のテーマ内容にそって、出来るだけ多くの関連資料をメディア等で検索し、その成果を発表できるように心掛けること。特に期末レポートでは、アジア文化の理解度を示す機会として、積極的に取り組んでください。

評価方法
受講者は授業ごとに、内容のまとめと感想を求められ、リフレクションを中心とした教員と受講者の間のコミュニケーションが重視されます。またプレゼンテーションを含めた小テストや期末レポートの提出が求められます。配点は、「授業への参加態度30%　小テスト30%　期末レポート40%」。

教科書	参考図書
特になし	その都度指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
担当教員の研究室は7号館3階。オフィスアワーは月曜日の昼休み12時30分から13時。

01	アジアの発展とグローバル文化
02	シンガポールの都市と文化
03	マレーシアの民族と文化
04	メガ都市タイ・バンコク
05	世界遺産都市タイ・アユタヤ
06	カンボジアの世界遺産アンコール・ワット
07	インドネシアのバリ文化
08	ベトナムの女性とアオザイ
09	ベトナムの食文化
10	ブータンの幸福と若者
11	ミャンマーの仏教文化
12	スリランカの観光と仏教文化
13	インドのタージマハルとイスラム文化
14	インドの都市と文化
15	アジア映画: ボリウッド
16	なし

2018年度シラバス

科目名:国際社会と日本	担当者:櫻井 雅俊	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 日本と「アジア太平洋」との関わりについて、歴史的文脈に注意しながら学んでいく。講義中心であるが、報道を適切に読み解けるよう実習の機会も設ける。
授業の到達目標 日本と国際社会との間で生じている重要な出来事・課題（TPPや安全保障法制など）について考える上で前提となる知識を得る。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 国際社会の動きと授業内容との関連を意識し、日々のニュースに接するようにしてもらいたい。毎日30分新聞に目を通すようにすると良いだろう。
評価方法 授業参加（受講態度、授業中の課題の出来など）：40%確認テスト2回：60%

教科書 使用しない。	参考図書 各回ごとに紹介する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 特になし

01	オリエンテーション
02	「現代アメリカ」とは何か
03	ニュースの見分け方
04	近代日本の膨張1
05	近代日本の膨張2
06	アメリカのつくった「アジア太平洋」地域
07	日本の外交・安保政策の基本
08	確認テスト1とこれまでの補足
09	東アジアの発展と日本
10	中国発展の歩み
11	「アジア通貨危機」とそのインパクト
12	中国の台頭と「アジア太平洋」地域
13	日本の外交・安保政策の変化
14	「東アジア文化圏」の誕生
15	確認テスト2とこれまでの補足
16	なし

2018年度シラバス

科目名:地域文化研究	担当者:髙橋　一郎	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
世界には多様な文化、習慣が存在します。それらと接することで私たちは新たな視点が芽生え、創造的なアイデアを生み出す源になることもあります。映像を駆使して、世界を旅行する感覚で学びます。文化と地域による違いを「旅」しながら考えます。

授業の到達目標
本講義では様々な地域文化を知ると共にその背景を学ぶことにより、多面的な視野と発想力を身につける一助になることを目指します。なお、明るい表の面だけでなく社会の影の面も合わせ考え、国際社会における地域文化の理解をバランスよくできるように学ぶものとします。真面目に勉強する姿勢で学んだ方は、大きく視野が広がることでしょう。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
普段からテレビのニュース、新聞に目を通すようにする。近場の土地でも始めて行った場所であるならば、その地の文化的背景が何かを考えるように意識付けすることが重要です。

評価方法
授業への参加姿勢30%　授業内レポート30%　期末レポート40%　なお、私語等､授業を妨げる言動や行動があった場合は出席として扱いません。『履修の手引き』にあるように、3分の1以上を欠席した場合は単位が認められません。

教科書	参考図書
『ニューヨークの魔法をさがして』岡田光世著　2015年　文春文庫	図書館の教員指定図書(高橋)に目を通しましょう。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
海外のみならず、国内の地域文化も扱います。受講者は日々の日常生活にある地域文化を意識ながらこの授業を履修すると地域文化がより身近な存在となるでしょう。

01	授業概要　　(以下の講義は順番が入れ替わる場合があります)
02	地域文化を学ぶことで重要なポイント1　・深夜特急ツアー 東アジア編
03	地域文化を学ぶことで重要なポイント2　・深夜特急ツアー 東南アジア編1
04	地域文化を学ぶことで重要なポイント3　・深夜特急ツアー 東南アジア編2
05	東南アジアの地理と地域文化　・深夜特急ツアー 南アジア編1
06	地域文化の衝突 ・アフリカと地域紛争
07	タイ仏教に見る出家の社会的・文化的価値観とその背景
08	インドを知る ・深夜特急ツアー 南アジア編2
09	地域文化を映像の観点から学ぶ
10	イスラム教とイスラム文化
11	地域文化による死生観の違い
12	西アジア文化 〜 パキスタン・イラン　・深夜特急ツアー 西アジア編
13	西洋文化 その考え方の一端
14	深夜特急ツアー ヨーロッパ編
15	まとめ　まとめのレポート提出
16	

2018年度シラバス

科目名:観光と地理	担当者:辻　のぞみ	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業では、全世界の人々にとって共通の財産であり未来へ引き継ぐべき「世界遺産」を中心に学びます。また、世界遺産の価値が自然、歴史、文化、産業などさまざまな要素から成り立っていることを理解します。世界遺産検定3級のテキストに沿って学習するほか、学生による発表も行います。また、学外研修により地元桶狭間の歴史観光資源についての理解も深めます。

授業の到達目標
世界遺産検定３級程度の知識の習得を目指します。学内で実施予定の同検定を受検し、形になる成果を残しましょう。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
世界遺産検定用のテキストを予習復習に活用しましょう。過去問題に取り組んで、検定に備えましょう。

評価方法
授業参加度、積極性及び授業時の提出物50%、発表、ミニテスト及び確認テスト、学外研修レポート50%

教科書	参考図書
「きほんを学ぶ世界遺産100」（監修、発行所：NPO法人世界遺産アカデミー、発売元：株式会社マイナビ）　その他随時プリントを配布します。	中学・高校時代の、日本と世界の地図帳があると役立ちます。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡手段はメール及び研究室

01	世界遺産検定ガイダンス
02	世界遺産①
03	世界遺産②
04	世界遺産③
05	世界遺産④
06	世界遺産⑤
07	世界遺産⑥
08	世界遺産⑦
09	世界遺産⑧
10	世界遺産⑨、発表
11	世界遺産⑩、発表
12	学外研修（予定）
13	世界遺産⑪、発表
14	世界遺産⑫、発表
15	まとめと確認テスト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:フランス語とフランス文化Ⅱ	担当者:松崎　悟	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
フランス語での日常的な会話表現を学ぶとともに、フランス・フランス語圏の社会や文化についての理解を深めるようにします。

授業の到達目標
簡単な日常会話、特にフランス旅行しても困らない程度のフランス語が使えるような訓練をします。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
復習をしっかり行い、習ったことを理解し、単語や基本文をしっかり暗記してください。テレビやラジオのフランス語講座の活用もお勧めです。

評価方法
　定期試験50%、確認テスト25%、授業への参加態度25%で総合的に評価します。

教科書	参考図書
松崎　悟　著、「アミチエー初級フランス語教本」　富岳書房	1年のテキスト

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

01	発音と綴り字の読み方
02	あいさつの表現
03	フランスの文化１（フランスの世界遺産）
04	Leçon 1
05	Leçon 2
06	Leçon 3
07	Leçon 4
08	Leçon 5
09	フランスの文化2（カフェと料理）
10	Leçon 6
11	Leçon 7
12	Leçon 8
13	Leçon 9
14	フランスの文化３（映画）
15	フランス語で話してみようⅠ
16	前期の復習
17	Leçon 10
18	Leçon 11
19	Leçon 12
20	Leçon 13
21	フランスの文化４（美術館と教会）
22	Leçon 14
23	Leçon 15
24	まとめと確認テストLeçon 16
25	フランスの文化５（シャンソンとペタンク）
26	Leçon 17
27	Leçon 18
28	フランスの文化６（パリ）
29	フランス語で話してみようⅡ
30	まとめと確認テスト
31	なし

2018年度シラバス

科目名:英語と英米文化ⅡＡ	担当者:高橋　妙子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
授業を２部構成にし、前半はテキストを用いて英米文化を学び、Listening のコツを掴む練習やペアワークなどで会話の練習をします。後半は、欧米のビデオ（映画、海外ドラマなど）を見たり、洋楽を聞いていろいろなActivity にチャレンジします。

授業の到達目標
実際に使われている英語に触れ、シチュエーションや文化的背景を理解しながら、「使える英語」を聞き取り、内容を理解し、さらに使いこなす力を身につけていきます。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業で学んだ表現や語彙は必ず覚え、課題や復習はしっかりと行うこと。スマートフォンなどで音声をDLして聞くことができるので、通学などの時間を利用して繰り返し聞いて下さい。

評価方法
Quiz, = 40 %　　Activity (Pair Work & Group Work) = 10 %Review Test (Mid & Final) = 50 %

教科書	参考図書
Breakthrough PLUS 1 2nd Edition　Miles Craven著 Macmillan	授業内で紹介

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業には辞書必携（電子辞書、辞書アプリOK)

01	Orientation
02	Unit 1 : Introductions　(simple present & Yes/No questions)
03	Unit 1 : Introductions : Skills expansion
04	Unit 2 : What a life! (simple present & Wh-questions)
05	Unit 2 : What a life! : Skills expansion
06	Unit 3 : Free time (can/can't for ability)
07	Unit 3 : Free time : Skills expansion
08	Review Unit1-3
09	Unit 4 : Places　(there is/are & can/can't for possibility)
10	Unit 4 : Places : Skills expansion
11	Unit 5 : Getting around　(asking for & giving directions)
12	Unit 5 : Getting around : Skills expansion
13	Unit 6: Shopping　(How much questions)
14	Unit 6: Shopping : Skills expansion
15	Review Unit4-6
16	なし

2018年度シラバス

科目名:英語と英米文化ⅡＢ	担当者:高橋　妙子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
授業を２部構成にし、前半はテキストを用いて英米文化を学び、Listening のコツを掴む練習やペアワークなどで会話の練習をします。後半は、欧米のビデオ（映画、海外ドラマなど）を見たり、洋楽を聞いていろいろなActivity にチャレンジします。

授業の到達目標
実際に使われている英語に触れ、シチュエーションや文化的背景を理解しながら、「使える英語」を聞き取り、内容を理解し、さらに使いこなす力を身につけていきます。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業で学んだ表現や語彙は必ず覚え、課題や復習はしっかりと行うこと。スマートフォンなどで音声をDLして聞くことができるので、通学などの時間を利用して繰り返し聞いて下さい。

評価方法
Quiz, = 40 %　　Activity (Pair Work & Group Work) = 10 %Review Test (Mid & Final) = 50 %

教科書	参考図書
Breakthrough PLUS 1　2nd Edition　Miles Craven著 Macmillan	授業内で紹介

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業には辞書必携（電子辞書、辞書アプリOK）。

01	Orientation
02	Unit 7 : What’s happening?　(present continuous & affirmative/negative questions)
03	Unit 7 : What’s happening? : Skills expansion
04	Unit 8 : People (be like & look like)
05	Unit 8 : People : Skills expansion
06	Unit 9 : Having fun　(present continuous for plans & making invitations)
07	Unit 9 : Having fun : Skills expansion
08	Review
09	Unit 10 : Vacation　(simple past affirmative/negative time expressions)
10	Unit 10 : Vacation : Skills expansion
11	Unit 11 : Life stories (simple past questions & Wh-questions)
12	Unit 11 : Life stories : Skills expansion
13	Unit 12: Hopes and intentions (going go for intentions & want to/would like to)
14	Unit 12: Hopes and intentions : Skills expansion
15	Review
16	なし

2018年度シラバス

科目名:英会話ⅡＡ	担当者:Seth Wallace	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
英会話IIA is an elective course for second year students in the Liberal Arts Department.The aim of this course is to enable students to provide basic information about themselves in English.Also, students will learn conversation for survival in environments outside Japan.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course students can:1. Communicate in English with confidence, 自信をもって英語で話せるようになります。2. Understand more spoken English through improved listening skills, 英語の聴解力を高められます。3. Speak with a strong command of grammatical accuracy, 英語を文法的に正しく話せるようになります。4. Express themselves by using key conversational phrases, 英会話上の重要表現を使えるようになります。5. Survive with confidence in English speaking environments. 英語が話されている場所でも、自信をもって生きていけるようになります。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
Students need to review the vocabulary learnt in every lesson and practice conversations with their classmates outside class. They need to talk a lot inside and outside the classroom.

評価方法
Classwork/Preparation/Participation (30%), Quizzes/Assignments (30%),Mid-semester Speaking Check (20%), Final Speaking Check (20%)

教科書	参考図書
Nice Talking With You 1 (Cambridge)	Please bring pen or pencil, notebook, textbook and dictionary to each class.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Don’t forget to bring your textbook and all your handouts to each class.Participate actively in all activities.Do all assigned homework on time and review what you study in class.Finally, do your best and have fun using English with your teacher and classmates.

01	Course introduction, explanation of course goals and expectations.
02	Nice Talking With You 1 Unit 1 part 1: Introduction
03	Nice Talking With You 1 Unit 1 part 2: Introduction
04	Nice Talking With You 1 Unit 2 part 1: Family
05	Nice Talking With You 1 Unit 2 part 2: Family
06	Nice Talking With You 1 Unit 3 part 1: Shopping
07	Nice Talking With You 1 Unit 3 part 2: Shopping
08	Review of Units 1 to 3: Speaking Check 1
09	Nice Talking With You 1 Unit 4 part 1: Food
10	Nice Talking With You 1 Unit 4 part 2: Food
11	Nice Talking With You 1 Unit 5 part 1: Music
12	Nice Talking With You 1 Unit 5 part 2: Music
13	Nice Talking With You 1 Unit 6 part 1: Free Time
14	Nice Talking With You 1 Unit 6 part 2: Free Time
15	Review of Units 1 to 6: Speaking Check 2
16	None

2018年度シラバス

科目名:英会話ⅡＢ	担当者:Seth Wallace	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
英会話IIB is an elective course for second year students in the Liberal Arts Department.The aim of this course is to enable students to provide basic information about themselves in English.Also, students will learn conversation for survival in environments outside Japan.

授業の到達目標
Upon successful completion of this course students can:1. Communicate in English with confidence, 自信をもって英語で話せるようになります。2. Understand more spoken English through improved listening skills, 英語の聴解力を高められます。3. Speak with a strong command of grammatical accuracy, 英語を文法的に正しく話せるようになります。4. Express themselves by using key conversational phrases, 英会話上の重要表現を使えるようになります。5. Survive with confidence in English speaking environments. 英語が話されている場所でも、自信をもって生きていけるようになります。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
Students need to review the vocabulary learnt in every lesson and practice conversations with their classmates outside class. They need to talk a lot inside and outside the classroom.

評価方法
Classwork/Preparation/Participation (30%), Quizzes/Assignments (30%),Mid-semester Speaking Check (20%), Final Speaking Check (20%)

教科書	参考図書
Nice Talking With You 1 (Cambridge)	Please bring pen or pencil, notebook, textbook and dictionary to each class.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Don’t forget to bring your textbook and all your handouts to each class.Participate actively in all activities.Do all assigned homework on time and review what you study in class.Finally, do your best and have fun using English with your teacher and classmates.

01	Course introduction, explanation of course goals and expectations.
02	Nice Talking With You 1 Unit 7 part 1: Travel
03	Nice Talking With You 1 Unit 7 part 2: Travel
04	Nice Talking With You 1 Unit 8 part 1: Sports
05	Nice Talking With You 1 Unit 8 part 2: Sports
06	Nice Talking With You 1 Unit 9 part 1: Friends
07	Nice Talking With You 1 Unit 9 part 2: Friends
08	Review of Units 7 to 9: Speaking Check 1
09	Nice Talking With You 1 Unit 10 part 1: Work
10	Nice Talking With You 1 Unit 10 part 2: Work
11	Nice Talking With You 1 Unit 11 part 1: Movies
12	Nice Talking With You 1 Unit 11 part 2: Movies
13	Nice Talking With You 1 Unit 12 part 1: Personal Tech
14	Nice Talking With You 1 Unit 12 part 2: Personal Tech
15	Review of Units 7 to 12: Speaking Check 2
16	None

2018年度シラバス

科目名:ウェブ・コミュニケーション	担当者:高谷　邦彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 情報のデジタル化が進んで急激に変化している社会の「今」を、特にウェブで起きている技術やサービスの変化、そしてコミュニケーションの変化に注目しながら解説します。
授業の到達目標 ウェブのさまざまなサービスを利用する際に必要となるリテラシー（知識や経験）を身につけることを目標とします。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 講義の中で紹介するインターネットのいろいろなサービスについては、興味があれば自分でも試してみるようにしてください。
評価方法 出席状況（ミニレポートの提出状況）30%、確認テスト70%

教科書	参考図書
なし（必要に応じて参考サイト等を指示します）	授業中に指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) ウェブの最新動向（新しいサービスの登場やネット上の事件など）によって、講義の内容が変わることがあります。

01	オリエンテーション　～ 情報社会とは何か
02	今ウェブで何が起きているのか
03	メディアとは何か　～ 電話というメディア
04	もうテレビはいらない？　～ マス・メディア時代の終わり
05	YouTube vs ニコニコ動画（１）
06	YouTube vs ニコニコ動画（２）
07	新しい動画視聴のスタイル ～ ニコ生、AbemaTV、ネット動画配信サービス
08	ソーシャルメディアとは何か
09	ツイッターの可能性
10	「インスタ映え」現象を考える
11	初音ミクの正体
12	東日本大震災とソーシャルメディア
13	ソーシャルメディア事件簿 ～ ウェブで身を守るために
14	コミュニケーション・デザインとは何か
15	ウェブのコミュニケーション ～ 確認テストと全体のまとめ
16	

2018年度シラバス

科目名:ウェブデザイン	担当者:岩佐　孝子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法 ウェブページをデザインする際に必要となる、HTMLやCSSのコーディングについて実践的に行い、自らページを制作してその仕組みを学ぶ。
授業の到達目標 普段から日常的に閲覧・利用しているウェブページの仕組みや原理について理解し、HTMLやCSSを用いてウェブページをデザインすることができるようになる。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 昨今のウェブページの傾向や自分がよく利用しているウェブページを、「デザイン」や「構成」、「利用し易さ」という観点から意識して閲覧してみる。
評価方法 授業への参加態度50%　提出課題50%によって総合的に評価する。

教科書 適宜プリント配布	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 連絡先は授業で開示する。データ保存用にUSBメモリを用意すること。

01	ウェブサイトのしくみと作成手順
02	コーディングとマークアップ言語
03	HTMLの基本実習（１）
04	HTMLの基本実習（２）
05	スタイルシートでデザイン実習（１）
06	スタイルシートでデザイン実習（２）
07	ウェブデザインの見本と違い
08	画像表示
09	画像加工
10	ページのパワーアップ（さまざまな効果）
11	課題ページ作成（１）
12	課題ページ作成（２）
13	課題ページ作成（３）
14	課題ページ作成（４）
15	課題ページの総まとめ
16	なし

2018年度シラバス

科目名:デジタル・デザイン	担当者:高谷　邦彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
デジタル画像の加工・編集に関する基本知識と技術を身につけて、オリジナルのチラシやCDジャケットなどを制作します。

授業の到達目標
デジタルな画像処理の原理と基本知識を身につけます。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
気に入ったデザインのポスターやチラシなどを参考資料として収集しておくと良いでしょう。

評価方法
授業への参加状況（出席状況や授業態度）50%、課題50%

教科書	参考図書
必要に応じてプリントを配布	授業内で指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
課題等のデータ保存用にUSBメモリを用意すること（詳細は授業内で指示します）

01	デジタル画像の概要
02	画像編集ソフト（Photoshop）について
03	デジタル画像編集 ～ 範囲選択
04	デジタル画像編集 ～ 写真の修正
05	イラストを描く（１）～ 基本図形の描き方
06	イラストを描く（２）～ パスの描画と編集
07	イラストを描く（３）～ ペンツールで曲線を描く
08	レイアウトの基本（１） ～ 名刺を作ってみよう
09	レイアウトの基本（２）～ スペースの使い方と写真の配置
10	デザイン実習（１）～ 最終課題の構想を練る
11	デザイン実習（２）～ 最終課題の制作
12	デザイン実習（３）～ 最終課題の制作
13	デザイン実習（４）～ 最終課題の制作
14	講評
15	まとめと未完成課題の仕上げ
16	

2018年度シラバス

科目名:フードデザイン	担当者:井寺　麻依	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須. 選択	選択

授業概要と方法 私たちが生きていくためには食べることは欠かせません。私たちの体は何をおいしいと感じ、何を必要としているのでしょうか？毎回調理実習、その内容に関連した食生活や食文化についての講義を通してその答えを見つけていきます。テキストは使わずプリントを配布します。
授業の到達目標 ①　食事作りの基本を学び、食事を考え、作り、食べることの楽しさを知る。②　健康な食生活の基本や栄養に関する知識を理解する。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 授業内で学んだ調理に関すること、健康に関することを活かして自宅でも積極的に料理をしてみてください。また、食や健康に関する情報に関心をもってください。
評価方法 授業への参加態度50%確認テスト50%※確認テストは1日分の献立を立てていただきます。資料持ち込み可です。（スマートフォンは使用禁止）

教科書	参考図書
使用しない	食生活アドバイザー

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 持ち物は、エプロン・三角巾・布巾２～３枚です。料理未経験でも大丈夫です。料理に興味がある方、健康な体作りに興味がある方は是非受講してください。

01	※調理実習の内容は食材の都合等で変更の場合があります。 1　健康で美しい身体作りのための生活習慣と食生活（調理実習はありません） 2　手作りだしの味噌汁で朝ごはん（きなこボール・汁物等） 3　献立の立て方（鶏むね肉のゴマダレ焼き等） 4　どんぶりメニューでも大丈夫（ピビンパ等） 5　めんつゆを作ってみよう！調味料を知ろう（きのこの和風パスタ等） 6　頑張ってみじん切り！肉を知ろう（ハンバーグ等） 7　できたらう嬉しい魚の煮つけ・油脂の種類を知ろう（魚の煮つけ等） 8　大豆製品をもっと食べよう（マーボー豆腐等） 9　日本の行事食（焼き鯖寿司等） 10　火を使わないおもてなしオーブン料理（鮭のオーブン焼き等） 11　お弁当を作ってみよう（おにぎり・常備菜） 12　旬って何だろう？（トウモロコシのごはん等） 13　美味しくてきれいなサンドウィッチ 14　失敗しないパウンドケーキ（チキンライス・パウンドケーキ等） 15　確認テスト（炊飯器でピラフ）
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:エコライフ実習	担当者:辻　広志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:「環境の科学」を受講していることが望ましい		単位数	1
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
実習形式で行うこの講義では、水・大気・土壌などの環境や食品を化学的および生物学的に調査・分析・評価する手法を習得し、「食と環境」への理解を深める。調査の意義と方法について講義した後、グループ単位で実習を行う。

授業の到達目標
化学汚染、地球温暖化、酸性雨、大量廃棄物などの地球規模の環境問題は日々深刻化している。身近な生活環境に関する実習を通して、環境問題に関心を持ち、生活を見直すきっかけにしてほしい。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
環境問題や暮らしに関する最新の情報を、新聞、雑誌、テレビ、インターネット等で入手するよう心掛けること。

評価方法
確認テスト40%、平常点60%（実習レポート、出席状況、授業への取り組み姿勢）で総合評価する。

教科書	参考図書
使用しない	授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
作業しやすい服装と身だしなみを心がけること。グループで作業するのでチームワークを大切に。天候や材料の入手状況等により授業計画を変更することがあります。

01 実習ガイダンス：環境問題と私たちの暮らし
2　キャンパスの自然観察：五感マップをつくろう
3　飲料水の化学的水質検査：ミネラルウォーターの硬度を調べる
4　水質分析と水質浄化実験：水道水と生活排水の水質を調べる
5　大気中の窒素酸化物の測定：キャンパス周辺の空気の汚れを調べる
6　酸性雨の測定：身近な酸とアルカリの性質を調べる
7　食品添加物の簡易定性分析：漬物の合成着色料を調べる
8　食品・手指・室内の細菌検査①：簡易細菌検出キットによる一般細菌の培養
9　食品・手指・室内の細菌検査②：細菌コロニーの観察、衛生状態の判定
10　石鹸と合成洗剤の比較実験：界面活性剤の働きを調べる
11　土壌生物による環境診断：キャンパスの土壌生物を調べる
12　エコクッキング：ムラサキキャベツを使った三色焼きそばをつくろう
13　廃棄物とリサイクル：プラスチックの性質と分類
14　環境情報の活用：グリーンコンシューマー（環境を大切にする消費者）になろう
15　まとめと確認
16　なし

科目名:キャリアデザインⅠ	担当者:全専任教員	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
卒業後、社会で自分を活かしていくために必要な力を養います。各種の講演や講座、社会と接点を持つための研修、そして自分達での調査や報告発表のプレゼンテーションなどを行います。必要な知識や情報の獲得をし、実践方法を体験的に学び、社会人として活躍するための基礎となる力を身につけます。

授業の到達目標
(1) 社会で必要になる知識やマナー、行動力、思考力、チームワーク力を身につけること (2) 自分の進路について具体的に考えられるようになること

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
筆記試験対策問題集やオンラインでの小テスト、報告会などでの発表の準備作業、レポート作成など +upインターンシップにおける企業や事業所への訪問

評価方法
平常点45点： 授業参加・取り組み状況、『キャリエファイル』の記入活用状況、筆記試験対策問題集・オンライン学習への取組み、その他提出物レポート点35点： 「+up インターンシップレポート」、「キャリアデザインⅠレポート」発表点20点： 「+up インターンシップ報告会」、「キャリアデザイン報告会」

教科書	参考図書
『キャリエファイル』(現代教養学科作成)	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
この授業の内容はすべて、社会で活躍していくのに必要になることです。毎回の授業に積極的に関与して、内容を吸収していくという姿勢が重要です。また話を聞く、自分で考える、マナーやルールを守ることなどは日常生活でも実践してください。授業内容の変更や、持ち物などは学科掲示板で確認してください。緊急の連絡にはLINEや電子メールを使うので、各自で登録をしておいてください。

01	社会人基礎力とはなにか
02	筆記試験・時事問題対策
03	コミュニケーション力演習①
04	コミュニケーション力演習②
05	コミュニケーション力演習③
06	コミュニケーション力演習④
07	マナー講座
08	+upインターンシップ説明会
09	+up インターンシップ事前調査
10	+up インターンシップ訪問準備
11	+up インターンシップ報告会発表内容の整理
12	+up インターンシップ報告会資料作成
13	+up インターンシップ報告会発表練習
14	+up インターンシップ報告会①
15	+up インターンシップ報告会②
16	一般常識模擬テスト
17	就職活動に向けて
18	自己・他己分析
19	履歴書・エントリーシートの書き方
20	進路講演会①
21	進路講演会②
22	業界研究
23	職種研究
24	情報収集の仕方
25	メイク講座
26	面接講座①
27	面接講座②
28	SPI模擬テスト
29	キャリアデザイン報告会準備
30	キャリアデザイン報告会
31	

2018年度シラバス

科目名:教養演習Ⅰ	担当者:全専任教員	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
　1年次に少人数で行われる演習です。大学での学び方や学生生活の過ごし方を考えたり、自分の生き方を含めた進路についても学んだりしていきます。　またこの授業では、他の授業で学んだ知識・スキルを活用しつつ、チームによる問題解決の体験を通じて「読む・聴く・話す・書く・調べる」力を発揮させる仕方も学習します。そのためにゼミの仲間とともに学内外でのさまざまなプロジェクトに取り組みながら、パソコンを使って資料を作成し、その成果を発表します。

授業の到達目標
　この授業では、一人ひとりの学生がゼミというチームの中でどのような役割を果たすべきかを考えながら、プロジェクトの企画や実行、まとめなどを行うことで、社会に出てから働くために本当に必要とされる力（社会人基礎力）を身につけ、円滑に仕事に従事できるようになることが目標です。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　この授業においては、社会人基礎力の向上がもっとも重要な課題となります。ゼミの仲間とのチーム学習が中心となるので、日頃から連絡や意見交換などの基本的なコミュニケーションの機会を大切にし、ゼミ活動を充実させるように心がけることが重要です。

評価方法
　平常点（5割・出席状況なども含む）や提出レポート（4割・全6本）、共通テキスト『ゼミノート』の記入内容（1割）などから総合的に評価します。

教科書	参考図書
『ゼミノート』および配布資料	担当教員から指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
担当教員やゼミのメンバーとしっかりコミュニケーションを取り、充実した学生生活を送れるようにしましょう。

01	本授業の概要説明と自己紹介などの実施
02	大学生活の計画を立てる
03	各種プロジェクトと課題解決学習の概要説明
04	プロジェクト（生と性の講演会）の実施
05	プロジェクト（生と性の講演会）の反省
06	プロジェクト（学科内行事）の準備（１）
07	プロジェクト（学科内行事）の準備（２）
08	プロジェクト（学科内行事）の実施
09	プロジェクト（学科内行事）の反省
10	プロジェクト（生き方シンポジウム）の準備
11	プロジェクト（生き方シンポジウム）の実施
12	プロジェクト（生き方シンポジウム）の反省
13	個人課題の設定と明確化
14	プロジェクト（秋のセミナー）の概要説明
15	プロジェクト（秋のセミナー）の準備（１）
16	プロジェクト（秋のセミナー）の準備（２）
17	プロジェクト（秋のセミナー）の実施
18	プロジェクト（秋のセミナー）の実施
19	プロジェクト（秋のセミナー）の反省
20	プロジェクト（秋のセミナー）報告会（PC利用）
21	個人面談による課題解決学習（１）
22	プロジェクト（全学行事）の準備（１）
23	プロジェクト（全学行事）の準備（２）
24	プロジェクト（全学行事）の実施
25	プロジェクト（全学行事）の反省
26	プロジェクト報告集の作成（PC利用）
27	個人面談による課題解決学習（２）
28	次年度プロジェクトの概要説明
29	進路研究プロジェクトの準備
30	進路研究プロジェクトの実施
31	プロジェクト全体のまとめと発表

2018年度シラバス

科目名:日本語表現A	担当者:松浦照子,大竹志保美,久木田恵,原美築 松浦照子、久木田恵、大竹志保美、原美築	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
大学生として必要な日本語能力、また、社会人として求められる能力として日本語の4領域（話す・聴く・書く・読む）の力を学ぶ。前期は特に話しことばに焦点を当て、インタビュー活動を通して、対話力を身に付ける。また、成果を発表し、公的な場での言語活動について学ぶ。そのほか漢字の基礎知識、新聞を使った社会問題に関する基礎知識も学ぶ。

授業の到達目標
対話の諸形式（1対1，1対複数、1対多数）に応じた適切な言葉遣いができるようにする。自己紹介から、グループでの対話、大人数の前での発表などの機会を通して、コミュニケーションを豊かにする方法を学ぶ。声の大きさ、目線の位置、メモの取り方、対話の発展の仕方が重要である。その際、敬語の使い方も相手との人間関係を築く上で欠かすことのできない要素である。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
原則として毎週『漢検10日間でできる練習問題』を使い、漢字の学習をする（小テストあり）。新聞スクラップ（専用の用紙あり）を作り、時事問題に関心を持つ。そのほか、授業の進度により、課題を課すことがある。

評価方法
授業への参加態度と課題の提出５０％、漢字学習の態度と小テストの成績３０％、学期末の試験２０％

教科書	参考図書
松浦ほか著『実践日本語表現』（ナカニシヤ出版）、『漢検10日間でできる練習問題』2級または準2級	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
少人数の演習形式の授業なので、欠席はほかのメンバーの迷惑になる。やむを得ず欠席した場合には必ず友人などに内容を確かめ、宿題などをして臨むようにしなければならない。

01	自己紹介をする　クラス分けテスト
02	より詳しい自己紹介、他己紹介をする
03	新聞の構成を知る、スクラップの方法を学ぶ
04	新聞学習、漢字学習　インタビュー活動の説明、グループを作る
05	新聞学習、漢字学習　敬語の使い方、インタビュー先を決定する
06	新聞学習、漢字学習　質問項目の検討と模擬インタビュー
07	新聞学習、漢字学習　インタビュー結果のまとめとお礼状の作成
08	新聞学習、漢字学習　手紙の書き方とお礼状の清書
09	新聞学習、漢字学習　発表会の準備　レジュメづくりとリハーサル
10	新聞学習、漢字学習　インタビュー活動の発表会（複数のクラス合同）
11	新聞学習、漢字学習　実読書の読み方
12	新聞学習、漢字学習　あらまし読みシートの作成方法
13	新聞学習、漢字学習　あらまし読みシート（1）
14	新聞学習、漢字学習　あらまし読みシート（2）
15	正しい要約文の作り方、漢字の総復習
16	

2018年度シラバス

科目名:日本語表現B	担当者:松浦照子,大竹志保美,久木田恵、原美築	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
日本語能力のうち、特に、テクストを読みこなす力（読む力）を養成する。大学では論理的な文章を書く必要があり、その方法を学ぶ。具体的には、文献の中から要点をつかむ力、文献相互の違いを見つける力を身に付ける。また、直前に迫った就職活動にも有効なコミュニケーション能力の育成を図る。

授業の到達目標
テーマを設定し、テクストを読みこなす力をつける。そのために、図書館を利用し、文献検索を行う。複数の資料を的確に扱い、論理的な文章を作成する。そのためには、的確な文章の引用の方法が不可欠である。また、緊張した場面でも気後れせず対応できるように、敬語を日常的に使いこなすことができるようにする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
漢字学習は前期に引き続き、毎週課題が課される。テクストを読みこなすことが求められるので、授業時間以外にも文献を理解するための読書が必要である。あらまし読みシートの作成など、授業時間だけでは足りない課題をこなす作業のための時間も求められる。

評価方法
授業への参加態度の課題の提出50%、漢字学習の態度と小テストの成績30%、学期末のレポート試験20%

教科書	参考図書
松浦ほか著『実践日本語表現』（ナカニシヤ出版），『漢検10日間でできる練習問題』2級または準2級	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業中はもちろん、授業時間以外にも文献を読む時間を保証することが求められる。小説などではない、専門書を対象にするので、用語の理解にも時間を要することが予想される。

01	漢字学習、敬語学習　ポスター制作について（1）
02	漢字学習　新聞学習　ポスター制作（2） 漢字学習　新聞学習　あらまし読みシートによるポスター制作
03	漢字学習　敬語学習　ポスターの相互評価（3）
04	漢字学習　新聞学習　実読書を読む
05	漢字学習　敬語学習　テーマ設定によるテクストのさがし方
06	漢字学習　新聞学習　あらまし読みシートの作成１
07	漢字学習　敬語学習　あらまし読みシートの作成２
08	漢字学習　新聞学習　比べ読みによるテクストの比較１
09	漢字学習　敬語学習　比べ読みによるテクストの比較２
10	漢字学習　新聞学習　引用の仕方
11	漢字学習　敬語学習　論述文の書き方
12	漢字学習　新聞学習　就職活動　自己分析自己紹介書の書き方
13	漢字学習　敬語学習　就職活動　エントリーシートの書き方
14	漢字学習　新聞学習　就職活動　面接の受け答え
15	漢字総復習　テーマ学習のプレゼンテーション
16	

2018年度シラバス

科目名:コンピューター基礎演習	担当者:岩佐　孝子、南　雄一郎	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
コンピューターや各種ソフトウェアについての基礎知識やソフトウェアの活用方法を演習形式で学びます。

授業の到達目標
コンピューターやオフィスソフトの基本操作だけではなく、情報化社会で生きていくために必要となる総合的な情報活用力を身につけることを目標とします。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
ここで学んだ内容は、授業の中だけで終わらせずに、大学生活（サークルや委員会活動）や就職活動など、実際のさまざまな場面で活用してみましょう。

評価方法
授業への参加状況（出席状況や授業態度）50%、課題50%。ただし授業担当者クラスによって異なるので、担当教員の話をよく聞くこと。

教科書	参考図書
必要に応じてプリントを配布	授業内で指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
課題等のデータ保存用にUSBメモリを用意すること（詳細は授業内で指示します）

01	オリエンテーション 〜 教室とPCの使い方
02	メールの設定とメール送受信
03	情報探索
04	著作権と肖像権
05	インターネット・セキュリティ
06	ファイルとフォルダ
07	数値分析（１）表計算ソフトの基本
08	数値分析（２）関数
09	数値分析（３）論理式と条件分岐
10	数値分析（４）グラフ化
11	ビジネス文書（１）
12	ビジネス文書（２）
13	プレゼンテーション
14	インターネット・コミュニケーション
15	まとめ
16	

2018年度シラバス

科目名:プレゼンテーション演習	担当者:高谷　邦彦,岩佐　孝子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
この授業では、単にプレゼンテーション・ソフトの操作方法を学ぶのではなく、説得力のあるプレゼンに必要となるメディアやツールの活用方法を学び、複数回の発表を実践します。

授業の到達目標
さまざまなプレゼンのスタイルを身につけ、「人前で話をする」という基本的な自己表現能力を高めることを目標とします。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
YouTubeなどの動画共有サイトには、世界中のさまざまなプレゼン映像がアップされていますので、それらを見て参考にしてください。

評価方法
出席と授業態度、提出課題、プレゼンの内容等によって総合的に評価します。

教科書	参考図書
必要に応じてプリント等を配布します。	授業内で指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
プレゼンは回数をこなすことで上達してゆくものです。この授業で学んだことを、大学生活や就活の際に活用するようにしましょう。

01	プレゼンテーションとは何か
02	効果的なプレゼン方法とメディアの選択
03	コミュニケーション演習
04	PowerPointの操作方法
05	個人プレゼンの準備（ストーリー構成）
06	個人プレゼンの準備（情報収集）
07	個人プレゼンの準備（各種メディアの活用）
08	個人プレゼンの準備（リハーサル）
09	個人プレゼンと講評（１）
10	個人プレゼンと講評（２）
11	グループ発表の準備（１）
12	グループ発表の準備（２）
13	グループ発表の準備（３）
14	グループ発表と講評
15	まとめ
16	

2018年度シラバス

科目名:コミュニケーションの心理	担当者:矢澤　久史	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	選択

授業概要と方法 ① よりよい人間関係を築いていくことができるコミュニケーション力を身に付けるために、コミュニケーションに　関する様々な心理学の知見を具体的な例を挙げながら、わかりやすく解説していく。②２人ペアでコミュニケーションの実習を実施したり（全４回）、関連するＤＶＤを見ることによっても、講義の　内容に対する理解を深める。
授業の到達目標 ①人間関係をうまく形成するためのコミュニケーション（話の聴き方、話し方、質問の仕方）を身につける。②コミュニケーションについての心理学的な知識（言葉の発達、男女の違い、来談者中心療法など）を深める。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 授業で興味を持った内容について関連図書を読んで、理解を深めること。
評価方法 確認テストの結果（８０%）＋各授業時の小レポート（２０%）

教科書	参考図書
指定なし	授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 毎回の授業の最後に授業の感想や疑問点などを小レポートにまとめて提出してもらう。

01	コミュニケーションについてどのくらいの知識がある？（事前調査）、愛着の形成
02	話の上手な聴き方を体験しよう（ペアによる実習を含む）
03	どのように質問したら会話が長続きする？（閉ざされたvs. 開かれた質問）（ペア実習を含む）
04	あなたは早口、それともゆっくりとした口調で話す？（ペア実習を含む）
05	あなたは早口、それともゆっくりとした口調で話す？（ペア実習を含む）
06	相手に対してどのように言葉をかけたら、会話がうまく進むのだろう（やる気の出る言葉かけ）
07	来談者中心療法、カウンセラーによる面談（DVD「来談者中心療法」視聴）
08	無言のコミュニケーション（実習）。コミュニケーションの成立はいつからか？（ヘスの研究）
09	赤ちゃんとお母さんのコミュニケーション（ＤＶＤ・ＮＨＫスペシャル「赤ちゃん」前半視聴）
10	赤ちゃんはどのようにして言葉を獲得していくのだろう（ＤＶＤ「赤ちゃん」後半視聴）
11	赤ちゃんとお父さんのコミュニケーション(ＤＶＤ「お父さんへ・赤ちゃんからのメッセージ」) 赤ちゃんとお父さんのコミュニケーション(ＤＶＤ「お父さんへ・赤ちゃんからのメッセージ」視聴) 赤ちゃんとお父さんのコミュニケーション(ＤＶＤ「お父さんへ・赤ちゃんからのメッセージ」視聴) 赤ちゃんとお父さんのコミュニケーション(ＤＶＤ「お父さんへ・赤ちゃんからのメッセージ」視聴)
12	あなたは楽観的それとも悲観的？（自分の考え方のクセを知ろう）（心理検査実習）
13	楽観主義と悲観主義どちらがいい？
14	イルカセラピーと発達障害（ＤＶＤ「イルカセラピー」視聴）
15	男性と女性の会話の違い（ＤＶＤ・ＮＨＫスペシャル・「男と女」第１集視聴）、確認テスト
16	

2018年度シラバス

科目名:接客の心理	担当者:上野　真由美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
現代教養学科ディプロマポリシーの3.他者の意見を理解する力と自分の意見を相手に伝える力を身につけ、それらに基づいてよりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力について、ビジネスの場では、人に快適なサービスと接遇で満足してもらうための具体的な考え方、行動の仕方、話し方などが問われることから、この授業では相手に満足を提供する「サービス」と、その行動の「接遇」について学ぶ。接遇に必要な所作は実践練習を行い、サービス接遇検定の問題をグループワークと発表を行う。検定試験受験を視野に入れ授業を進める。

授業の到達目標
①㊢ービス・接遇の仕事の基本を理解し、コミュニケーション技術を身につける。②㊢ービス接遇検定の合格を目指す。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
何かをしてもらう、あるいは物を買うときにどんなサービスや接遇が快適であるかを考え、アルバイト先などの働いている人によく注意を向けて観察する。さらに社会人になった自分の姿をイメージする。サービス接遇検定などの資格試験に挑戦する。毎回の行動目標に取り組み、振り返りを行い次回の授業で各自の達成度を測る。授業で学んだことを実践し立ち居振る舞いの向上に努める。

評価方法
授業内レポート・提出物（60%）、授業に対する意欲的な取り組み・参加態度（40%）を評価し総合的に行う。

教科書	参考図書
サービス接遇検定受験ガイド準1級早稲田教育出版サービス接遇検定受験ガイド準1級　早稲田教育出版	サービス接遇検定受験ガイド3級・2級

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡手段：金曜1限後の休み時間講師控室

01	ガイダンス	授業の進め方と評価方法の確認
02	グループワーク	必要とされる接遇の所作
03	グループワーク	美しい振る舞いの基本
04	グループワーク	美しい振る舞いの実践
05	印象の良い身だしなみ	
06	グループワーク	傾聴
07	問題演習と解説	お客さまへの対応・サービスマインド
08	問題演習と解説	仕事に対する心構え
09	ロールプレイング	ビデオ視聴と全体練習
10	グループワーク	練習実践
11	グループワーク	リハーサル
12	グループワーク	総合発表と相互評価1
13	グループワーク	総合発表と相互評価2
14	ホスピタリティとサービス	「サービス」ビデオ視聴とレポート
15	学習のまとめとレポート	
16		

2018年度シラバス

科目名:色彩学	担当者:大草　知裕	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　色彩は、物の区別やファッションなど人間の日常生活で幅広く活用されている情報です。色彩に関して、光の性質、色の三属性、色を感じる目の仕組み、色を表すための表色系などを学習していくとともに、配色カードを使った配色作業も行います。

授業の到達目標
　(1) 色相、明度、彩度をもとにして色を考えられるようになること。　(2) 色彩の知覚に関係する光や視覚についての基礎知識を得ること。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　配色などの課題作業が授業時間内に終わらない場合、翌週までの課題になります。

評価方法
　授業への取り組み姿勢(45%)、期末試験の得点(45%)、作業などによる作成物(10%)

教科書	参考図書
配色カード	色彩心理学入門 (中公新書)、色彩検定テキストなど

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　できるだけ正確な色を観察するため配色カードを使います(¥500-700)。　検定試験にチャレンジする場合は研究室や図書館の過去問題集などを利用してください。

01	ガイダンス
02	光と色
03	色を感じる目の仕組み
04	色の三属性
05	色の名前と表現方法
06	色相環やトーンマップの作成
07	色の表現
08	色の数値化や三次元構造
09	動物の色覚と進化
10	ユニバーサルデザインについて
11	色相にもとづいた配色
12	明度や彩度にもとづいた配色
13	グラデーション、アクセントカラー、セパレーション
14	環境やファッションにおける色彩
15	まとめと確認テスト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:現代の文化	担当者:井上　文人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　哲学とは、〈世界の在り方〉とその中での〈人間の生き方〉を考察する学問です。「現代の文化」は、「現代を創造的に生き抜く英知を育てる」ために、様々な「現代文化作品」に表現された〈人間の生き方の諸問題〉の研究を通じて、〈自己の生き方〉を探求することを授業の概要と方法とします。

授業の到達目標
①様々な「現代文化作品」に表現された〈人間の生き方の諸問題〉を系統的に考察します。②自己が愛着する「現代文化作品」に表現された〈生き方の諸問題〉の考察を通じて、自己が希求する〈自己の生き方〉を明らかにします。③〈自分が好きなものの中には自分がある〉ことを体感的に修得します。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学習：本授業で扱われる〈人間の生き方の諸問題と課題〉の継続的で日常的な準備学修：２時間事後学習：本授業で扱われる〈人間の生き方の諸問題と課題〉の継続的で日常的な事後学習：２時間

評価方法
成績評価は、①授業への参加態度30％と②期末レポート70％の配分にもとづいて行います。

教科書	参考図書
教科書はありません。毎回資料を配布します。	授業中に指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
〈人間の生き方の諸問題と課題〉は継続的で日常的な考察が重要です。生き方を自覚化しましょう。連絡先は授業で開示します。

01	授業ガイダンス
02	現代文化と哲学
03	現代日本のヒット曲
04	ミスチル
05	浜崎あゆみ
06	宇多田ヒカル
07	AKB48・嵐
08	EXILE・SEKAI NO OWARI
09	Kポップ
10	ミュージカル
11	お笑い
12	ディズニーランド
13	メイク
14	宮崎アニメ
15	『君の名は。』・まとめ
16	なし

2018年度シラバス

科目名:社会とスポーツ	担当者:岡田　雄樹	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 内容現代のスポーツは政治や経済、教育、娯楽など我々の社会に多様な形で影響を及ぼしています。スポーツは我々や社会にとってどのような意味や価値があるのでしょうか。また、スポーツは我々や社会にとって良い影響だけを及ぼすのでしょうか。それらを皆さんの経験と共に考えていけたらと思っています。方法グループワーク、レポート（３回）を行う
授業の到達目標 社会とスポーツの関係を知る。また、スポーツの意味や価値を理解し、したり、みたり、ささえたり、かんがえたりできるようになる。そして、自分のスポーツ経験を振り返り今後の人生に生かせるようになる。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 準備学習時にはシラバスのタイトルに関わる文献や書物で予習を行う。事後学修では配布した資料やノートを再確認し復習を行う。
評価方法 授業への参加態度30%　レポート30%　期末レポート40%

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

01	オリエンテーション
02	私とスポーツ①（スポーツを通して身についた力）※スポーツの経験がなくても、みたり、しったり、ささえたり、かんがえたりしてきた等の観点から
03	私とスポーツ②
04	スポーツの価値を考える①
05	スポーツの価値を考える②　※前５回分の振り返りレポートあり
06	スポーツをめぐる社会問題①
07	スポーツをめぐる社会問題②
08	スポーツと教育①運動部活動
09	スポーツと教育②健康
10	スポーツと教育③運動文化
11	スポーツと教育④人間形成　※前６回分の振り返りレポートあり
12	女性とスポーツ
13	スポーツの見方、考え方①
14	スポーツの見方、考え方②　※前３回分の振り返りレポートあり
15	まとめと期末レポート
16	

2018年度シラバス

科目名:自己の探求	担当者:井上　文人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
哲学とは、〈世界の在り方〉とその中での〈人間の生き方〉を考察する学問です。「自己の探求」は、「現代を創造的に生き抜く英知を育てる」ために、自分自身を深く知り、現代に生きる私達自身が直面している生き方の諸問題を考察することを通じて、〈自分自身の新たな生き方〉を探求することを授業の概要と方法とします。

授業の到達目標
①〈自分自身〉を根源的に考察します。②〈人間の生き方〉の諸問題を体系的に理解します。③〈自分自身の生き方〉の根本的な考察能力を修得し、〈新しい自分の生き方〉の端緒を獲得します。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学習：本授業で扱われる〈自己の生き方の諸問題と課題〉の継続的で日常的な準備学修：２時間事後学習：本授業で扱われる〈自己の生き方の諸問題と課題〉の継続的で日常的な事後学習：２時間

評価方法
成績評価は、①授業への参加態度30％と②期末レポート70％の配分にもとづいて行います。

教科書	参考図書
教科書はありません。毎回資料を配布します。	授業中に指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
〈自己の生き方の諸問題と課題〉は継続的で日常的な考察が重要です。生き方を自覚化しましょう。連絡先は授業で開示します。

01	授業ガイダンス
02	自己分析アンケート
03	「シンデレラ・コンプレックス」と女性の生き方
04	現代を生きる女性達の生き方の問題 現代を生きる女性達の生き方の問題
05	「ピーターパン・シンドローム」と男性の生き方
06	現代を生きる男性達の生き方の問題
07	現代を生きる人間の生き方の課題と哲学
08	『君たちはどう生きるか』
09	「コペル君」と「世界観」
10	『僕を探しに』
11	『ビックオーとの出会い』
12	「自分探し」とは何か？
13	『〈未来〉は〈いま〉にある』他
14	『私の〈仮面〉』他
15	『〈自分創り〉は〈他者創り〉』他・まとめ
16	なし

2018年度シラバス

科目名:スポーツ&エクササイズ　A	担当者:榎本　宣子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実技
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
バドミントンの魅力のひとつは、だれでも手軽に楽しむことができる点にある。ゲームを体験すると、運動量の多さや、技術の奥行きの深さ、戦術の複雑さに驚かされる。ゲームを経験し、ダブルスのフォーメションの理論と戦術、シングルスのレベル別の試合を通して、バドミントンの楽しさを体験する。バドミントンの理論と実践、またそれらを通して運動感覚を習得し、生涯にわたって年齢と体力に応じた豊かなスポーツライフを送るための基盤づくりをする。

授業の到達目標
・準備運動、整理運動の重要性を理解し、傷害の予防に留意してスポーツに親しむことができる。・スポーツの場の空間配置を整え、安全に留意したスポーツ行動の習慣化。　・市民スポーツの愛好者団体に参加し、リーダーシップを発揮することができる。・選択履修したスポーツ種目の特性を理解し、基本的技術、ルール、マナー、審判法を修得し、市民スポーツ競技会等に参加することができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
配布資料からスポーツのルールや技術、戦術、歴史の予習復習をする。

評価方法
授業への積極的な参加度と、授業の練習記録とレポート及び、技術的な進歩度によって総合的に評価する。授業への取り組み50%、種目特性の理解及び技術の習得度50%。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
それぞれのスタート地点は違います。毎回の授業で全体の目標以外に、自らの目標を設定し、あきらめずに努力を重ねましょう。小さな進歩の積み重ねが、スポーツの楽しさへとつながります。

01	オリエンテーション．授業の進め方の説明など。
02	ストレッチの理論と実践　そのⅠ基本　ラケットの使い方Ⅰ
03	ストレッチの理論と実践　そのⅡ　目的別のストレッチ　ラケットの使い方Ⅱ　シャトルの特性
04	ストレッチの理論と実践　そのⅢ　目的別のストレッチ　ラケットの使い方Ⅲ　ラリーを楽しむ
05	ストレッチの理論と実践　そのⅣ　応用　ショットⅠ(ハイクリア・ドライブ)ダブルス簡易ゲーム
06	ストレッチの理論と実践　そのⅤ　応用　ショットⅡ(ヘアピン）ダブルスゲームのルールと審判
07	ショットⅢ（プッシュ）ダブルスゲーム。
08	ショットⅣ（ロブ）バドミントンの歴史、ダブルスゲーム。ダブルスのフォーメーション。
09	ショットⅤ（スマッシュ）ダブルスゲーム。ダブルスのフォーメーションの応用
10	ロングサービスとショートサービス。ダブルスゲーム。
11	修得した技術の見直し。フットワーク(前後　左右への動き）　シングルスゲームのルールと審判。
12	運動感覚の習得Ⅰ　　シングルスゲーム（技術レベルに応じたシングルスゲーム）
13	運動感覚の習得Ⅱ　各ショットの完成のための個別練習。シングルスゲーム
14	運動感覚の習得Ⅱ　各ショットの完成。強いスマッシュのための個別練習。シングルスゲーム
15	まとめとして習得した技術の発表。
16	なし

2018年度シラバス

科目名:スポーツ&エクササイズ　A	担当者:横井　康博	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実技
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
生涯スポーツとして広く受け入れられているゴルフという種目を授業内にだけにとどまらず、在学中または卒業後にも生かせる講義を行う。初心者を対象とした指導を行うように基礎的な部分を重視しながら進めていく。

授業の到達目標
自分にあったグリップやスタンスを見つけ、自分のスイングを確立する。さらに、そのスイングでボールを打つ際にも崩れないスイングリズムを身につけることを目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
特に捻転を求める種目なので授業内でもフォローはするが、各自で柔軟性を高める準備を行う。テレビなどでゴルフの中継を見ておく。

評価方法
基本的に全出席が望ましい。平常点・レポート点・授業態度・実技点を下記のように総合評価する。なお、服装やアクセサリーの不備に関しては、平常点から減点することとする。平常点３０％・レポート点１０％・授業態度４０％・実技点２０％

教科書	参考図書
特になし	特になし

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
アクセサリー禁止。服装は、ジャージや体操服（ジーンズやスウェット禁止）と運動靴で受講すること。

01	オリエンテーション　今後の授業の進め方
02	ゴルフの基礎知識
03	ゴルフスイングの基本Ⅰ　グリップの種類と握り方
04	ゴルフスイングの基本Ⅱ　アドレス姿勢の重要性
05	ゴルフスイングの基本Ⅲ　スイング軌道について①　バックスイング　切り返し　ダウンスイング
06	ゴルフスイングの基本Ⅳ　スイング軌道について②　インパクト　フォロースルー
07	ゴルフスイングの基本Ⅴ　スイングリズムと体重移動
08	ショットの基本Ⅰ　ボールを置く位置の違い
09	ショットの基本Ⅱ　打球の強弱を意識して
10	ショットの基本Ⅲ　方向性を意識して
11	ショットの基本Ⅳ　自身のコントロールによる打ち分け
12	ショートゲーム①
13	ショートゲーム②　グランドゴルフ
14	ショートゲーム③　パッティング
15	まとめ　目標達成度チェック
16	なし

2018年度シラバス

科目名:スポーツ&エクササイズ　B	担当者:伊藤　理香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実技
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
エアロビクスとはエアロビックダンスエクササイズの略語で、「有酸素運動＝酸素を取り入れながら行う運動」という意味です。現代人に適した運動のひとつで、音楽に合わせて楽しくからだを動かすことができます。運動の目的は、生活習慣病の予防など健康維持および増進です。本講義では、音楽に合わせてのからだを動く巧みさ（達成）や表現力を身につけます。またグループワークとグループ発表(全4回)を行います。

授業の到達目標
この授業では、①エアロビクスの特性・効果を理解する②エアロビクスを通してからだを動かす楽しみを体得する③からだを動かすことによって表現する楽しみを得ることの３点を目標に行います。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
運動から得られる効果また必要性および現代社会における健康と疾病状況を事前学習しておく（運動の楽しさ・有酸素運動の効果・生活習慣病予防・など）。15時間

評価方法
授業への参加態度(積極的な実技への取り組み内容)50% 、グループワークへの取り組み25% 、授業内でのミニレポート25% とします。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

01	エアロビクスとは何か　ー　エアロビックダンスエクササイズの背景、エアロビクス体験
02	エアロビクス体験（入門クラス）、エアロビクスの特徴と効果
03	エアロビクス体験（初級クラス①）、運動のプログラム構成
04	エアロビクス体験（初級クラス②）、基本となる動きの種類
05	エアロビクス体験（初級クラス③）、正しい姿勢と動き方（効果的な動き方）
06	エアロビクス体験（初級クラス④）、目標運動強度（目標心拍数の設定、主観的運動強度）
07	エアロビクス体験（中級クラス①）、運動の効果（呼吸循環器系）
08	エアロビクス体験（中級クラス②）、運動の効果（骨格筋的）
09	エアロビクス体験（中級クラス③）、運動の効果（精神的）
10	クオリティーライフ向上（自分のからだを知り、生活に活かす）
11	エアロビックダンスエクササイズ・グループワーク① テーマ作りと曲の選択
12	エアロビックダンスエクササイズ・グループワーク② 基本動作を用いて動き作り
13	エアロビックダンスエクササイズ・グループワーク③ フォーメーション作り
14	エアロビックダンスエクササイズ・グループワーク④ ダンス表現を楽しむ
15	グループ発表
16	なし

2018年度シラバス

科目名:ボランティア論	担当者:倉田　あゆ子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この科目は「健康と福祉」ユニット内の専門教養科目の１つで、ボランティアに関する専門教養を身に付けることができます。　阪神大震災後、日本ではボランティア活動がクローズアップされました。さらに近年では、行政、企業に次ぐ第３の存在として、ボランティアやNPOが注目されています。それらが日本の社会の中で果たしている役割とは何かを、DVDを見たり、体験学習も行いながら、考えていきます。受講者の感想も紹介していきます。

授業の到達目標
　まずは自分自身の暮らしの中でどのようなボランティア活動があるのかについて考えてもらい、その後、ボランティアやNPOに関する基礎知識とそれを支える制度について理解します。様々な生活課題に取り組んでいる具体的な活動を知り、その課題や展望についても考えることを目標とします。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　授業で取り上げた重要なテーマについて調べ学習を行ったり、授業内容に関連のある新聞記事等を読んで、感想を提出してもらいます。　また、自分が現在行っているボランティア活動や長期休暇に取り組んだことのあるボランティア活動についてのレポートを提出してもらったり、授業で取り上げた内容の中から関心を持ったテーマについてのレポートを提出してもらうことがあります。

評価方法
　期末に筆記試験（持ち込み不可）を行います。その他に提出物等の授業参加態度などを加味して評価します（筆記試験50％、授業への参加態度50％）。

教科書	参考図書
なし（授業は配布するプリントに基づいて進めていきます。）	授業時間内に随時、紹介していく予定です。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　授業の中では視聴覚教材（DVD）を見たり、ワークシートを用いたりして理解を深めます。コメントシートは随時提出してもらいます。　まずは新聞やテレビなどで、ボランティアやNPOを扱ったものに注目してみて下さい。

01	イントロダクション、ボランティア度チェック、アンケート
02	ボランティアとは何か（ボランティア活動にはどのような特徴があるのか？）
03	ボランティア活動を始めるときに（ボランティア活動をする際の注意点とは？）
04	ボランティアの歴史（ボランティア活動の始まりはどんなものだったのか？）
05	環境ボランティア（環境に関するボランティア活動を紹介、自分にもできることは何か？）
06	障がい者とボランティア（ワークシートで障がいを持った方への接し方を学ぶ）
07	障がいを理解するための映画と解説（映画を通して考える）
08	補助犬（視覚障がいに関する体験学習をしてみよう）
09	ＮＰＯの基礎知識（ボランティアとＮＰＯの違いとは？）
10	子育てとボランティア・ＮＰＯ（子育てに関するボランティア活動を知る）
11	ボランティア・ＮＰＯと企業（パソコンを利用した調査学習をしてみよう）
12	点字名刺の作成（自分の名前から点字を知ろう、点字に関する体験学習）
13	ボランティアに関する映画・前半（映画を通して考える）
14	ボランティアに関する映画・後半と解説（映画を通して考えたことを共有する）
15	まとめと確認テスト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:人間と健康	担当者:山下　玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
女性として強く、たくましく、しなやかに生きるために、自分のカラダの不思議や過去・未来の自分の健康を見つめることや、社会で生活するための知識として、現代社会の健康問題や障がいを持つ人への理解を深める。

授業の到達目標
１）現代病や女性特有の病気について理解を深める。２）自分の健康や運動について興味関心を持ち、生涯の健康と運動の見通しを立てる。３）健康や運動について興味関心を持ち、様々な視点から考える力を身につける。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
１）授業で出された課題についてしっかり取り組むこと。２）興味関心のあるテーマについて、書籍やインターネットなどで調べること。

評価方法
１）確認テスト50%、平常点50%（出席状況、課題、授業への取り組み姿勢）の100点満点で評価する。２）授業中の迷惑行為（私語、飲食、化粧、スマホや携帯電話等の使用、遅刻、無断退出等）を行った場合、平常点から減点する。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
１）授業には前向きな姿勢で臨んでください。課題やディスカッション、グループワークなど、積極的に取り組んでくれることを期待しています。２）授業中に配布した資料、ノート、メモなどは全て1つのファイルに綴るようにしてください。

01	オリエンテーション、自分のからだとむきあう
02	女性のからだと健康①　：発育発達、加齢
03	女性のからだと健康②　：疾病
04	女性のからだと健康③　：妊娠・出産
05	女性と運動①　：体育、生涯スポーツ
06	グループワーク①　：生理中の運動について考えよう
07	女性と運動②　：競技スポーツ
08	女性と運動③　：障害者スポーツ
09	情報リテラシー①　：情報の収集方法
10	情報リテラシー②　：マインドマップの活用
11	グループワーク②　：女性の健康と社会　グループで問題を探ろう
12	グループワーク③　：女性の検討と社会　グループでまとめよう
13	社会の中の自分　：将来の自分をえがいてみよう
14	ディスカッション　：「電車にベビーカー」どう思う？
15	まとめと確認テスト
16	

2018年度シラバス

科目名:ホームヘルパー実習	担当者:サポート知多	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
介護職員初任者研修を取得するには、130時間の講義・演習と修了試験に合格する必要があります。130時間のうち39時間分を自宅学習し、その後スクーリングでグループワークや実際にベッドや車椅子等を使って介護の仕方を勉強します。さらに介護の現場で実際に介護を経験します。

授業の到達目標
介護の現場で働くための第一歩の研修が「介護職員初任者研修」です。ヘルパーという仕事の理解、老化・認知症・障害の理解、介護保険や障害者総合支援法という制度の理解、実際に介護の仕方を勉強し、介護の現場で働くために必要な知識を習得します。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
実際に1日施設で実習を行います

評価方法
・自宅学習によるレポート　25%　・スクーリングの出席状況及び受講態度、実技演習　25%　・実習態度及びレポート　25%　・筆記試験　25%

教科書	参考図書
介護職員初任者研修課程（財)長寿社会開発センター 発行	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
テキストの中から問題を出しますので、テキストにしっかり目を通してください。テキストで理解できないことはインターネット等で調べると理解し易いです。疑問点などある場合は、直接“サポートちた　竹内”までご連絡下さい。ＮＰＯ法人地域福祉サポートちた　ＴＥＬ：0562-33-1631・ＦＡＸ：0562-33-1743

01	1自宅学習　介護に必要な基礎知識を自宅でテキストを使って学習し、レポートを提出します。 2スクーリング　講義と演習(グループワークやベッド・介護用品等を実際に使って体験的に学習します。) 1）職務の理解 2）介護における尊厳の保持・自立支援 3）介護の基本 4）介護・福祉サービスの理解と医療との連携 5）介護におけるコミュニケーション技術 6）老化の理解 7）認知症の理解 8）障害の理解 9）こころとからだのしくみと生活支援技術 3実習　介護の行われている現場で実際に介護を経験します。 4修了試験
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2018年度シラバス

科目名:ＮＰＯインターンシップ	担当者:倉田　あゆ子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期･後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この科目は「健康と福祉」ユニット内の専門教養科目の１つで、夏期休暇中又は春期休暇中に実際に10日間研修を行うものです。　2006年度よりＮＰＯインターンシップが開始され、企業とは違い、暮らしの中の課題（たとえば高齢者福祉など）を解決するため活動するＮＰＯの現場に参加・体験することができるようになりました。具体的な研修先は「地域福祉サポートちた」（ＮＰＯ法人、愛知県知多市）等の２か所です。

授業の到達目標
　ＮＰＯインターンシップに参加することで、愛知県内のＮＰＯの現状や各団体の活動を肌で感じ、理解することができる。またＮＰＯを通して地域との関わり方を考える、ＮＰＯで働くことの意味を考える、卒業後の進路を考える上で多くのヒントを得ること等を目的としています。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
事前学習：NPOインターンシップ説明会への参加、事前学習レポート(1000字以上)の提出、実施説明会への参加事後学習：研修日誌の提出、事後レポート(1000字以上)の提出研修日誌はこちらで用意したものを使用します。事前学習レポート・事後レポートともに提出期限を守ってください。

評価方法
事前指導や事後指導への取り組みや、研修期間中の日誌・レポート、研修先からの評価を合わせて総合的に評価します（事前・事後指導30%、研修日誌・レポート40%、研修先からの評価30%）。

教科書	参考図書
なし	随時紹介する予定です。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　ボランティア活動に関心があること、事前・事後の指導にもきちんと参加できること、ボランティア論（１年・前期）を受講していることが望ましいです。　研修期間中はくれぐれも体調管理に気を付けて、研修を欠席しないようにしてください。

01	下記の事前指導、研修、事後指導を順番に進めていきます。 ・事前指導 ① ＮＰＯインターンシップ説明会への参加 　１．ＮＰＯとは何か 　２．愛知県のボランティア活動とＮＰＯについて 　３．実際の研修内容・スケジュール等について ② 募集：希望者が多い場合、志望理由書に基づき選抜することになります。 ③ 実施説明会：研修期間中の注意事項等について確認します。 ④ レポート課題（1000字以上）、志望理由書の作成、誓約書の提出等を締切日までに行います。 ・研修 ①実施期間：夏期・春期期間中に実施 ②期間：２週間 ③研修内容：インターンシップ受け入れ先で各部署での研修プログラムが用意されています。 ・事後指導 ①研修報告：研修中に書いた「日誌」の提出、研修後のレポートの提出（1000字以上）
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2018年度シラバス

科目名:カウンセリング入門	担当者:岡本　加苗	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 ①「自分の心」について積極的な関心を持って理解を深め、さらに「他者の心」に対して真摯で温かな眼差しを向けて関わるカウンセリングの基本姿勢を学びます。これは、現代教養学科のディプロマポリシー「３.他者の意見を理解する力と自分の意見を相手に伝える力を身につけ、それらに基づいてよりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力」の習得と深い関連性があります。②授業の方法は、講義とそれに関連した自己理解・他者理解のための体験学習（個人またはグループ・ワーク）という構成で進めます。③毎回、授業への出席票を兼ねたふり返りレポートの作成をお願いします。
授業の到達目標 ①授業を通して自己理解・他者理解を深めることができます。②基本的なカウンセリングの知識と技法を学ぶことができます。③グループで課題に取り組むことで社会的スキルを身につけます。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 授業の中で関心を持ったテーマについて、関連書籍などを読み、理解を深めてください。
評価方法 授業への参加態度３５％、ふり返りレポート３５％、レポート試験３０％

教科書	参考図書 授業の中で適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 連絡手段：授業前後の講師控室☆体験学習では、ペアやグループでの活動を多く取り入れます。社会的スキルのトレーニングと考えて、積極的に取り組みましょう。

01	ガイダンス
02	心の実験　～心って何だろう？～
03	性格とカウンセリング　～心理テストから自分を理解する～
04	ライフサイクルとカウンセリング　～青年期の課題～
05	恋愛カウンセリング　～男ゴコロ・女ゴコロ～
06	おとぎ話に現れるこころの世界　～深層心理学～
07	過去のトラウマからの脱却を目指す！　～精神分析的心理療法～
08	心のトラブルに対処できるワザを身につける　～認知行動療法～
09	「私」の成長を支えるカウンセリング　～クライアント中心療法～
10	聴き上手？話し上手？①　～傾聴～
11	聴き上手？話し上手？②　～アサーション～
12	夢分析入門　～夢とのつきあい方～
13	芸術療法入門　～描画療法～
14	ストレス社会を生きる　～ストレス・コーピング～
15	まとめと確認テスト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:医療実務	担当者:塚本　佳子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	4
		必須.選択	選択

授業概要と方法
医療実務に関連する法規、医療機関のしくみ、医療費のしくみ、医療用語、患者接遇など、医療機関の事務職員として必要な知識を学びます。さらに、ホスピタルコンシェルジュ、調剤事務管理士などの検定合格をめざします。また、授業で理解した内容を業務に活かせるよう、PBL（問題解決学習）を取り入れます。

授業の到達目標
　医療事務に関連する法規、医療機関のしくみ、医療費のしくみ、医療用語、患者接遇の方法などを理解するとともに、医療機関窓口等での基本業務について、得た知識を応用し、考えることができるようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
・授業のみの学習では知識の定着が難しいため、必ず復習として自宅学習をすること。・各回の授業で出された課題を積極的に取り組み、理解しづらい点は付箋などをつけ必ず次の授業にて質問すること。

評価方法
定期試験60%、課題提出40%

教科書	参考図書
調剤薬局事務テキスト１（医療保障制度）調剤薬局事務テキスト2（算定とレセプト）調剤薬局事務テキスト3（トレーニングブック）医療関連用語・略語集　（全て、ソラスト）	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

01	オリエンテーション／医療の歴史
02	医事業務１（窓口業務、言葉づかい）
03	医事業務２（電話応対、クレーム対応） 医療供給体制１（病院組織と医療従事者） 医療供給体制２（医療と安全、病院会計） 医療保障制度の基本用語 医療保険制度のあらまし１（各制度と基本用語） 医療保険制度のあらまし２（高額療養費） 保険診療と医療費 公費負担医療制度と保険者番号 その他の医療保障制度（労災、自賠責など） 介護保険制度 医療情報文書の種類と取扱い 医療用語１（解剖） 医療用語２（生理学・生化学） 医事業務２（電話応対、クレーム対応）
04	医療供給体制１（病院組織と医療従事者）
05	医療供給体制２（医療と安全、病院会計）
06	医療保障制度の基本用語
07	医療保険制度のあらまし１（各制度と基本用語）
08	医療保険制度のあらまし２（高額療養費）
09	保険診療と医療費
10	公費負担医療制度と保険者番号
11	その他の医療保障制度（労災、自賠責など）
12	介護保険制度
13	医療情報文書の種類と取扱い
14	医療用語１（解剖）
15	医療用語２（生理学・生化学）
16	医療用語３（疾病・症状）
17	医療用語４（検査・処置）
18	医療事務職員の基本業務を考える（ＰＢＬ）
19	医事業務におけるﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄを考える（ＰＢＬ）
20	薬と薬効
21	調剤基本料のしくみと算定方法
22	調剤基本料算定の実際
23	薬剤料等のしくみと算定方法
24	薬剤料等算定の実際
25	調剤料のしくみと算定方法

26	調剤料算定の実際
27	薬学管理料のしくみと算定方法
28	薬学管理料算定の実際
29	調剤レセプトの書き方
30	調剤レセプト作成演習
31	定期試験

科目名:病院インターンシップＳ	担当者:病院インターンシップ運営委員会・各「教養演習I」担当教員	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期･後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　病院や医療機関にて、実際の事務や受付などの仕事を研修生として体験する。また、それに関して必要となる事前の準備や、研修終了後の振り返りを行う。　なお、「病院インターンシップS」は1週間程度の研修を対象とする。

授業の到達目標
　病院や医療機関での仕事のイメージを体得する。また、病院や医療機関などで働くのに必要となる技能、知識、心構えなどの基本を身につける。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　説明会は他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとに研修内容と研修成果について（60%）、実習先の評価と事前事後の指導をもとに研修態度（40%）を評価する。

教科書	参考図書
ガイダンスなどで適宜指示する。	『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　実習先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問も単位取得の要件である。また、希望人数が多い場合には学生課による選考が行われる。　実習中は現場の職員や医療従事者の方と同じく責任感および緊張感をもって行動しなければならない。そのためには、礼儀や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力なども重要になるので、普段から意識を高めておく必要がある。

01	下記の事前指導、研修、事後指導を順番に進めていく。 事前指導：（7時間） (1) 研修先や研修概要に関する説明会 (2) 希望人数によっては選考 (3) 研修先ごとのガイダンス (4) 研修先の事前訪問 研修：（20時間） ・前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 ・研修内容は、実習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3時間） (1) 研修日誌の提出 (2) 研修レポートの作成
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2018年度シラバス

科目名:病院インターンシップＬ	担当者:病院インターンシップ運営委員会・各「教養演習I」担当教員	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期･後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　病院や医療機関にて、実際の事務や受付などの仕事を研修生として体験する。また、それに関して必要となる事前の準備や、研修終了後の振り返りを行う。　なお、「病院インターンシップL」は2週間程度の研修を対象とする。

授業の到達目標
　病院や医療機関での仕事のイメージを体得する。また、病院や医療機関などで働くのに必要となる技能、知識、心構えなどの基本を身につける。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　説明会は他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとに研修内容と研修成果について（60%）、実習先の評価と事前事後の指導をもとに研修態度（40%）を評価する。

教科書	参考図書
ガイダンスなどで適宜指示する。	『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　実習先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問も単位取得の要件である。また、希望人数が多い場合には学生課による選考が行われる。　実習中は現場の職員や医療従事者の方と同じく責任感および緊張感をもって行動しなければならない。そのためには、礼儀や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力なども重要になるので、普段から意識を高めておく必要がある。

01	下記の事前指導、研修、事後指導を順番に進めていく。 事前指導：（7時間） (1) 研修先や研修概要に関する説明会 (2) 希望人数によっては選考 (3) 研修先ごとのガイダンス (4) 研修先の事前訪問 研修：（50時間） ・前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 ・研修内容は、実習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3時間） (1) 研修日誌の提出 (2) 研修レポートの作成
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2018年度シラバス

科目名:社会と経済	担当者:茶谷　淳一	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:社会と経済		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
私たちの暮らしがいまどのような状況にあるのか、これからどのように変わろうとしているのかを考える手がかりとして、現在政府が行っている経済政策＝アベノミクスとエネルギー政策について解説し、問題点を考えます。そのなかで経済に関して知っておきたい言葉や考え方を身につけ、また経済と私たちの暮らしが密接に関わっていることを理解できるようにお話しします。

授業の到達目標
現代日本の経済社会に関する基礎的な知識を身につけます。また社会や経済のあり方に関心を持ち、新聞や日々のニュースに、自ら触れようとする姿勢を身につけます。また多様な意見があることを理解し、自分なりの意見を持つことが必要であることを理解できるようになります。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
①新聞やテレビのニュース、ドキュメンタリーを積極的に見ましょう。そして今、何が起こっているのかを敏感に悟ることができるようになりましょう。②宿題として単元ごとの確認テストがあります。必ず自分で解答しましょう。

評価方法
各単元終了後の確認テスト課題（10点×２）＋期末の確認テスト（90点）。授業のコメントシートも参考にします。単元終了後の確認テスト課題の再試験は行いません。欠席した場合、後日試験用紙を受け取ることはできません

教科書	参考図書
なし。授業で配布するレジュメをもとに授業を進めます。	適宜、紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
重要なニュースの説明などのため、授業が予定通りに進まないことがあります。レジュメの余白にメモを取ること。質問は木曜昼休みに研究室へ。途中退出・遅刻・私語など受講マナーを守れない場合は受講を取り消します。

01	授業の目標と進め方、評価について　　HOT ISSUE
02	アベノミクスとは？
03	景気とは何か？
04	「大胆な金融緩和」で経済は、くらしはどうなる？
05	「大胆な財政政策」で経済は、くらしははどうなる？
06	「規制緩和」で経済は、くらしはどうなる？
07	アベノミクスが目指す日本の未来
08	「アベノミクス」のまとめ　単元ごとの確認テストの解答・説明
09	エネルギーについて考える
10	日本のエネルギー政策と原子力利用
11	原子力の経済性
12	核燃料サイクルと核のゴミ
13	新しいエネルギーの利用　ドイツの経験
14	「エネルギー」についてのまとめ　単元ごとの確認テストの解答・説明
15	授業のまとめと期末の確認テスト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:現代の経営	担当者:清水　真	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 　この科目では、日常生活とのかかわりを含め、ビジネスの視点から据えた個人の行動や市場・会社の仕組みを理解することを基本とする。理解を深めるため、問題解決学修を取り入れる。
授業の到達目標 　社会人として社会の諸問題を判断し、解決するための、社会のしくみに関する基礎的知識・素養をみにつけることができる。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 　事後学修として、自宅で会社の仕組みについて理解を深める。
評価方法 　授業への参加態度50%、試験50%による総合評価

教科書 プリントを適宜配布する。	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

01	経済の基礎
02	ビジネスの発展
03	流通の意義と役割
04	売買業者のビジネス
05	流通活動とマーケティング
06	企業の形態と経営組織(1)
07	企業の形態と経営組織(2)
08	経営戦略（１）戦略パターン・経営資源の配分法
09	経営戦略（２）M&Aの実態と経営手法
10	企業の資金調達
11	サービス業のビジネス
12	金融機関のビジネス
13	企業活動と税
14	人事・労務の仕組み
15	総括
16	

2018年度シラバス

科目名:マーケティング	担当者:清水　真	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 身近に存在する商品が、どのように開発、価格設定、販売促進され、消費者の手元に届くかを学ぶのが本授業の概要である。基本的に講義形式で授業を進めるが、理解を深めるため、グループディスカッションも実施する。
授業の到達目標 マーケティングとは如何なるものかを理解し、今日における社会環境の課題を発見するとともに、それを解決する能力を身につけることができる。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 事後に、ショッピングに出かけ、授業に学んだことを念頭に、商品価格の比較、販売員の態度、広告などを調べる。グループディスカッションの準備学修としてケースを熟読し、課題をまとめる。
評価方法 授業への参加度50%、テスト50%による総合評価

教科書	参考図書 マーケティングと消費者（慶應義塾出版会）

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

01	マーケティングとは何か
02	マーケティングの誕生
03	マーケティング環境としての消費
04	サービス・マーケティング
05	ブランドの構築と消費者との関係性
06	製品計画(1)新製品開発と戦略
07	製品計画(2)製品ミックス，製品属性
08	価格決定(1)価格の持つ意味
09	価格決定(2)価格の種類と価格の決定方式
10	プロモーション(1)コミュニケーション
11	プロモーション(2)AIDMA，人的販売
12	プロモーション(3)販売促進，広告・宣伝・パブリシティ
13	流通チャネル(1)流通チャネルの構築基準と機能，流通系列化
14	流通チャネル(2)流通系列化をめぐる変化とSCM
15	総括・テスト
16	

科目名:企業インターンシップS	担当者:企業インターンシップ運営委員会・各「教養演習I」担当教員	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
　大学が協定を結んでいる学外の企業や事業所にて、実際の事務などの仕事を研修生として体験する。また、それに関して必要となる事前の調査や準備、研修終了後の振り返りを行う。　なお、「企業インターンシップS」は1週間程度の研修を対象とする。

授業の到達目標
　企業や事業所、店舗などでの仕事のイメージを体得する。また、企業で働くために必要となる技能、知識、心構えの基本を身につける。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　説明会は他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとに研修内容と研修成果について（60%）、実習先の評価と事前事後の指導をもとに研修態度（40%）を評価する。

教科書	参考図書
ガイダンスなどで適宜指示する。	『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　実習先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問も単位修得の要件である。また、希望人数が多い場合には学生課による選考が行われる。　実習先では実際に業務を行い、それに伴い一定の責任が発生するので、緊張感をもって参加し行動しなければならない。そのためには、礼儀や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力なども重要になるので、普段から意識を高めておく必要がある。

01	下記の事前指導、研修、事後指導を順番に進めていく。 事前指導：（7時間） (1) 研修先や研修概要に関する説明会 (2) 希望人数によっては選考 (3) 研修先ごとのガイダンス (4) 研修先の事前訪問 研修：（20時間） ・前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 ・研修内容は、実習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3時間） (1) 研修日誌の提出 (2) 研修レポートの作成
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:企業インターンシップL	担当者:企業インターンシップ運営委員会・各「教養演習I」担当教員	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　大学が協定を結んでいる学外の企業や事業所にて、実際の事務などの仕事を研修生として体験する。また、それに関して必要となる事前の調査や準備、研修終了後の振り返りを行う。　なお、「企業インターンシップL」は2週間程度の研修を対象とする。

授業の到達目標
　企業や事業所、店舗などでの仕事のイメージを体得する。また、企業で働くために必要となる技能、知識、心構えの基本を身につける。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　「説明会」は他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとに研修内容と研修成果について（60%）、実習先の評価と事前事後の指導をもとに研修態度（40%）を評価する。

教科書	参考図書
ガイダンスなどで適宜指示する。	『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　実習先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問も単位修得の要件である。また、希望人数が多い場合には学生課による選考が行われる。　実習先では実際に業務を行い、それに伴い一定の責任が発生するので、緊張感をもって参加し行動しなければならない。そのためには、礼儀や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力なども重要になるので、普段から意識を高めておく必要がある。

01	下記の事前指導、研修、事後指導を順番に進めていく。 事前指導：（7時間） (1) 研修先や研修概要に関する説明会 (2) 希望人数によっては選考 (3) 研修先ごとのガイダンス (4) 研修先の事前訪問 研修：（50時間） ・前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 ・研修内容は、実習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3時間） (1) 研修日誌の提出 (2) 研修レポートの作成
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2018年度シラバス

科目名:ジェンダーと法	担当者:綾部 六郎	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　みなさんは「ジェンダー」や「セクシュアリティ」ということばをこれまでに聞いたことがありますか？ わたしたちが先人たちの努力によってこのことばを知ったときから、性をめぐる考え方の新たな可能性が大きく切り開かれました。　自立した女性となるために、こうした考え方について法学の観点から学んでみましょう。

授業の到達目標
　この授業では、こうしたジェンダーやセクシュアリティということばや、それらが法律とどうかかわっているのかということについて、具体的な題材を通じて学び、それまでの自分とは違う視点を得られるようにします。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　日常的な出来事のなかに潜んでいるジェンダー／セクシュアリティ上の問題を、法的な視点から正しく分析するための視点を獲得することが大切です。

評価方法
1. 確認テスト（レポート試験になることもありうる）の成績（90%）2. 任意課題の提出（適宜加点する）3. 受講態度などの勘案（10%）

教科書	参考図書
谷口洋幸・綾部六郎・池田弘乃編著『セクシュアリティと法：身体・社会・言説との交錯』（法律文化社、2017年）	授業中に紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
座席指定制になります。

01	ガイダンスの実施（授業での約束事などについて説明します。）
02	導入：「セクシュアリティと法」とはなにか？
03	性別：法的性別の根拠は？
04	性同一性障がい：性別違和をもつ当事者に法は応答できているか？
05	性刑法：誰をどのように守るものであるべきか？
06	親子：性的マイノリティは親になれるのか？
07	婚姻：カップルの特別扱いに合理性はあるか？
08	暴力：ドメスティック・ヴァイオレンスは異性間だけの問題か？
09	企業：企業が性的マイノリティにできることとは？
10	学校教育：「性の多様性」学習の保障に向けて必要なこととは？
11	人権：誰のどのような人権か？
12	ノルム：平等か解放か？
13	クィア：クィアな視点は法になにをもたらすのか？
14	補論：科学・技術の発展が法や性的マイノリティに与える影響とは？
15	授業のまとめなど
16	なし

2018年度シラバス

科目名:オフィススタディ	担当者:吉田　智美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
ビジネス社会で働いていくために必要な基本的な心構え、知識を会社内でのケースを通して理解する。アルバイトを含め社会生活で必要とされるビジネスマナーを身に付け、様々な状況に臨機応変に対応できるように修得し、行動できるようにする。授業の流れは、最初に内容に関する説明を行い（インプット）、その後、プリントなどで問題を解き（アウトプット）し、知識の定着を図る。秘書検定2級の資格取得を目標にする。

授業の到達目標
大学生活やアルバイトなどの社会経験の中で、最低限困らないようにビジネスマナーを身に付け、臨機応変に対応できる力を身に付けていくことを目標とする。インターンシップなどで、社会人との関わりを持ちながら疑問に思ったことを、明らかにし、正しく行動することができるようなる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
事前課題や事後学修、復習、検定試験対策、確認テスト対策などでおおよそ30時間程度の予習復習を要する。具体的な内容に関しては、授業中に指示する。１～2　会社組織について、職場内の人間関係についてテキストの対応部分を読む（事後）3～4　自分が使っている言葉や使われている言葉についての疑問点をあげ（事前）、正しく使うことができるようにする（事後）5～11　テキストの対応部分を読み、授業中に間違えた問題を再度確認する（事後）12～13　ビジネス文書を作成し、社内文書を確実にかけるようにする（事後）14～15　確認テスト対策（事前）、秘書検定のマナー接遇部分（実問題集）の問題を解く（事後）

評価方法
授業への参加態度（話し合いへの参加、提出物）４０％、実技試験20%、確認テスト20%

教科書	参考図書
秘書検定2級クイックマスター（秘書検定2級取得者も必要）、秘書検定2級実問題集（秘書検定2級取得者は、準1級問題集を使用）　前期に、秘書概論を受講した学生はそのまま同じテキストを使用する。	授業中に指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
前期の秘書概論と同じテキストを使用する。秘書概論を受講した学生は、オフィススタディで新しくテキストを購入する必要はない。

01	オリエンテーション　　仕事をする上で必要な心構え
02	職場と人間関係について
03	敬語と接遇用語について①　敬語の種類と使い分け
04	敬語と接遇用語について②　接遇用語
05	命令・指示の受け方、報告・説明の仕方について
06	苦情処理の仕方、断り方について
07	来客応対について①　応接室の対応、茶菓の出し方など
08	来客応対について②　上座・下座、紹介の仕方など
09	電話応対について①　言葉遣い
10	電話応対について②　会議中などの対応の仕方など
11	交際の業務（慶弔、贈り物のマナー）
12	ビジネス文書の作成①　社内文書
13	ビジネス文書の作成②　社外文書
14	書類の取り扱い方、資料管理
15	環境の整備　まとめ　確認テスト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:秘書概論	担当者:吉田　智美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
秘書業務を通じて、職業人として求められる資質や要求される役割などを学んでいく。さらに、秘書検定の問題やケースワークをもとに、具体的に必要とされる人材について理解をする。グループワーク（全５回）を行い、社会人としての心構えを認識する。

授業の到達目標
秘書としてだけでなく、職業人として取り巻く人間関係、関係対応などを知ることで将来働く姿をイメージし、学生時代とは異なる社会人としての対応ができるようなることを目標とする。秘書検定2級の検定合格を目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
社会問題に対して、新聞やニュースなどから積極的に知識を得るようにすること。事前課題や事後課題、検定対策、確認テスト対策などで、おおよそ30時間程度の予習復習を要する。具体的な内容に関しては、授業中に指示する。１　秘書検定はどのような問題なのか、テキストを読む（事後）2〜3　今までのコミュニケーションの仕方について、直すべきところをあげて、普段の生活に取り入れる（事後）4〜11　授業内で説明された部分をテキストで確認をし、間違えた問題を解き直し理解する（事後）12〜13　グループワークで学んだことから、自分が働くときにはどうなるのかを振り返り、レポートを作成する（事後）14　秘書検定の理論部分を解き、理解を定着させる（実問題集）（事後）

評価方法
授業への参加態度（話し合いへの参加、提出物）40%、レポート20%、確認テスト40%

教科書	参考図書
秘書検定2級クイックマスター（秘書検定2級取得者も必要）、秘書検定2級実問題集（秘書検定2級取得者は準1級実問題集を使用）	授業中に指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
秘書検定などの検定取得を目指し、主体的に学んでほしい。

01	オリエンテーション　学生と社会人との違いについて
02	社内・社外の人とのコミュニケーションについて①　聴き方、話し方　グループワーク
03	社内・社外の人とのコミュニケーションについて②　伝え方　グループワーク
04	秘書として備えるべき資質について
05	補佐役として秘書としての立場
06	秘書に求められる能力について
07	秘書の役割機能について
08	秘書を取り巻く人間関係について
09	仕事をしていく上で必要な職務知識について
10	秘書の日常業務①　定型業務について
11	秘書の日常業務②　非定型業務について
12	仕事をしていく上で求められる心構えについて　グループワーク
13	仕事をしていく上で求められる人材とは　グループワーク
14	企業で働くということについて
15	まとめ、確認テスト、解説
16	なし
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	

31	

2018年度シラバス

科目名:簿記	担当者:高木　義彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	4
		必須.選択	選択

授業概要と方法
ビジネス社会で働く際に必要な基本知識としての簿記の基本原理を理解し、現代の企業の在り方や経営の仕組みを学ぶとともに、実社会に出たときに役立つ準備のための実践的な技術を身に付けます。簿記の習得のためには、自分で問題を解き、反復練習することが重要です。本授業では、問題演習を多く取り入れ、知識の確実な定着を図るため確認テスト（２回）を行います。

授業の到達目標
初めて簿記を勉強する人を対象として、日商簿記検定試験３級レベルの簿記の基本原理を理解する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
＜準備学習＞教科書を使って、各単元の内容を事前に予習しておくこと。（30時間）＜事後学修＞記帳練習帳を確実に行い、内容を確認すること。（90時間）

評価方法
授業への参加態度（50%）確認テスト（50%）

教科書	参考図書
日商簿記３級テキスト（株式会社カリアック）	授業中に指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
反復繰り返しを大切に、記帳練習帳を活用して事後学修を確実に行い、内容を確認することが重要です。

01	企業の簿記
02	資産・負債・純資産（資本）と貸借対照表
03	収益・費用と損益計算書
04	取引と勘定記入
05	仕訳と転記
06	仕訳帳と総勘定元帳
07	試算表と精算表
08	損益計算書と貸借対照表
09	現金・預金の記帳（1）
10	現金・預金の記帳（2）
11	商品売買の記帳
12	掛け取引の記帳
13	手形取引の記帳
14	その他の債権・債務の記帳
15	まとめと小テスト（1）
16	有価証券の記帳
17	固定資産の記帳
18	純資産（資本）と税金の記帳
19	決算整理（売上原価の計算）
20	決算整理（貸し倒れの見積もり）
21	決算整理（減価償却）
22	決算整理（費用・収益の繰り延べ）
23	決算整理（費用・収益の見越し）
24	８桁精算表の作成（1）
25	８桁精算表の作成（2）
26	８桁精算表の作成（3）
27	財務諸表の作成
28	５伝票制と転記
29	総合演習
30	まとめと小テスト（2）
31	

2018年度シラバス

科目名:データベース演習	担当者:伊藤　宏隆	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
ビジネスにおいて収集したデータの管理と分析は重要な業務となっている。この授業では、EXCEL のデータベース機能を用いて、データ管理とデータ分析について学習する。一人一台パソコンを使用して、例題の学習、練習問題、課題演習を行う。

授業の到達目標
例題や演習の遂行を通して、EXCELのデータベース機能を自由自在に使いこなし、ビジネス実務で活用できるスキルを身につける。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業前には、教科書を読んで授業内容を事前に把握しておく（2時間）。授業後には、授業で学習した内容をパソコンを使用して復習し、各回で課された課題を遂行する（2時間）

評価方法
授業への参加態度 20%　課題80%

教科書	参考図書
できるExcelデータベース　早坂清志　インプレス	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
資料の掲示、授業連絡はMoodleにて行う。

01	データベースの基礎
02	テーブルの作成
03	データの入力
04	他のデータソースからのデータの取り込み
05	データの整形
06	演習
07	データの取り出し
08	データの並べ替え
09	データの抽出
10	データの強調表示
11	演習
12	データの分析
13	データの集計
14	VBAを用いたデータ処理
15	演習
16	

2018年度シラバス

科目名:コンピュータ・ネットワーク	担当者:木下　博光	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
コンピュータの基本である、2進数の計算から始め、通信の仕組みを学習していく。ソーラーパネルを使った光通信の実験なども行う。

授業の到達目標
コンピュータやインターネットなど、近年の情報技術の進展は著しい。現代の情報社会において、これらの仕組みを正しく理解し使用することが求められている。この講義ではこれからの社会参加に向けて、コンピュータネットワークに関する基礎的な知識を習得することを目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
パソコン情報のホームページなどを見て、最新の技術に関心を持つ。

評価方法
15回目に行う確認テスト（100%）の成績により評価する。

教科書	参考図書
随時プリント配布	栢木先生のITパスポート教室　出版社: 技術評論社　ISBN-10: 4774193240

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
最近では各メディアで情報機器や技術に関する話題を目にする機会も多いと思います。講義の理解を深めるためにも、日頃から関心をよせるように心がけましょう。参考図書の購入をお勧めします。

01	ガイダンス
02	コンピュータネットワークの歴史
03	2進数の計算
04	16進数の計算
05	通信ネットワークの原理　bit、bps
06	パソコンの仕組み（ハードウェア）CPU・RAM・HDD・VGA・Ethernet
07	通信機器の仕組み（ハードウェア）サーバーとクライアント構成
08	ソフトウエアの仕組み（クライアント編）ブラウザーとメーラー
09	ソフトウエアの仕組み（サーバー編）Webサーバの役割と機能
10	ネットワーク層・トランスポート層・アプリケーション層
11	イーサネット（LAN)構成法・IPv4・IPv6, 無線LAN
12	情報セキュリティ対策　ウィルス対策、不正アクセス
13	クラウドコンピューティング SaaS（アプリケーション）、IaaS（ハードウェア）
14	最新の通信技術紹介
15	まとめ
16	

2018年度シラバス

科目名:ＩＴパスポート入門	担当者:木下　博光	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 ストラテジ系（経営全般）、マネジメント系（IT管理）、テクノロジ系（IT技術）の各分野の基礎から取り組み、毎回CBT（Computer Based Testing）を使って問題を解いていく。
授業の到達目標 経営戦略、マーケティング、財務、法務など経営全般をはじめ、セキュリティ、ネットワークなどのITの基礎知識、プロジェクトマネジメント知識など幅広い分野の知識習得し、国家試験「ITパスポート」取得を目標とする。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 過去問題集を活用して国家試験対策を行う。
評価方法 15回目に行う確認テスト（100%）の成績により評価する。

教科書	参考図書
随時プリント配布	栢木先生のITパスポート教室　出版社: 技術評論社　ISBN-10: 4774193240

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

01	ガイダンス　国家試験受験方法と合格基準
02	テクノロジ系（基礎理論）
03	テクノロジ系（アルゴリズムとプログラミング）
04	テクノロジ系（コンピュータ構成要素・システム構成要素）
05	テクノロジ系（ソフトウエア・データベース）
06	テクノロジ系（マルチメディア・ネットワーク・セキュリティ）
07	ストラテジ系（会計・財務・経営戦略）
08	ストラテジ系（ビジネスインダストリ・システム戦略）
09	ストラテジ系（知的財産権・標準化関連）
10	マネジメント系（システム開発技術・開発プロセス・手法）
11	マネジメント系（プロジェクトマネジメント・サービスマネジメント）
12	マネジメント系（システム監査）
13	過去問1
14	過去問2
15	まとめ
16	

2018年度シラバス

科目名:Ｅｘｃｅｌ演習	担当者:岩佐　孝子,鬼頭　恭子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
「Microsoft Office specialist (MOS) Excel2010」とは企業が求めるパソコンスキルにおいて、有益な資格である。その資格取得対策として、この授業は5日間とプラス非常時用予備日1日で集中開催される。模擬試験を通して、試験のノウハウを身につけ、必要な操作を習得する。　また、資格取得試験は最終日、学外にて予定している。

授業の到達目標
Microsoft Office Specialist(MOS)　Excel2010の資格取得を目標とする。社会で活用が求められる、Microsoft Excelの技術を、MOS Excel2010対策テキストを利用し、実践的に身につける。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
事後学修として、授業で習った操作を繰り返し練習し、身に付けておくこと。授業後と予備日の教室開放を有効活用する。

評価方法
授業への参加態度60%　模擬試験30%　資格試験合否の結果10%によって総合的に評価する。各担当教員の話をよく聞くこと。

教科書	参考図書
MOS Excel 2010対策テキスト& 問題集 (FOM出版)	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先は授業で開示する。受験料として9,800円＋税が必要となる。

01	MOS試験概要、内容評価基準１（Excel環境の管理）内容評価基準２（セルデータの作成）
02	内容評価基準３（セルやワークシートの書式設定）
03	内容評価基準４（ワークシートやブックの管理）受験者登録
04	内容評価基準５（数式や関数の適用）
05	内容評価基準６（視覚的なデータの表示）内容評価基準７（ワークシートのデータの共有）
06	内容評価基準８（データの分析と整理）
07	模擬試験１
08	模擬試験２
09	模擬試験３
10	模擬試験４
11	模擬試験５
12	模擬試験補足
13	受験準備（最終確認）
14	受験操作説明
15	学外における検定試験
16	なし

2018年度シラバス

科目名:韓国語と韓国文化Ⅰ	担当者:李　正子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
これからの時代は、外国人との共生が必要となる。このような時代や社会環境の変化に対して的確に対応するためにも、英語以外の外国語習得、特にアジア言語の習得は必須であると思われる。また、より広い視野に立って物事を考えるためにも他国の言語や文化を学ぶことは有意義である。韓国語と韓国文化１では、上記の内容を念頭におき、初級レベルの韓国語の文法と会話、文化について理解を深める。

授業の到達目標
ハングル（韓国語の文字）が読めるようになり、簡単な日常会話ができるようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学習：その日に学習する課のCDを聞き、音読の練習をする。事後学習：その日に学んだ単語を覚え、本文とともに覚える。

評価方法
授業への参加態度：30%、確認テスト（4回）：60%、課題・提出物：10%

教科書	参考図書
「即！実践　楽しもう韓国語」金孝珍、白帝社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
好奇心、興味をもって授業に臨むこと。積極的な姿勢が質問を生み、質問が増えれば学習効果が高まるはず。

01	授業の説明、導入
02	文字編　第１課　基本母音
03	文字編　第２課　子音（１）
04	文字編　第3 文字編　第３課　子音（２） 課
05	復習とまとめ、ミニ会話
06	文字編　第４課　複合母音
07	文字編　第５課　終声、日本語のハングル表記
08	確認テスト、文化体験　映画鑑賞①
09	文化体験　映画鑑賞②
10	文字編　第６課　発音の変化、子音の名前
11	会話編　第１課①　～は、名詞です（か？）　名詞文の합니다体
12	会話編　第１課②　～も、～と申します
13	会話編　第２課①　～が、～ではありません
14	会話編　第２課②　～は何ですか？名詞文の해요体、専攻
15	確認テスト
16	会話編　第３課①　指示語、あります/ありません、家族
17	会話編　第３課②　～と、～に（位置）
18	会話編　第４課①　です/ます　用言文の합니다体、～を
19	会話編　第４課②　～で（場所）、～に（時間）
20	調理実習
21	会話編　第５課①　用言文の해요体①
22	会話編　第５課②　用言文の해요体②、～しに（目的）
23	確認テスト
24	会話編　第６課①　否定形、～より（比較）
25	会話編　第６課②　～で（手段、方法、方向）、～から～まで（場所）
26	会話編　第７課①　漢数詞、誕生日、誕生日の歌
27	会話編　第７課②　同意を求める語尾、感嘆を表す語尾
28	会話編　第８課①　固有数詞、時間表現
29	会話編　第８課②　～から～まで（時間）
30	確認テスト
31	

2018年度シラバス

科目名:韓国語と韓国文化Ⅰ	担当者:金　三淑	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
これからの時代は、外国人との共生、特にアジアからの外国人との付き合いが無条件に必要となります。このような時代や社会環境の変化に対して的確に対応するためにも、英語以外の外国語習得、特にアジア言語の習得は必須であると思われます。また、より広い視野に立って物事を考えるためにも他国の言語や文化を学ぶことは有意義です。韓国語と韓国文化１では、上記の内容を念頭におき、基本的な韓国語の文法と会話、文化について理解を深めます。

授業の到達目標
ハングル（韓国語の文字）が読めるようになり、簡単な日常会話ができるようになります。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
準備学修：学修する課のCDを聞き、音読の練習をしてください。必要時間：約30分事後学修：学修した単語を単語帳にまとめ、覚えてください。必要時間：約30分K-POP、ドラマなど韓国の文化と触れ合うことをお勧めします。

評価方法
授業への参加態度：30%、確認テスト：40%、課題：30%

教科書	参考図書
教科書「即！実践　楽しもう韓国語」金孝珍著、白帝社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
好奇心、興味をもって授業に臨んでください。積極的な姿勢が質問を生み、質問が増えれば学習効果が高まります。

01	授業の説明
02	文字編　第１課　基本母音
03	文字編　第２課　子音（１）
04	文字編　第３課　子音（２）
05	まとめ、ミニ会話
06	文字編　第４課　複合母音
07	文字編　第５課　終声、日本語のハングル表記
08	確認テスト　文化体験　映画鑑賞①
09	文化体験　映画鑑賞②
10	文字編　第６課　発音の変化　子音の名称
11	会話編　第１課①　～は、～です
12	会話編　第１課②　～も、～と申します、あいさつの表現
13	会話編　第２課①　～が、～ではありません
14	会話編　第２課②　～は何ですか？
15	確認テスト
16	前期の内容の復習
17	会話編　第３課①　こそあど（指示詞）、あります・ありません、家族
18	会話編　第３課②　～と、～に、位置を表す言葉
19	会話編　第４課①　です・ます、～を
20	会話編　第４課②　～で（場所）、～に（時間）
21	確認テスト（自己紹介）　文化体験　映画鑑賞①
22	文化体験　映画鑑賞②
23	会話編　第５課①　用言の丁寧語①
24	会話編　第５課②　用言の丁寧語②、～しに（目的）
25	確認テスト
26	会話編　第６課①　否定形、～より（比較）
27	調理実習
28	会話編　第７課①　漢数詞、誕生日、誕生日の歌
29	会話編　第７課②　同意を求める語尾、感嘆を表す語尾
30	確認テスト
31	なし

2018年度シラバス

科目名:中国語と中国文化Ⅰ	担当者:張　書 涵,李　瑾	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:なし		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この授業では、発音から学習する中国語の入門コースで、主に初歩的な表現とその応用を中心に行い、同時に初級の発音、語彙、文法事項をマスターしていく。中国語の土台となる中国の歴史と文化などについて授業の内容に織り交ぜて紹介し、また、中国の食文化、若者の生活などについても理解を深めていく。

授業の到達目標
　中国語の特徴や入門レベルでの表現形式を学んでいく共に、実際のコミュニケーションに役立つ簡単な中国語を身につけることを目標とする。発音や表現などについては細かい指導をし、文法、表現の構造など説明した上で、毎回グループ会話発表を通して定着を図り、更に必要に従い、授業の補助手段として音声教材などを使って行っていく。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　授業は演習を中心とするため、添付のＣＤを十分に利用し、授業中に出された課題や予習、復習をしっかりと行い、授業に積極的に取り組んでください。

評価方法
　授業で会話発表や参加状況20%、テスト80%

教科書	参考図書
『実学実用初級中国語』陳　淑梅・劉光赤　著　朝日出版社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　メールなどで連絡手段とする。

01	ガイダンス・中国語の概要
02	第１課　声調と単母音 第１ 第１課　声調と単母音
03	第２課　複母音
04	第３課　子音
05	第４課　鼻母音・ｒ化
06	発音のまとめ・確認テスト
07	文化体験　切り紙
08	第５課　キャンパスで初対面
09	ドリル練習⑤
10	会話練習と作文⑤ 会話練習と発表⑤
11	文化体験　映画鑑賞
12	第６課　名前を尋ねる
13	ドリル練習⑥
14	会話練習と発表⑥
15	前期のまとめと確認テスト
16	前期の復習
17	第７課　喫茶店で
18	ドリル練習⑦
19	会話練習と発表
20	文化体験　中国の詩
21	第８課　趣味を語る
22	ドリル練習⑧
23	会話練習と発表⑧
24	文化体験　中華料理
25	第９課　Tシャツを買う
26	ドリル練習⑨
27	会話練習発表⑨
28	文化体験　中国の歌
29	後期のまとめ
30	確認テスト
31	なし

2018年度シラバス

科目名:アジアの歴史	担当者:堀田　慎一郎	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
日本と東アジア諸国には、今なお歴史認識をめぐって大きな溝があり、時にはそれが政治問題になることすらある。また、現在の東アジアの国際政治も、過去の歴史が大きく影響しており、これをふまえなければ十分に理解することはできない。この講義では、そうしたことを考える一助として、幕末・維新期から現在まで150年余りにおける、東アジアの国際政治と日本の関係をテーマとする。歴史学の最新の成果を反映させながら、全体の流れを重視して通史的に解説する。講義は、担当者が用意するレジュメに従って進める。資料も必要に応じて配付する。

授業の到達目標
近現代東アジアの国際政治史と日本の関係を、長期的かつ幅広い視点から、現在とのつながりを強く意識しながら、自国中心史観に陥ることなく冷静かつ客観的に理解する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修…当該回のレジュメは、少なくともその前回までに配布するので、これに目を通して講義に臨む。新聞に東アジアの国際関係に関する記事が載ったら、それらに必ず目を通す。事後学修…講義の内容を踏まえて、関連する論文や文献を読む。

評価方法
第15回の確認テスト（論述形式）および授業への参加態度により評価する（確認テスト70%／授業への参加態度30%）。

教科書	参考図書
とくになし	川島真・服部龍二編『東アジア国際政治史』（名古屋大学出版会、2007年）など。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
講義にて担当者のメールアドレス等を明示し、連絡手段とします。

01	講義をはじめるにあたって（オリエンテーション）
02	東アジアの伝統的国際秩序
03	列強への道をたどる日本と東アジア情勢―日清・日露戦争―（１）
04	列強への道をたどる日本と東アジア情勢―日清・日露戦争―（２）
05	中国をめぐる国際秩序再編と日中対立の形成
06	ワシントン体制下の国際政治
07	満州事変から日中戦争へ（１）
08	満州事変から日中戦争へ（２）
09	アジア・太平洋戦争と東アジア国際政治の変容（１）
10	アジア・太平洋戦争と東アジア国際政治の変容（２）
11	日本占領と国共内戦・朝鮮戦争
12	中国分断後の東アジアと冷戦の変容
13	日中国交正常化から中国の改革開放路線へ
14	冷戦終結から現在の東アジア
15	まとめ／確認テスト
16	

2018年度シラバス

科目名:国際経済論	担当者:茶谷　淳一	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:特になし		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
外国貿易や外国為替のしくみや国際通貨ドルの「秘密」など、国際経済問題を理解するために必要な基本的なことがらを学びながら、国際経済の視点から現実の経済社会で起こっている諸問題について自分なりに考える力を養います。

授業の到達目標
現代社会を理解するために必要な国際経済の基本的な知識を習得し、世界経済や国際経済に関する新聞記事やニュースに関心を持って触れようとする姿勢を身につけることを目指します。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
テレビのニュースやドキュメンタリーを見たり、新聞の「見出し」を毎日眺めるようにしましょう。また各単元終了後に出題される課題を解き、提出しましょう。

評価方法
各単元終了後の確認テスト課題（10点×２）＋期末の確認テスト（90点）。コメントシートも参考にします。単元終了後の確認テスト課題の再試験は行いません。欠席した場合、後日試験用紙を受け取ることはできません。

教科書	参考図書
なし。授業時に配布するレジュメを使います	グローバルエコノミー　（岩本武和ほか著　有斐閣　2012年）

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
重要なニュースの説明などのため、授業が予定通りに進まないことがあります。レジュメの余白にメモを取ること。質問は木曜昼休みに研究室へ。途中退出・遅刻・私語など受講マナーを守れない場合は受講を取り消します。

01	この講義のねらいと、評価について　日本の貿易構造をみる
02	なぜ後れた国が輸出できるのか？　国によって得意な商品が異なる　比較優位
03	産業の空洞化と保護主義
04	HO仮説と交易条件
05	モノカルチャー構造と貿易
06	新しい貿易の試み～フェアトレード
07	「貿易」のまとめ　単元ごとの確認テストの解答と解説
08	お金は国によって異なる　両替と為替取引
09	外国為替相場はどのように決まるのか？①
10	外国為替相場はどのように決まるのか？②　日本「円」の為替相場の歴史
11	「１ドル＝120円」は単なる数式か？　「ドル」ってなあに？
12	「USドル」が基軸通貨・国際通貨になった理由　「ドル」の前はいつも“１”
13	基軸通貨・国際通貨ドルがアメリカにもたらすメリット　為替相場の変動はよいことか？
14	「ドル」と私たちの暮らし　「外国為替」のまとめ　単元ごとの確認テストの解答と解説
15	授業のまとめと期末の確認テスト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:ホテルインターンシップ	担当者:ホテルインターンシップ運営委員会・各「教養演習I」担当教員	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　ホテルや旅館にて、事務や接客、行事運営などの仕事を研修生として体験する。また、研修に関して必要となる事前の調査や準備、研修終了後の振り返りを行う。

授業の到達目標
　接客やホスピタリティに関する仕事のイメージを体得する。また、将来ホテル等で働くために必要となる技能、知識、心構えなどの基本を身につける。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　説明会が他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとに研修内容と研修成果について（60%）、実習先の評価と事前事後の指導をもとに研修態度（40%）を評価する。

教科書 ガイダンスなどで適宜指示する。	参考図書 『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　実習先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問も単位修得の要件である。また、希望人数が多い場合には学生課による選考が行われる。　実習中は職員や従業員の方と同じく、責任感および緊張感をもって行動しなければならない。そのためには、礼儀や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力なども重要になるので、普段から意識を高めておく必要がある。

01	下記の事前指導、研修、事後指導を順番に進めていく。 事前指導：（7時間） (1) 研修先や研修概要に関する説明会 (2) 希望人数によっては選考 (3) 研修先ごとのガイダンス (4) 研修先の事前訪問 研修：（50時間） ・前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 ・研修内容は、実習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3時間） (1) 研修日誌の提出 (2) 研修レポートの作成
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2018年度シラバス

科目名:フランス語とフランス文化ＩＡ	担当者:松崎　悟	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
フランス語の初級文法と簡単なフランス会話を学習します。

授業の到達目標
フランス語の発音に留意しながら初級文法を学び、平易なフランス語を、聞き、話し、読み、書くことができるような訓練をします。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
復習をしっかり行うこと。

評価方法
定期試験50%、確認テスト25%、授業への参加態度25%で総合的に評価します。

教科書	参考図書
トライ！フランス語Ｆ comme français（藤田知子他著　駿河台出版社)	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
フランス料理、フランス映画、フランス絵画、フランス文学、ファッションや音楽等、フランス文化に関心を抱きながら、フランス語を学んでください。

01	オリエンテーション
02	アルファベ、フランス語の発音
03	綴り字の読み方
04	フランスの文化と社会①（フランスの学生生活)
05	テオとユリが自己紹介します（1)
06	フランスの文化と社会②フランス雑学
07	テオとユリが自己紹介します（２）
08	フランスの文化と社会③カフェ　パン屋
09	ユリがテオの店を訪れます
10	フランスの文化と社会④フランス人の生活観
11	兄弟・姉妹について話します
12	フランスの文化と社会⑤ショッピング
13	テオがユリの妹について尋ねます
14	フランスの文化と社会⑥レストラン
15	総復習と確認テスト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:フランス語とフランス文化ＩＢ	担当者:松崎　悟	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
フランス語Ｉを復習し、更に新しい表現や文法事項を学んでゆきます。テキストにそって学び、フランス語による実用的なコミュニケーション能力の修得をめざします。最後には「星の王子さま」に挑戦します。

授業の到達目標
フランス語の発音に留意しながら初級文法を学び、平易なフランス語を、聞き、話し、読み、書くことができるような訓練をします。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
復習をしっかり行うこと。

評価方法
定期テスト50%、確認テスト25%、授業への参加態度25%で総合的に評価します。

教科書	参考図書
トライ！フランス語Ｆ comme français（藤田知子他著　駿河台出版社）	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
フランス料理、フランス映画、フランス絵画、フランス文学、ファッションや音楽等、フランス文化に関心を抱きながら、フランス語を学んでください。

01	前期の復習①
02	前期の復習②
03	テオはユリを食事に誘います
04	フランスの文化と社会①（フランス人の祝日と週末）
05	2人が週末の予定を話します
06	フランスの文化と社会②（パリ近郊への一日の旅）
07	モン・サンミッシェルを訪れます
08	フランスの文化と社会③（フランスの世界遺産）
09	モン・サンミッシェルで満ち潮を待ちます
10	フランスの文化と社会④（フランスの地方都市）
11	テオがユリを両親に紹介します
12	テキストの総復習
13	星の王子様を原文で読む①
14	星の王子様を原文で読む②
15	まとめと確認のテスト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:英語と英米文化ＩＡ	担当者:織田　まゆみ	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
当授業は２つのパートに分かれる。まず、『英語ドリル』を用いて、日常会話に役に立つ短い文を覚える。この場合、声をしっかり出して、それを耳で聞く経験が大事である。次の英国への旅をテーマにした教科書に入る。主人公とともに、日本とは違う文化に触れながら、リスニング、会話、読解を学ぶ。必要に応じて、文法などのプリントを使用する。

授業の到達目標
１、英国文化、事情を学ぶ。２、これまで学んだ英語の知識を確認し、さらに力を伸ばす。３、『英語ドリル』で学んだ短文を覚えこむ。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
『英語ドリル』の小テストが毎回行われるので、復習をして、授業に臨む。英文読解の分担部分は、責任をもって、予習しておく。

評価方法
平常点（授業への参加態度・小テストなど）５０％　確認テスト５０％

教科書	参考図書
Paul McVay 川田伸道　Let's Check Out the UK（南雲堂）、内田政一他 『フレーズからはじめる英語ドリル』	高校の時使った参考書（特に、文法書）があれば、再度読み返す。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業には、辞書を持参する。（高校の時使用した物でよい）英語圏のドラマや映画を見るときは、吹き替えではなく、音声は英語にする。

01	授業のあらまし・受講に関しての注意事項　、英国について知っていること
02	ドリル Unit 1(Eating Out)　, Day 1 I can't wait to explore Britain!
03	ドリルUnit2(Transportation) ,Day 1 I can't wait to explore Britain!,
04	ドリルUnit3(College&University Life), Day 1 I Can't wait to explore Britain!
05	ドリルUnit4(Fashion), Day 3 The Scenery Is Breathtaking, Isn't It?
06	ドリルUnit5(Part-time Jobs) ,Day 3 The Scenery Is Breathtaking, Isn't It?
07	ドリルUnit6(Hair&Make-Up),Day 3 The Scenery Is Breathtaking, Isn't It?
08	ドリルUnit7(Shopping), Day 4 What Do You Suggest We Do Today?
09	ドリルUnit8(Dating), Day 4 What Do You Suggest We Do Today?
10	ドリルUnit9(Technology), Day 4 What Do You Suggest We Do Today?
11	ドリルUnit10(Health), 読解分担　発表
12	ドリルUnit11(Watvhing movies　読解分担　発表
13	ドリル 復習　Day 5 This Is a Multi-Ethnic Country
14	Day 5　This Is a Multi-Ethnic Country
15	確認テスト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:英語と英米文化ＩＡ	担当者:髙橋　博子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業では、英語の実践力を身につけることと英語圏の文化理解の両方を学んでいきます。具体的には、英語圏の文化に親しむためのスキルアップ学習と、それをもとにイギリス文化に関するエッセイや実際の会話文などに触れながら異文化理解を深める学習の二本立てで進みます。テキストを使用しますが、DVDやプリントを使用する場合もあります。

授業の到達目標
スキルアップ学習では、これまで学んだ英語の知識の確認と定着をめざします。英文を正しく読み取り、聴き取ることができることをめざします。文化理解を深める学習では、スキルアップで身につけた力を活かしながら、さらに実践的な英語力を駆使して異文化への理解を深めます。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
必ず継続的に復習に取り組むこと。毎時実施する復習小テストの準備や課題についても積極的に学習すること。海外のニュース、音楽や映画など異文化に触れる機会を多く持ちましょう。

評価方法
平常点（出席・提出物・小テスト・予習・授業態度などを含む）20点、まとめ確認テスト40点×2回の総合評価とする。

教科書	参考図書
Let's Check Out the UK!（金星堂）　Active Communication with Phrases　(南雲堂)	適時授業で紹介する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業には、使い慣れた辞書を必ず持参すること。

01	Introduction～テキストの中身を見てみよう！
02	Day 1: I Can't Wait to Explore Britain! (Listening, Vocabulary, Grammar) /　Phrases①
03	Day 1: I Can't Wait to Explore Britain! (Reading) / Phrases②
04	Day 2: How about going to a pub? (Listening, Vocabulary, Grammar) /　Phrases③
05	Day 2: How about going to a pub?　(Reading) / Phrases④
06	Day 3: The Scenery is Breathtaking, Isn't It?(Listening, Vocabulary, Grammar)/Phrases⑤
07	Day 3: The Scenery is Breathtaking, Isn't It?(Reading) / Phrases⑥
08	Review (Day 1～Day 3 / Phrases ①～⑥
09	Day 4: What Do You Suggest We Do Today?(Listening, Vocabulary, Grammar)/Phrases⑦
10	Day 4: What Do You Suggest We Do Today?(Reading) / Phrases⑧
11	Day 5: This Is a Multi-Ethnic Country (Listening, Vocabulary, Grammar)/ Phrases⑨
12	Day 5: This Is a Multi-Ethnic Country (Reading) / Phrases ⑩
13	Day 6:What's It Like Being a Student in the UK?(Listening,Vocabulary,Grammar,Reading)
14	Day 7: Mmm...It Sounds Too Risky (Listening, Vocabulary, Grammar, Reading)
15	まとめとReview(Day 4～Day 7/ Phrases⑦～⑩
16	なし

2018年度シラバス

科目名:英語と英米文化ＩＢ	担当者:織田　まゆみ	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
当授業は２つのパートに分かれる。まず、『英語ドリル』を用いて、日常会話に役に立つ短い文を覚える。この場合、声をしっかり出して、それを耳で聞く経験が大事である。次に英国への旅をテーマにした教科書に入る。主人公とともに、日本とは違う文化に触れながら、リスニング、会話、読解を学ぶ。必要に応じて、文法などのプリントを使用する。また、映画（Bend It Like Beckham）を見ることで、多民族社会である英国を疑似体験し、同じ年頃の少女たちの英語表現を学ぶ。

授業の到達目標
１、英国文化、事情を学ぶ。２、これまで学んだ英語の知識を確認し、さらに力を伸ばす。３、『英語ドリル』で学んだ短文を覚えこむ。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
『英語ドリル』の小テストが毎回行われるので、復習をして、授業に臨む。英文読解の分担部分は、責任をもって、予習しておく。

評価方法
平常点（授業への参加態度・小テストなど）５０％　確認テスト５０％

教科書	参考図書
Paul McVay 川田伸道　Let's Check Out the UK（南雲堂）、内田政一他 『フレーズからはじめる英語ドリル』	高校の時使った参考書（特に、文法書）があれば、再度読み返す。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業には、辞書を持参する。（高校の時使用した物でよい）英語圏のドラマや映画を見るときは、吹き替えではなく、音声は英語にする。

01	授業のあらまし・受講に関しての注意事項、観光にかんする英語表現
02	ドリル Unit 12(Listening to Music)　Day8(You Should Try Fish and Chips)
03	ドリル Unit 13(Cooking)　Day8(You Should Try Fish and Chips)
04	ドリル Unit 14(Accommodation)　Day8(You Should Try Fish and Chips)
05	ドリル Unit 15(Hobbies)　Day11(I Guess I Should Have a Black-Cab Experience)
06	ドリル Unit 16(Travel Abroad)　Day11(I Guess I Should Have a Black-Cab Experience)
07	ドリル Unit 17(Job Hunting) Day11((I Guess I Should Have a Black-Cab Experience)
08	ドリル Unit 18(Problems & Solutions) Day13(Don't You Know that UK Designs Are Popular?)
09	ドリル Unit 19 (Requests & Appels) Day13(Don't You KNow that UK Designs Are popular?)
10	ドリル復習　Day13(Don't You KNow that UK Designs Are popular?)
11	Day 14 (Would You Like to See a Play?)　映画
12	Day 14 (Would You Like to See a Play?)　映画
13	Day 14 (Would You Like to See a Play?)　映画
14	映画に出てくる英語表現
15	確認テスト
16	なし

2018年度シラバス

科目名:英語と英米文化ＩＢ	担当者:樋田　禎美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業では、英語の実践力を身につけることと英語圏の文化理解の両方を学んでいきます。具体的には、英語圏の文化に親しむためのスキルアップ学習と、それをもとにイギリス文化に関するエッセイや実際の会話文などに触れながら異文化理解を深める学習の二本立てで進みます。テキストを使用しますが、DVDやプリントを使用する場合もあります。

授業の到達目標
スキルアップ学習では、これまで学んだ英語の知識の確認と定着をめざします。英文を正しく読み取り、聴き取ることができることをめざします。文化理解を深める学習では、スキルアップで見つけた力を活かしながら、さらに実践的な英語力を駆使して異文化への理解を深めます。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
必ず継続的に復習に取り組むこと。毎時実施する復習小テストの準備や課題についても積極的に学習すること。海外のニュース、音楽や映画など異文化に触れる機会を多く持ちましょう。

評価方法
平常点（出席・提出物・小テスト・予習・授業態度などを含む）50点、まとめ確認テスト25点×2回の総合評価とする。

教科書	参考図書
Let's Check Out the UK!　(金星堂)　Active Communication with Phrases　(南雲堂)	適時授業で紹介する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業では、使い慣れた辞書を必ず持参すること。

01	Introduction～テキストの中身を見てみよう！
02	Day 8: You Should Try Fish and Chips!(Listening, Vocabulary, Grammar) / Phrases⑪
03	Day 8: You Should Try Fish and Chips!(Reading) / Phrases⑫
04	Day 9:It's Fun Listening to Different Accents(Listening, Vocabulary, Grammar)/Phrases⑬
05	Day 9:It's Fun Listening to Different Accents (Reading) / Phrases ⑭
06	Day 10: Do You Fancy Something Sweet?(Listening, Vocabulary, Grammar)/Phrases⑮
07	Day 10: Do You Fancy Something Sweet？ (Reading)/ Phrases ⑯
08	Review (Day 8~Day 10 / Phrases ⑪～⑯)
09	Day11:I Guess I Should Have a Black-Cab Experience (L, V, G) /Phrases ⑰ ⑱
10	Day11:I Guess I Should Have a Black-Cab Experience　(Reading) / Phrases ⑲ ⑳
11	Day12:I'm Looking forward to Seeing Wales! (Listening, Vocabulary, Grammar,Reading)
12	Day13:Don't You Know that UK Are Popular? (Listening, Vocabulary, Grammar,Reading)
13	Day14:Would You Like to See a Play? (Listening, Vocabulary, Grammar, Reading)
14	Day15:That's the Great Thing about Travel! (Listening, Vocabulary, Grammar,Reading)
15	まとめとReview(Day 11～Day15 / Phrases ⑰～⑳
16	なし

2018年度シラバス

科目名:英会話ＩＡ	担当者:佐分　ｼﾞｭﾃﾞｨｽｽﾐｽ	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
This is a conversation intensive course. Each class students will have to communicate in English with each other and the teacher. Students will be introduced to new vocabulary every week, and topics that relate to the vocabulary.

授業の到達目標
The goal of this course is to help develop skills to maintain a basic English conversation . The class will touch on topics that will allow the students to be able to interact in an English-only environment.

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
Students will be required to send video recordings for quizzes and homework, They will be expected to work in pairs and groups to complete class activities. Homework will include worksheets, and topic research.

評価方法
Grading scale Participation 10%　　In class work 15%
Homework　25%　　Quizes　25%　　Exam　25%

教科書
Instructor will provide worksheets for class.

参考図書
Students will need to prepare a binder with at least 30 clear sheets. Writing supplies and binder must be brought to each and every class.We will review every lesson.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Please try to speak in class. Making mistakes is an important part of learning.

01	Lesson 1 Welcome, Class Introduction / Self Introduction
02	Lesson 2 About Me
03	Lesson 3 My Family
04	Lesson 4 My Body
05	Lesson 5 I Am Sick
06	Lesson 6 Review Quiz and Nouns
07	Lesson 7 Where Is The Mall
08	Lesson 8 Traveling
09	Lesson 9 Booking A Trip
10	Lesson 10 It’s All About The Money
11	Lesson 11 Review Quiz and Verb Practice
12	Lesson 12 I Love It
13	Lesson 13 Welcome to Japan
14	Lesson 14 Group Project and Exam
15	Lesson 15 Exam review and Game Day
16	make up if needed

2018年度シラバス

科目名:英会話ＩＡ	担当者:Lee Sargent	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
英会話I A is an elective course for first year students in the Liberal Arts Department. The aim of this course is to enable students to provide basic information about themselves in English. Also, students will learn about other cultures and environments outside Japan.

授業の到達目標
By the end of the spring semester the students should be able to give a brief introduction about themselves, friends and where they live.

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
A vocabulary list will be given at the end of each lesson. Students should learn the meaning of the vocabulary and remember this for use in the following week’s lesson. Students will need listen to and read English learning websites and write about them in a journal outside of class time. Students will need to use smartphones or a computer to find these websites.

評価方法
Completion of Website task and journal ウェブサイトを見たり、ジャーナルを書いたりして　３０％Participation & Homework 積極性と宿題　３０％Vocabulary quiz (3) 単語クイズ　（３つ）１５％15th week unit quiz　授業とクイズ(筆記) １５週目　２５％

教科書	参考図書
Textbooks: All materials in English will be provided by the instructor,	A clear file with at least 30 leaves and a notebook

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
You need to think about, read or listen to English more than once a week. Please look at the recommended Website each week outside the classroom. You can talk to me in person before the lesson or contact me .I’ll tell you my e-mail address in the class.

01	Introduce yourself. Course Introduction. Using Websites
02	Introduce other people
03	A+++ Conversations
04	Congratulations
05	Apologies
06	Good and Bad Manners
07	Helping People
08	Review Lessons 1-7 Quiz Game
09	Daily Life
10	Favourite Foods
11	Personalities
12	Friends
13	Childhood Memories
14	Future Plans and Dreams
15	Review Lessons 8-14 Quiz
16	

2018年度シラバス

科目名:英会話ＩＢ	担当者:佐分　ｼﾞｭﾃﾞｨｽｽﾐｽ	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
This is a conversation intensive course. Each class students will have to communicate in English with each other and the teacher. Students will be introduced to new vocabulary every week, and topics that relate to the vocabulary.

授業の到達目標
The goal of this course is to help develop skills to maintain a basic English conversation . The class will touch on topics that will allow the students to be able to interact in an English-only environment.

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
Students will be required to send video recordings for quizzes and homework, They will be expected to work in pairs and groups to complete class activities. Homework will include worksheets, and topic research.

評価方法
Grading scale Participation 10%　　In class work 15%
Homework　25%　　Quizes　25%　　Exam　25%

教科書
Instructor will provide worksheets for class.

参考図書
Students will need to prepare a binder with at least 30 clear sheets. Writing supplies and binder must be brought to each and every class.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Please try to speak in class. Making mistakes is an important part of learning.

01	Lesson 1 First Semester Review
02	Lesson 2 Review Quiz About Me 2
03	Lesson 3 People Around Me
04	Lesson 4 Talking About People
05	Lesson 5 Review Quiz and Nouns
06	Lesson 6 Plan A Party
07	Lesson 7 Verb Practice
08	Lesson 8 Halloween
09	Lesson 9 Review Quiz Game Day
10	Lesson 10 Let’s Go On a Date
11	Lesson 11 Traveling Problems
12	Lesson 12 American Holidays
13	Lesson 13 Christmas
14	Lesson 14 Review and Exam
15	Lesson 15 Exam Review and Group Presentation
16	make up if needed

2018年度シラバス

科目名:英会話ＩＢ	担当者:Lee Sargent	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
英会話I B is an elective course for first year students in the Liberal Arts Department. The aim of this course is to enable students to provide basic information in English to survive in a foreign environment. Also, students will learn about other cultures and environments outside Japan.Students will have the opportunity to improve their conversation skills in English through: 1) active participation with other students, 2) building active vocabulary, 3) building listening skills, 4) improving grammatical accuracy, 5) developing basic writing skills.

授業の到達目標
By the end of the second semester student will be able to communicate in a variety of situations for survival in a foreign environment. Students will also be able to describe some aspects of Japanese culture and society.

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
A vocabulary list will be given at the end of each lesson. Students should learn the meaning of the vocabulary and remember this for use in the following week’s lesson. Students will need to read and listen to English learning websites and write about them in a journal outside of class time. Students will need to use smartphones or a computer to find these websites.

評価方法
Completion of Website task and journal ウェブサイトを見たり、ジャーナルを書いたりして 35%Mini quizzes (3) 単語クイズ 15%15th week unit quiz (written); week 15 １５週目のクイズ(筆記) 20%Participation and Homework, 積極性と宿題 30%

教科書	参考図書
All materials in English will be provided by the instructor,	A clear file with at least 30 leaves and a notebook

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
You need to think about, read or listen to English more than once a week. Please look at the recommended Website each week outside the classroom. You can talk to me in person before the lesson or contact me. I’ll tell you my e-mail address in the class.

01	Introduce yourself. Course Introduction. Using Websites
02	Families
03	Falling in Love
04	Directions around To
05	Shopping
06	Shopping for Clothes
07	Leisure Time
08	Review Lessons 1-7
09	On Vacation
10	Bus and Train Travel
11	Travelling by Car
12	Air Travel
13	Occupations
14	Learning to Drive
15	Review Lessons 8-14 Quiz
16	

2018年度シラバス

科目名:英語能力認定	担当者:大草　知裕	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　現在、世界約60カ国で実施され、日本においても企業の人事や自己啓発活動の一環として利用されている国際コミュニケーション英語能力テストTOEIC（Test of English for International Communication の略、トーイック）において、一定の結果を出し、それを申請した場合、単位として認定する。目標点を具体的に持つことで、各自の英語能力向上のための自主的な学習を促したい。

授業の到達目標
(1) 成績(スコア)という具体的な目標をたてて継続的な学習を続けること自分の英語力を伸ばす。(2)

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　語学は継続的な学習が重要である。学内には教員、図書館の教材、ESC 等もあるので活用してほしい。

評価方法
　350点以上を優、400点以上を秀とする。＜単位の認定＞　各学年の前期および後期に「認定単位申請」のための期間が設けられる。この期間に、本人の試験結果（原本とコピー）および「認定申請書」を教務課へ提出する。原本は後に返却する。申請は２年間で、１回のみ可能である。上位の成績に挑戦する者は、最終受験の結果を待って申請することになる。在学中に受験した試験の結果であれば、最新の結果でなくても、申請可能である。

教科書	参考図書 各種問題集

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
＜勉強に関して＞　TOEICで点数を得るためには、総合的な読取りおよび聞取りの力が必要とされる。これらを伸ばすには、基礎を踏まえたうえで、継続的な学習が必要になる。短期的に成果が出なくても、あせらずに２年間じっくりと、少しずつ取り組んで行ってほしい。　また、高得点を得るためには、語彙や文法、状況に応じた表現の学習、英語の音やTOEIC出題形式への慣れなど、さまざまな要素の勉強が必要になる。目的に応じた教材や資料が、図書館など学内に用意されているので、利用して、自分のペースで勉強をしていってほしい。必要に応じて担当の教員に問い合わせてくれれば、模擬試験などの対応もできる。＜TOEICの受験に関して＞　学内におけるTOEIC・IP（Institutional Program 団体試験制度）を利用して受験するか、学外で一般向けにに実施される公式テストを受験する。検定料は受験者が負担する。　TOEIC・IPの実施に関しては掲示板にて告知する。

01	ガイダンス
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2018年度シラバス

科目名:身体と表現	担当者:鏡味　富美子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
豊かな人間関係を築くには心と身体の柔軟性が必要とされます。この授業では内外両面からアプローチ、美しい立振る舞い(姿勢・歩き方)やショートドラマを体験(台本書き・出演・発表)します。また毎回プリントの簡単なＱ＆Ａに答え自分自身を客観的に見つめます。プリントはコメントをつけ最後の講義にまとめて返却します。

授業の到達目標
美しい立ち振る舞いや人を惹きつける話、話し方を身に付けましょう。自分や他人の長所を見つけ、コミュニケーションを楽しめる私になりましょう。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
人間観察をしてみましょう。

評価方法
平常点80％(授業の参加意欲・態度)と発表20％で評価します。

教科書	参考図書
プリントを配布します。	都度紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
毎回、身体を動かしますが特にシューズ・ウェアは必要ありません。ショートドラマ(寸劇)など、女優になったつもりで楽しんで演じてみましょう！

01	オリエンテーション
02	身体のリラックス①(ストレッチ・姿勢と歩き方)
03	身体のリラックス②(発声練習・朗読)
04	身体のリラックス③(パントマイム)　　※身体のリラックスでは簡単なショートドラマを体験
05	自分探し(自分年表の作成)　　※思い出の写真や品物で歓談しましょう
06	屋外講義(テーマを決めていつもとは違う雰囲気で進めます)　　※天候により入れ替わり有
07	心のリラックス①(ショートドラマ体験、セキセイインコと共演)
08	心のリラックス②(体験した事をショートドラマにしてみる)
09	心のリラックス③(創ったショートドラマの発表・感想など)
10	表現①手紙を書いてみよう
11	表現②短い文章(詩・短歌・川柳など)を書いてみよう
12	表現③中くらいの文章(エッセイ・短編小説)書いてみよう
13	表現④発表内容の検討　　※講師が個々にアドバイスします
14	発表の準備・稽古
15	発表の準備・稽古
16	発表・まとめ

2018年度シラバス

科目名:映像メディアの世界	担当者:溝渕　久美子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 現在、私達の身の回りには映画やテレビなどの様々な視覚メディアがあふれています。映画史と映画の表現技法を学びながら、映画がどのように作られているのかを理解し、実際に映画の分析を行うことで、多角的に映像作品を鑑賞する力を身につけます。
授業の到達目標 学生が映画を「感動した」「面白かった」というだけではなく、映像表現のルールを学んだ上で、それを応用して表現技法や物語構造の点から客観的に分析し、説得力をもって人に伝えらえるようにすることが目標です。また、映画の誕生からトーキーまでの映画史を概観することで、映画というメディアが歴史的にどのようなものだったかを理解し、現在の映像環境についての理解を深めることも目標です。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 準備学習として、参考図書を事前に読んでおくこと(4時間程度)。講義中に部分的に取り上げた映画は各自視聴し、また、日常生活で映画やドラマ等の映像表現に触れた際には、表現技法や物語構造に注意して見ていくこと。
評価方法 講義への貢献度50%最終試験50%

教科書	参考図書
講義中に指示します。	講義中に指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 授業中にメールアドレスを公開しますので、質問や困ったこと・気になることがある場合は、そちらまで連絡してください。楽しく映画の勉強をしていきましょう。

01	映画を「見る」前に：メディアって何？　感想と分析の違い
02	映画史1　映画に至るテクノロジー
03	映画史2　映画の誕生
04	映画史3　初期映画とは何か？
05	映画史4　古典的ハリウッド映画①　サイレント映画の表現『あれ』
06	映画史5　古典的ハリウッド映画②　物語映画の形式とサイレント映画
07	映画史6　古典的ハリウッド映画③　トーキー映画の表現『或る夜の出来事』
08	映画史7　古典的ハリウッド映画④　音による表現と自主規制、映画ジャンル
09	映画史8　古典的ハリウッド映画から逸脱するもの
10	映画の表現技法１　カメラの前の視覚的な要素とカメラに関わる要素
11	映画の表現技法2　編集とサウンド
12	対極分析をしてみよう①　対極分析のやり方、『Mr.& Mrs.スミス』分析
13	対極分析をしてみよう②　『アバター』分析①
14	対極分析をしてみよう③　『アバター』分析②
15	対極分析をしてみよう④　『アバター』分析③　最終試験
16	

2018年度シラバス

科目名:食の科学	担当者:辻　広志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
私たちの食生活はこの半世紀で大きく様変わりし、豊かさや便利さが増した反面、生活習慣病や食品不安、環境負荷などの新たな問題を生み出している。この授業では、配布プリントを中心に、視聴覚教材、現物資料の提示、新聞記事、アンケート、実習等を通して、これからの望ましい食生活のあり方について考える。

授業の到達目標
食品・栄養に関する基礎知識を習得するとともに、「食と健康」「食の安全」「食と環境」について正しく理解し、自ら実践する習慣を身につける。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
食と健康に関する最新の情報を、新聞、雑誌、テレビ、インターネット等で入手するよう心掛けること。食品を購入する際に、パッケージの表示（原材料名、消費・賞味期限、食品マーク等）を確認すること。

評価方法
確認テスト50%、平常点50%（出席状況、授業感想文、授業への取り組み姿勢）で総合評価する。

教科書	参考図書
使用しない	授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
「食生活アドバイザー」等の食に関する資格検定取得を目指す学生は是非受講してください。質問等がある場合は、研究管理棟２Ｆの218研究室に来てください。

01	イントロダクション：ヒトの食生態
02	味覚の科学：なぜ食べ物をおいしいと感じるのか？
03	日本型食事の効用：なぜ和食は世界一の健康食なのか？
04	漢方医学と食事：陰の食品と陽の食品
05	生活習慣病と食事：肥満を防ぐには何をどのように食べるべきか？
06	食事・栄養評価法：自分の栄養状態について調べよう
07	有害物質による食品汚染：日本の食の安全を揺るがしたさまざまな事件
08	食品添加物と食品表示：菓子パンの添加物を調べよう
09	食品の腐敗と保存：塩分や糖分を加えるとなぜ腐りにくくなるのか？
10	食品添加物の簡易実験：うがい薬で食品中のビタミンＣやデンプンを調べよう
11	食品と寄生虫：サナダムシの生活史とヒトへの感染経路
12	健康食品とフードファディズム：安全な健康食品の見分け方
13	現代の食問題：新聞の記事をまとめ、グループ内で発表しよう
14	飽食の実態と対策：食品の賞味期限・大量廃棄・リサイクル
15	まとめと確認テスト
16	なし

科目名:自然と生活	担当者:辻　英之	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:資格申請及び登録料の納入が必要		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
限界自治体ともいうべき長野県やすおか村。非効率、不合理と切り捨てられてきた山村が今、循環型の地域社会作りの先頭に立っている。村民とヨソモノ・若物の環境教育NPOが協働して、持続可能な地域社会を創る事例（山村留学など）を、主に視聴覚教材やわかりやすいワークショップを用いて紹介する。また、多彩なゲストスピーカーをやすおか村から招へいすると共に、山村の旬を感じる実物（薪、野菜、獣などなど）を持参する。それら参加型の授業を通して自然と共存する人間のあり方を考察する。

授業の到達目標
へき地山村に住む人々が営む自然と共存する暮らし。その暮らしに潜む教育力を学び、今求められる自然と人間の関係性を考えると共に、自然とつきあうスキルを理解する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業の都度テキストを読むとともに、自然現象や自然災害の情報、農山漁村の情報、教室の外の学びなどについてインターネットや新聞などマスメディアを通しての情報収集に努めること。

評価方法
授業への参加態度20%　各回ごとのコメントペーパーの内容20%　テキストを読んでの課題レポート30%　筆記試験30%

教科書	参考図書
『奇跡のむらの物語　～1000人の子どもが限界集落を救う！』（辻英之編著、農文協、1785円）	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
信州のへき地山村から毎週通い、山村のリアルタイムの情報を伝える。また、ビジュアルな教材を使用する。　資格取得についての質問は随時受け付ける。講師の連絡先は授業で提示する。

01	オリエンテーション
02	相手を理解するということ（ワークショップ）
03	自然体験活動の特質１（ワークショップ）　～過疎へき地山村のリアル実態を理解する～
04	自然体験活動の指導１（ゲストスピーク）　～里山・棚田保全とこどもの教育の奇妙なWIN-WINN関係～
05	自然体験活動の特質２（グループワーク）～もったいないの本質は感謝のこころ～
06	然体験活動の指導２（グループコンテスト）～暮らしの中にある木の種類当てクイズ！～
07	自然体験活動の技術１（グループコンテスト）～エコツアーの企画をつくってみよう！～
08	自然体験活動の技術２（ワークショップ）　猟師が来たぞ！　～野生生物・獣害との闘い～
09	自然体験活動の技術３（ワークショップ）　～地域を潤す地産地消と農家のプライド～
10	自然体験活動の技術４（プレゼンテーション）　～自然と暮らしの関係性を見える化せよ～
11	やってみよう商品開発！（ワークショップ）　～旬の資源を使って商品開発～
12	自然体験活動の安全管理（講義）　～東日本大震災など自然災害から学ぶこと
13	自然体験活動の安全管理２（講義）～自然災害から身を守るには～
14	総括ディスカッション
15	まとめと確認テスト（資格認定試験）
16	なし

2018年度シラバス

科目名:環境の科学	担当者:辻　広志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	選択

授業概要と方法 この授業では、様々な生態系における環境問題と生物の保全対策について学び、ヒトと自然の共生のあり方について考える。配布プリントによる講義を中心に、視聴覚教材、現物資料の提示、実習、新聞記事、インターネット等を通して、自然環境や野生生物に対する理解を深める。
授業の到達目標 地球環境、生物多様性、生態系のしくみについて理解し、環境保全活動の実践方法を知る。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 自宅周辺にはどのような動植物が生息しているか調べる。環境問題や野生生物に関する最新の情報を、新聞、雑誌、テレビ、インターネット等で入手する。
評価方法 レポート点50%、平常点50%（出席状況、授業感想文、授業への取り組み姿勢）で総合評価する。

教科書	参考図書
使用しない	授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 「エコ検定」等の環境に関する資格検定取得を目指す学生は是非受講してください。質問等がある場合は、研究管理棟２Ｆの218研究室に来てください。

01	イントロダクション：生物多様性と生態系サービス（自然の恵み）
02	生物多様性の危機の現状：世界のカエル類の約３割は絶滅の危機に瀕している！
03	生態系のしくみ：オオカミが自然を守っている？
04	日本の森林生態系：照葉樹の森と落葉樹の森
05	植物の種子散布：身近な雑草の繁殖戦略
06	野外実習：キャンパスの生き物観察
07	環境変動による環境負荷：地球温暖化が生物に及ぼす影響
08	有害化学物質による環境汚染：「沈黙の春」と「メス化する自然」
09	希少種の保全：レッドデータブックで絶滅危惧生物を調べよう
10	生態系の保全：世界自然遺産の光と影
11	侵略的外来種：アカミミガメ、ブラックバス、アライグマが日本の生態系を破壊する
12	企業・市民による環境保全活動：企業の環境報告書を読もう
13	自然再生事業：「ビオトープ」は生物の避難場所
14	女子学生の自然体験：身近な生き物アンケート
15	まとめと確認
16	なし

2018年度シラバス

科目名:職業教養講座	担当者:現教責任者	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	8
		必須.選択	選択

授業概要と方法
職業教養講座は社会の様々な場面で必要とされる技術や技能を身につけること、および各種の検定や資格試験に合格し、資格を取得することをねらいとしています。　職業教養講座の受講には別料金がかかりますが、将来への貴重な投資となりうるものです。就職にも役立つと同時に、自分の視野や展望を広げる可能性もあります。自分の将来をイメージしながら積極的に受講してください。

授業の到達目標
自分の目指す資格、必要な技能を身につけてください。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
検定試験は、講座内に設定されている場合もありますが、後日別会場などで実施される場合もあります。それぞれの講座に従って受験してください。なお、検定試験料は受講料とは別に必要となります。

評価方法
職業教養講座の授業は、本学と同様１時限あたり90分で、14回以上の授業および最終日の試験が行なわれます。受講を修了し、最終日の試験※ を受けて合格すると電波学園の単位が認定されます（成績評価は行いません）。　電波学園の認定した単位は、本学との単位協定により「職業教養講座」１講座について2単位の履修単位となり、現代教養学科では最大で８単位まで認定することができます。単位認定には、教務課での申請手続きが必要です。※「最終日の試験」というのは単位認定のための試験であり、検定や資格取得の試験とは別であること

教科書	参考図書
講座によって異なります。代金が別紙「職業教養講座2018年度版」に記されていますので、本学丸善売店にて最初の授業までに購入して下さい。	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
講座に関する詳細は別紙「職業教養講座2018年度版」を参考してください。不明な点は教務課や担当の教員に質問してください。別途料金が必要となる講座なので、よく準備して、積極的に活用してください。

01	＜講座の概要＞ 　今年度は3の講座の開講が予定されています。それぞれの講座の詳しい内容については、別紙の「職業教養講座2018年度版」を見てください。授業内容や開講のスケジュール、受講料などが掲載されているので、よく確認し、不明な点があれば、教務課にて質問してください。またガイダンスやセミナーでの説明も参考にしてください。 　検定試験対策の講座は、実際の試験日の直前に講座が終了するように開講のスケジュールが組まれています。大学での授業科目で学んだ成果に加えて、各種検定試験で自分の力を検証するとともに、これを励みとし、より高い技術や技能を身につけてください。 ＜受講方法＞ (1) 講座の内容や開講スケジュールを確認して、受講する講座を選んでください。また、それぞれの講座で受講料およびテキスト代が別途必要になるので、その金額も確認してください。 (2) 前後期の講座と通年の講座は、それぞれ一定の申込期間が設定されます。この期間に、受講料と一緒に申込んで下さい。申込期間終了後は申込みできません。申込期間はガイダンスや掲示よってアナウンスされます。注意して、申込期間を逃さないようにしてください。 (3) 職業教養講座の授業はキャンパス内で行なわれます。主として夏季休業中や春季休業中に開講されます。教室の決定は後日になります。開講日時に教室に行って、授業を受けてください。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:キャリア支援	担当者:教務委員	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期･後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	8
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　本科目は資格・検定などを取得してから申請することで単位を認定する形態の授業です。認定対象の時期は、原則として大学などの在学中に取得したものだけとなります。自分の視野や展望を広げるための重要な機会として活用してください。

授業の到達目標
１　社会人基礎力を向上させる資格・検定などの取得を目指すことで、高度な教養を広く身につける。２　各種の資格・検定などを取得することで卒業後の進路の幅を広げる。３　将来の職業に関連したスキルアップを目指すことで、高度職業人としての知識・技能の修得を目指す。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
指定された資格・検定を取得するためには、十分な学習時間が必要となります。

評価方法
　指定された資格・検定などの合格証を根拠にして、その難易度に応じた単位数の認定をします。職業教養講座を受講し、認定された単位と合算したうえで、認定単位数の上限は8単位までとなります。　なお、認定された単位は通常の成績評価とは異なり、GPAの算入対象ではありません。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　資格・検定などの取得については、原則として自分自身で取得を目指しますが、本学で対策のための授業や受検案内がされているものもあります。また、単位認定が可能な資格・検定などについては、随時変更・更新されますので、その都度確認するようにしてください。

01	以下の要件などを確認のうえ、申請してください。 ・別に掲示する本学入学後に取得した検定・資格を対象に所定の単位を認定しますが、特定の条件を満たしている場合、入学前に取得した資格などであっても認定できる場合がありますので、教務課で相談してください。 ・同一の資格・検定などにおいて上位の級位を取得した場合、下位の級で申請をしていなければ加算して単位を認定します。 ・申請に当たっては、所定の用紙に資格など取得の事実を証明する書類のコピーなどを添えて、教務課へ提出してください。 ・以上のほかにも、もし不明な点などがあれば教務課に相談してください。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2018年度シラバス

科目名:国内研修	担当者:茶谷　淳一	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:国内研修		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
学生自らが立案したプランにもとづいて現実の社会で様々な人々と交流しながら活動することを通して、普段の学校を中心とした生活では得られない経験をすることで、社会で必要とされる自信、知識や技能を見つけることを目的とします。

授業の到達目標
視野を広げるとともに、社会で働くために必要とされる力＝社会人基礎力を向上させること、そして自信をさらに大きくすることが目標です。将来の進路選択に自信を持ってのぞみ、一人の人間として「力強く生きるための力」を身につけます。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
準備活動（例えば、研修先の事前調査、研修プランの立案、受け入れ先との交渉、保護者との相談など）、研修、事後活動（研修日誌の整理、研修先への御礼の手紙の作成、レポートの作成、活動報告プレゼンテーションなど）。

評価方法
事前に担当者から認められた活動だけが対象となります。準備・事後活動の取組みの様子（10点）、研修日誌（30点）、レポート（50点）、活動報告プレゼンテーション（10点）

教科書	参考図書
なし	必要に応じて紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
これまでに200人近くの学生が北海道から沖縄までの各地で様々な活動をしました（具体例は随時紹介します）。研修したい学生は「国内研修」の時間に研究室へ相談に来ること。詳細は配布される資料を参照すること。

01	学生が個人の責任の下で行う国内での研修活動のうち、十分な学習経験が得ていると認められる活動を所定の方法で評価し、単位を認めます。詳細は別に配付される資料などで確認すること。 １．国内研修として認められる条件と基準 期間を通して研修する課題が明確であること 学内のガイダンス、事前・事後指導に全て出席すること 受入機関が明確であり、期間が合計で実質10日間以上あること（同じ目的であればいくつかの研修を組み合わせることができる） 他の科目の単位認定の対象ではないこと 週15時間以上の研修活動が含まれていること 事前に研修計画、研修内容について企画書を作成・提出し担当者の指導・承認、保護者と受入先の了承を受けること 研修終了後、研修日誌（関係資料を含む）・レポートを提出して指導を受けること 活動を紹介するプレゼンテーションを行うこと ２．履修の方法 担当者に履修希望を申し出ること。その指導のもとに事前準備を行います。履修登録は終了後、担当者の指示を受けて行います。許可を受けた後、研修します。研修中は活動日誌を付け、終了後、レポート等とともに提出します。 ３．注意事項 研修中に発生する事故・事件について担当者および大学は一切責任を負いません。研修の実施責任および発生する費用の負担は学生本人および保護者にあることを十分理解し、目的・内容・場所等について保護者の同意を必ず得ること。また本人にとって身体的、精神的なリスクが予想される研修は認められない場合があります。 研修内容や研修先について事前によく調べ、万が一の場合に研修先がどのようなサポートをするかなどを良く確認すること。賠償保険や傷害保険の加入することが望ましい。連絡体制も明確にしておくこと。研修開始・終了にあたっては所定の方法で担当者に連絡すること。 研修終了後1ヶ月以内に、レポート、活動日誌などを提出し担当者の指導を受けること。 時間割上の「国内研修」の時間は研修について相談や指導、手続きをする時間です。毎週、指導を受けなければならないのではありません。担当者の研究室で行います。 その他、配付される資料をよく読み、内容に同意した場合のみ、「国内研修」として認めます。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	